

坂戸市立入西小学校校舎外壁等改修工事

図面リスト

意 匠 図										電 気 設 備		機 械 設 備	
図 番	図 面 名	図 番	図 面 名	図 番	図 面 名	図 番	図 面 名	図 番	図 面 名	図 番	図 面 名	図 番	図 面 名
A－01	表紙・図面リスト	A－35	改修矩計図（3）〔管理・普通教室〕〈③棟〉	A－69	立面調査図（3） 〈⑦ ⑧-2 ⑬棟〉	E－01	電気設備工事特記仕様書（1）	M－01	機械設備工事 特記仕様書（1）				
A－02	特記仕様書（改修その1）	A－36	改修矩計図（4）〔給食室-渡り廊下〕〈⑧ ⑭棟〉	A－70	立面調査図（4） 〈②棟〉	E－02	電気設備工事特記仕様書（2）	M－02	機械設備工事 特記仕様書（2）				
A－03	特記仕様書（改修その2）	A－37	改修矩計図（5）〔給食室-渡り廊下〕〈⑧ ⑭棟〉	A－71	立面調査図（5） 〈④ ⑧棟〉	E－03	案内図・配置図	M－03	機械設備工事 特記仕様書（3）				
A－04	特記仕様書（改修その3）	A－38	改修矩計図（6）〔普通教室〕 〈②棟〉			E－04	受変電設備 改修図	M－04	案内図・配置図				
A－05	特記仕様書（改修その4）	A－39	改修矩計図（7）〔管理・普通教室〕〈⑤棟〉			E－05	電気設備 外構改修図	M－05	給水配管系統図（改修前）				
A－06	特記仕様書（改修その5）	A－40	改修矩計図（8）〔機械室-配膳室〕 〈⑮ ⑯棟〉			E－06	電気設備 1階平面図（改修前）	M－06	給水配管系統図（改修後）				
A－07	特記仕様書（改修その6）	A－41	改修矩計図（9）〔機械室〕 〈⑮棟〉			E－07	電気設備 1階平面図（改修後）	M－07	給水設備 R階・PH階平面図(改修前)				
A－08	特記仕様書（改修その7）	A－42	付属建物詳細図（1） 〈⑫ ⑰棟〉			E－08	電気設備 2階平面図（改修前）	M－08	給水設備 R階・PH階平面図(改修後)				
A－09	特記仕様書（改修その8）	A－43	付属建物詳細図（2） 〈⑥ ⑪棟〉			E－09	電気設備 2階平面図（改修後）	M－09	給水設備 立面図(改修前・改修後)				
A－10	案内図・全体配置図	A－44	付属建物詳細図（3） 〈⑨ ⑩棟〉			E－10	電気設備 3階平面図（改修前）	M－10	給水設備 給水ポンプ室詳細図(改修前・改修後)				
A－11	拡大配置図	A－45	付属建物詳細図（4） 〈⑨ ⑩棟〉			E－11	電気設備 3階平面図（改修後）	M－11	給水設備 高架水槽詳細図				
A－12	仕上表（1）〈① ①-2 ② ③棟〉	A－46	詳細図（1） レインボ-ロード 階段既存図 〈⑬棟〉			E－12	電気設備 R階・PH階平面図（改修前）	M－12	空調調和設備 1階平面図				
A－13	仕上表（2）〈④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧棟〉	A－47	詳細図（2） レインボ-ロード 階段改修図 〈⑬棟〉			E－13	電気設備 R階・PH階平面図（改修後）	M－13	空調調和設備 2階平面図				
A－14	仕上表（3）〈⑧-2 ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬棟〉	A－48	詳細図（3） 〈① ③ ⑧-2 ⑦棟〉			E－14	電気設備 電灯コンセント設備 機械室詳細図（改修前・改修後）	M－14	空調調和設備 3階平面図				
A－15	仕上表（4）〈⑭ ⑮ ⑯ ⑰棟 共通〉	A－49	詳細図（4） ペントハウス改修 〈①棟〉			E－15	電気設備 動力、自動火災報知設備 機械室詳細図（改修前・改修後）	M－15	空調調和設備 R階・PH階平面図				
A－16	1階平面図（1）（改修前・後）	A－50	詳細図（5） ペントハウス改修 改修矩計図（パタ外周） 〈①棟〉			E－16	電気設備 給水ポンプ室詳細図(改修前・改修後)	M－16	換気設備 機械室、A D、廊下断面詳細図				
A－17	1階平面図（2）（改修前・後）	A－51	詳細図（6） 〈①棟〉										
A－18	2階平面図（1）（改修前・後）	A－52	詳細図（7） 〈③棟〉										
A－19	2階平面図（2）（改修前・後）	A－53	詳細図（8） 〈① ⑥棟〉										
A－20	3階平面図（改修前）	A－54	E X P ・ J 金物詳細図										
A－21	3階平面図（改修後）	A－55	屋外階段改修図 〈③棟〉										
A－22	R階平面図（1）（改修前）	A－56	屋外階段改修図 〈② ⑤棟〉										
A－23	R階平面図（2）（改修前）	A－57	非常階段改修図（1） 〈①棟〉										
A－24	R階平面図（1）（改修後）	A－58	非常階段改修図（2） 〈①棟〉										
A－25	R階平面図（2）（改修後）	A－59	改修 1階天井伏図										
A－26	校舎立面図（1）〈① ③ ⑤棟 南面〉	A－60	改修 2階天井伏図										
A－27	校舎立面図（2）〈① ③ ⑤棟 北面〉	A－61	改修 3階天井伏図										
A－28	校舎立面図（3） 〈① ①-2 ⑤ ⑥ ⑮ ⑯棟 東・西面〉	A－62	建具表キ-プラン（1） 〈① ③棟〉										
A－29	校舎立面図（4）〈②棟〉	A－63	建具表キ-プラン（2） 〈① ③棟〉										
A－30	事務室立面図 〈⑦棟〉	A－64	建具表 （1） 〈① ③棟〉										
A－31	給食室・渡り廊下立面図 〈⑧ ⑧-2 ⑭棟〉	A－65	建具表 （2） 〈① ③棟〉										
A－32	特別教室立面図 〈④棟〉	A－66	仮設計画図 （参考図）										
A－33	改修矩計図（1）〔管理・普通教室〕 〈①棟〉	A－67	立面調査図（1）〈① ③ ⑤棟〉										
A－34	改修矩計図（2）〔管理・普通教室〕 〈①棟〉	A－68	立面調査図（2）〈① ③ ⑮ ⑯棟〉										

[illegible]

工事項目	工事種目	外壁改修工事	屋上等改修工事	建具周り工事	付属建物改修工事
2	仮設工事	○	○	○	○
3	防水改修工事		○		
4	外壁改修工事	○			○
-1	コンクリート打放し 仕上げ外壁	○			
-2	モルタル塗り仕上げ外壁	○			
-3	タイル張り仕上げ外壁				
-4	塗り仕上げ外壁	○			
-5	外壁用塗膜防水塗り				
5	建具改修工事			○	
6	内装改修工事				
7	塗装改修工事	○			○
8	耐震改修工事				
9	環境配慮改修工事				
10	鉄筋工事				○
11	コンクリート工事		○		○

Ⅱ 建築改修工事仕様

- (1) 質問回答書、本特記仕様書（改修）及び図面に記載されていない事項は、すべて「埼玉県建築工事特別共通仕様書」、国土交通省大宮官庁舎管理部監修「公共建築改修標準仕様書（建築工事編）」（令和7年版）以下、「改修標準仕様書」という。）及び国土交通省大宮官庁舎管理部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（令和7年版）以下、「標準仕様書」という。）による。
- なお、新たな仕様が出版され、当該基準にない場合は、監督員が協議し、適用する基準等を決定する。
2. 改修標準仕様書及び標準仕様書で「特記がない場合は、」以下に具体的な材料・工法・検査方法を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）と異なる場合には、具体的な対応策を明示し、監督員と協議すること。
- (3) 本特記仕様書の表記
1. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2. 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
3. ①印と※印の付いた場合は、共に適用する。○印と※の両方付いた場合は、○のみを適用する。
4. 特記事項に記載の〔 〕内の表示番号は、「埼玉県建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。
5. 特記事項に記載の〔 . . . 〕内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。
6. 特記事項に記載の〔 . . . 〕内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。
7. 製造所名は、必ず十音字とし、「環境物品」の部記載事項に準じて、必ず出品番号を示す。
8. 改修工事において「環境物品等」の調達に関する方針（令和5年2月14日変更要綱決定）及び「埼玉県グリーン調達、環境配慮契約推進方針（最新版）」による特定調達品目のうち、「判断の基準」を満たす環境物品等（以下「特定調達物品等」という。）を選択するよう努めるものとする。
- なお、〔 〇 〕印は設計図書で定めるの品目を示す。
- 8) 注は改修標準仕様書及び標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。

	項目	特記事項														
一般共通事項	① 適用基準等	※埼玉県建築工事実務要覧に記載の要領等 ※建築物工事監理指針（国土交通省監修）（参考図書） ※建築物工事標準詳細図（国土交通省大臣官庁官庁庁幹部整備課監修 令和4年版） なお、新たな版が出版される、当該基準によりきたい場合は、監督員と協議し、 適用する基準等を決定する。														
	② 条件明示事項	保険の種類 {1.1.3} ※法定外の労災保険（工事に従事する者(全ての下請員を含む)の業務上の負傷等を対象とするもの） ※建設工事保険等（工事目的物及び工事材料等を対象とするもの） ※請負業者賠償責任保険等 保険の期間 ※工事完成期日後14日を含む期間														
	③ 工事実績情報の登録	※行方（請求代金額500万円以上、10日以内に登録）・行わない [1.1.4] {1.1.8}														
	④ 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力 風速（V= m/s） 地表面粗度区分（ⅠⅡⅢⅣ） ・積雪荷重 Hl2.5計告示第1455号における区域別表（ⅠⅡⅢⅣ） ・大地震時の非構造部材の変形追随性能を確認する場合の層間変形角 ・1/200 ・1/150 ・1/120 ……図示（ ） 確認箇所（ ）														
	⑤ 別契約の関連工事	※監督員指定の別契約工事を今回工事全体としてとえ、主導的に調整する。 [1.1.7] ・監督員指定の別契約工事が行い全体調整に全面的に協力する。														
	⑥ 施工中に注意を要する区域等	本工事場所は以下の区域等に指定等されているため、施工計画の作成 [1.1.12、13] 及び施工に当たっては関係法令等の遵守に十分注意する。 ・周知の埋蔵文化財包蔵地 ・史跡名勝天然記念物														
	⑦ 工事の記録	埼玉県建築工事写真作成要綱に基づき作成し、監督員に提出する。 [1.2.4] {1.6.6} 埼玉県県産品活用ガイドライン ※適用する（QD-RまたはDVD-Rで1部提出） ・適用しない														
	⑧ 電気保安技術者	適用する [1.3.3] {1.3.1}														
	⑨ 施工条件	施工時間 [1.3.5] ※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外とする。 ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ・以上の期間を除いた現場閉所日数の割合が28.5%（8日/28日）以上であること。 年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のための期間、工事全体の一時中止期間 指定期間（ ） 施工時間以外の施工条件 ・図示しない														
	⑩ 施工中の安全確保	本工程の受注者を、作業が同一の場所において行われることによって生じる労働災害を 防止するために必要な措置を講ずべき者（統括安全管理義務者）とする。[1.3.7]														
⑪ 環境保全等	建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。 [1.3.11]															
⑫ 発生の処理等	引渡しを要するもの [1.3.12] {1.1.13} ※無（全て構外搬出適正処理） ・有り（※図示 ・ ） 注 ａ）発生材のうち特により、引き渡しを要するものは、指示された場所に整理 のうら調書を添えて監督員に報告する ｂ）産業廃棄物処理許可書及び最終処理入票の原本を監督員に提示する。 ｃ）引き渡しを要しないものは、すべて構内に搬出し、「資源の有効な利用の促 進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下 「建設リサイクル法」という。）「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」そ の他関係法令等により適切に処理し監督員に報告する。															
⑬ 県産品の使用	受注者は、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は [1.4.2] 埼玉県内に本店を有する者の中から選定するように努めるとともに、調達する 工事材料は、埼玉県産とするよう努める。															
⑭ 環境への配慮	建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び [1.4.1] {1.4.3} 性能を有すると共に、次の①から④を満たすものととする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、 パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保 温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上建材は、アセトアルデヒド及びスチレン を発生しないか、発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルム アルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエシルベンゼンの含有量が少ない 材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル 等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、 ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が 極めて少ない材料を使用したものととする。															
⑮ 材料の品質等	※本工程に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上 [1.4.2] のものを使用する。ただし製造業者等が指定されている場合に同等以上 のものとする場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。 ・設計図書等で示されているものを除き、材料・機材等の製造業者等は次の①から ⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する 品質及び性能等が評価されたことを示す書類を提出して監督員の承諾を受ける。 ① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること ② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること ③ 安定的な供給が可能であること ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること ⑥ 販路、保守等の営業体制が整えられていること 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用の場合は、グリーン購入法の基 本方針の判断の基準に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の 証明のためのイ・ラウ」（林野庁 H18.2.15）に準拠した証明書を監督員に提出する。															
⑯ 石綿含有建材の調査	調査 [1.5.1] ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を 行う。 ・資与資料（定性分析調査報告書） ・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリンタイル、 クロシロイト、トレモライト 分析方法 <table><thead><tr><th></th><th>定性分析方法</th><th>定量分析方法</th></tr></thead><tbody><tr><td>材料名</td><td>JIS A 1481-1または JIS A 1481-2</td><td>JIS A 1481-3または JIS A 1481-4</td></tr><tr><td>-</td><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td></tr><tr><td>-</td><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td></tr><tr><td>-</td><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td></tr></tbody></table> サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・図示 ・		定性分析方法	定量分析方法	材料名	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3または JIS A 1481-4	-	・ 箇所	・ 箇所	-	・ 箇所	・ 箇所	-	・ 箇所	・ 箇所
	定性分析方法	定量分析方法														
材料名	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3または JIS A 1481-4														
-	・ 箇所	・ 箇所														
-	・ 箇所	・ 箇所														
-	・ 箇所	・ 箇所														

① 技能士

工事種別

適用技能士

仮設工事

・ とび作業

防水改修工事

・ 7mm防水工事作業
・ 7mm以上系塗膜防水工事作業
○塩化ビニル系シート防水工事作業
・ 1mm防水工事作業
・ 改質7mmシート工法防水工事作業

○9mm以上系塗膜防水工事作業
・ 合成ゴムシート防水工事作業
・ 樹脂系防水工事作業
・ FRP防水工事作業

外壁改修工事

・ 左官作業
・ 左官作業
・ 建築塗装作業

・ 内外装板金作業
・ タイル張り作業
・ 樹脂接着剤注入工事作業

建具改修工事

・ ビル用サッシ施工作業
・ 自動ドア施工作業

・ ガラス工事作業
・ 建築フィルム作業

内装改修工事

・ プラスチック系床仕上げ工事作業
・ 木質系床仕上げ工事作業
・ ボード仕上げ工事作業
・ 吹付け暖房(タタキ)断熱工事作業
・ 壁装作業

・ カーペット系床仕上げ作業
・ 鋼製下地工事作業
・ タイル張り作業
・ 保温保冷工事作業

塗装改修工事

・ 木工塗装作業

・ 建築塗装作業

耐震改修工事

・ 鉄筋組立て作業

・ 型枠工事作業

・ とび作業

・ 構造用鉄工作業

その他

・ コンクリートポンプ工事作業

18 化学物質の濃度測定

対象化学物質

判定基準

備考

ホルムアルデヒド

100 μg/m³ (0.09ppm) 以下

※厚生労働省が定める指針

トルエン

260 μg/m³ (0.07ppm) 以下

※換算は25℃

キシレン

200 μg/m³ (0.05ppm) 以下

エチルベンゼン

370 μg/m³ (0.89ppm) 以下

スチレン

220 μg/m³ (0.05ppm) 以下

パラジクロロベンゼン

240 μg/m³ (0.04ppm) 以下

測定方法

採取及び分析は、法令に基づき空気中の物質の濃度に係る証明を行う者が行う。

①機体の採取方法

・ 吸引方式(アクティブ法)又は拡散方式(パッシブ法)

・ 吸引方式(クティブ法) ・ 拡散方式(パッシブ法)

②アクティブ法

ホルムアルデヒドは、ジメチルフェニルドラジン誘導体固相吸着/溶媒抽出法によって採取し、高速液体クロマトグラフ法(以下HPLC)により行う。

トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、固相吸着/溶媒抽出法、固相吸着/加熱脱着法、容器採取法のいずれかを用いて採取し、ガスクロマトグラフ/質量分析法(以下GC/MS)により行う。

③パッシブ法

ホルムアルデヒドは、パッシブ採取機器により採取し、HPLC又はガスクロマトグラフ法(以下GC)あるいはA HMT-吸光光度法のうち採取機器に適合した分析法による。

トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、パッシブ採取機器により採取しGCまたはGC/MSのうち採取機器に適合した分析法による。

測定対象室

・ 監督員の指定する室()

・ 図示

測定箇所数

※ ()

・ 図示

測定時期

※工事着手前及び完了後

報告書

※2部

① 9 中間検査

中間検査

※行う(坂戸市工事検査実施要領第5条) ・ 行わない

中間検査実施回数

() 実施段階() 監督員の指示による

② 0 完成図等

監督員の指示により埼玉県建築工事監督要綱表第1に示す書類を原則電子データで提出する。

製本サイズ: A2判を二つ折り A3判製本 部数2部

完成図等(埼玉県建築工事実作業要領に基き作成するもの)

完成図(※監督員が指定した設計図面に完成時の状態を表現したもの)

図面情報電子化媒体

※CD-R又はDVD-R、1部

CADデータの形式

※SXF(stc) ・ DXF ※JWW 左記及び、PDF

(埼玉県建築工事図面情報電子化媒体作成要領による。CADデータのバージョンはVersion7.11)

保全に関する資料

※1部 ・ 2部(通常取扱いに注意をするもの)の使用方法を解説する

完成写真(埼玉県建築工事実作業要領に基き作成するもの)

埼玉県電子納品運用ガイドライン ※適用する(CD-R又はDVD-Rで1部提出) ・ 適用しない

撮影箇所

・ 着工時と完成時の状況を比較できるように撮影する

・ 埼玉県建築工事実作業要領別表5

原本及びアルバムを各1部提出

原本(電子媒体: 撮影時のJPEG)及びアルバム(紙媒体又は電子媒体)を各1部提出

バネル入り(外壁全部) 完成写真 ・ 要 ・ 不要

施設CADデータ ・ 更新して提出 ※更新しない

② 1 保証書

防水工事

※屋上防水 ・ 外壁防水 ・ 金属屋根

建物引渡後

日から10年間、受注者、施工者、材料メーカーの3者連名とし1部提出する。

上記以外

・ 1部提出

22 その他

・ 予備材料

※監督員の指示による

・ 下請契約

※全体及び県内に分け、契約数及び契約金額の総計を提出する。

2 仮設工事

1 騒音・粉じん等の対策

・ 防音パネル ・ 防音シート

防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲

※図示

2 足場等

[2.2.1][表2.2.1]

「手すり先行工法」に関するガイドラインに基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別記1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における(2)の手すり設置方式又は(3)の手すり先行専用足場方式により行う。

外部足場

○設置する(設置範囲)

○図示 () ・ 設置しない

防護シート

○設置する(設置範囲)

○図示 () ・ 設置しない

内部足場

・設置する(※脚立、足場板等)

・図示 () ・ 設置しない

材料、撤去材等の運搬方法

種別() ・ A種 ・ B種 ・ C種 ○D種 (E種)

C種: 利用可能な上階段 () (図示) ()

D種: 利用可能な階段 () (図示) ()

遮落制止用器具の使用は、「遮落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」(厚生労働省 H30.6.22)による。

○Aフルネー型遮落制止用器具を用いる。

幅が1メートル以上の箇所において足場を使用するときは、原則として本足場を使用する(労働安全衛生規則第561条の2)

③ 既存部分の養生

既存部分

養生の方法(※ビニルシート、合板等)

・ ()

既存家具、既存設備等

養生の方法(※ビニルシート等)

・ ()

既存ブラインド、カーテン等

養生の方法()

・ ()

保管場所

() (図示)

・ ()

固定された備品、机、ロッカー等の移動

・ 図示

既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

4 仮設間仕切り

仮設間仕切り及び仮設備の設置箇所

※図示

仮設間仕切りの種別と材質等

種別

下地

仕上げ(厚さmm)

塗装

充填材

・ A種

・ 木

・ セツコボード(9.5mm)

・ 無し

※有り

・ B種

・ 軽量鉄骨

種別()

・ 片面

・ 合板(9.0mm以上)

材種()

※C種

単管

防災シート

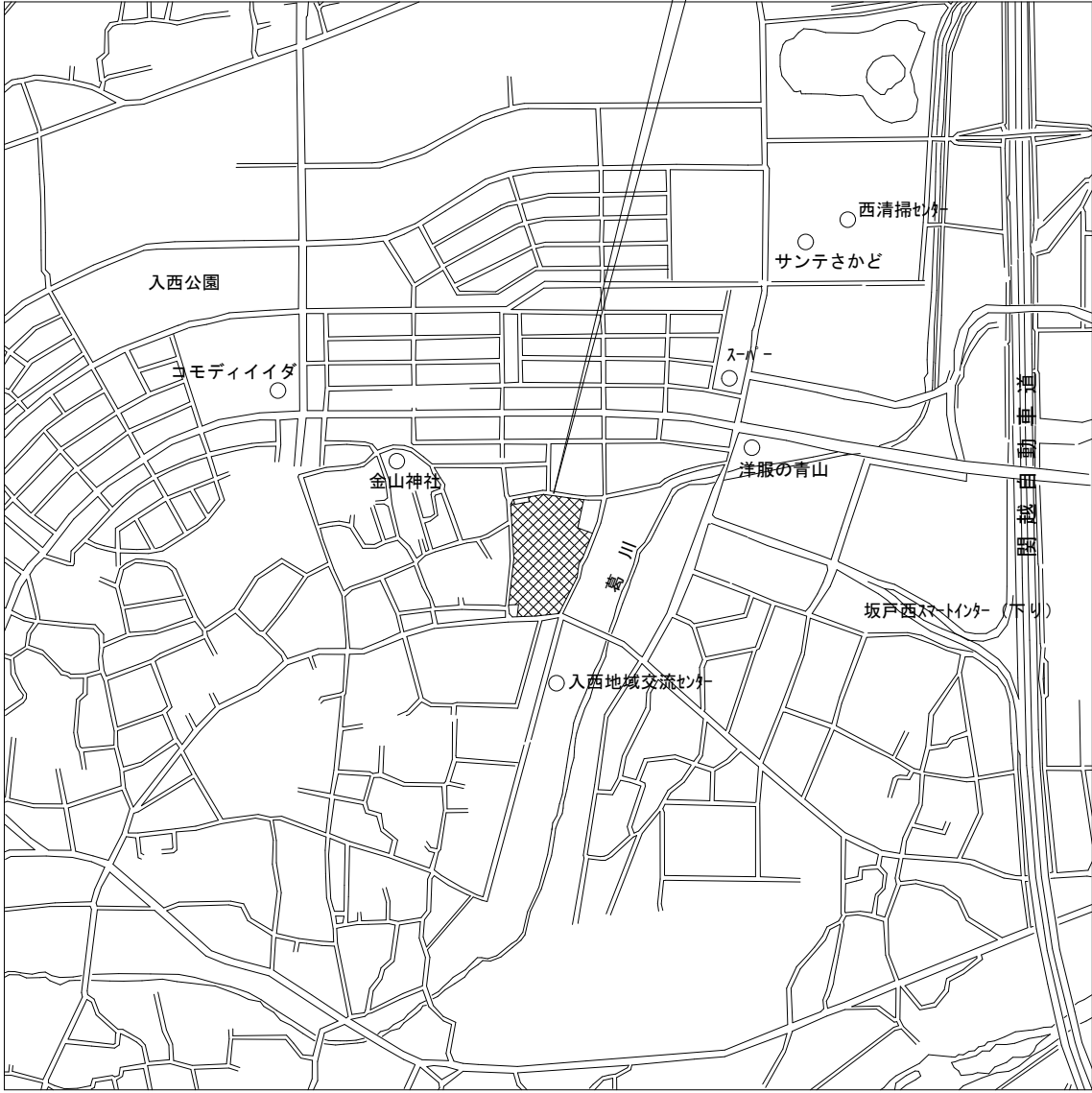
充填材: グラスウール32k(厚: 60mm以上)

5 監督員事務所	規模	・ 既存建物内の一部を使用 ・ 構内に新設 ※設置しない 備品（ 名分相当） ・ 机 ・ 椅子 ・ 書棚 ・ 黒板 ・ 掛時計 ・ 寒暖計 ・ 長靴 ・ 雨合羽 ・ 保護帽 ・ 懐中電灯 ・ 墜落制止用器具 ・ 軍手 ・ 衣類ロッカー ・ 冷暖房機器 ・ 消火器 ・ 湯沸器 ・ 茶器 ・ 掃除用具 ・ 電話機 ・ F A X ・ 電子メール通信機器 ・ スキャナー ・ プリンター				[2. 4. 1]	
	⑥ 現場表示板	※設置する（[1. 1. 12]による表示 ・ 要 ・ 不要） ・ 設置しない				[2. 4. 1][1. 12]	
	⑦ 工事用水	構内既存の施設 ・ 利用できない ※利用できる（※有償 ・ 無償）					
	⑧ 工事用電力	構内既存の施設 ・ 利用できない ※利用できる（※有償 ・ 無償）					
	⑨ 工事用搬入路	※図示					
	⑩ 仮囲い	・ 設置位置等は監督員の指示による ※図示					
	⑪ 交通誘導員	必要に応じ搬入路付近に交通誘導員を配置する。 配置箇所 ・ 監督員の指示による ※図示					
	12 快適トイレ	仕様 ※図示					
	3 防水改修工事	① 施工数量調査	調査範囲 ⑧防水改修範囲 ・ 図示の範囲 調査方法 ・ 図示 ・ 目視 ・ 打診他 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示 調査報告書 提出部数 ・ 2部				[1. 6. 2, 3]
		② 降雨等に対する養生方法（とい共）	※[3. 1. 3] (5) (7)～(7)による				[3. 1. 3]
		③ 既存防水の処理	既存保護層の撤去 ・ 行う（範囲 ・ 図示 ・ ） ・ 行わない 既存防水層の撤去 ○行う（範囲 ・ 図示 ・ ） ・ 行わない 既存露出防水層表面の仕上塗装除去 ・ 行う（・ M4S ・ M4SI ・ M4C ・ M4D1） ○行わない 既存塗膜防水層表面の仕上塗装除去 ・ 行う（L4X） ○行わない				[3. 1. 4] [3. 2. 3, 4, 6]
		④ 既存下地の処理	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ○図示				[3. 2. 6]
5 アスファルト防水		POS工法及びPPOS工法（機械式固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理 ※[3. 2. 6] (4) (7) (g) ①～③による 設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸根の取付け部、塔屋出入口部等の交換部及び防水層末端部の納まり部の処理 ・ 図示 屋根保護防水 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 断熱材 ⑨ [9. 2. 1～3] 絶縁用シート 立上り部の保護 ・ P 2 A ・ A-1 ・ A-2 ・ A-3 ※ δ ポリエチレンフィルム厚さ0. 15mm以上又は δ ポリウレタン δ 70g/㎡程度 ※乾式保護材・コンクリート押え・れんが押え ※JIS R 1250 ・ P 1 B ・ B-1 ・ B-2 ※ δ ポリウレタンクロス70g/㎡程度 ※ δ れんが押え（屋内） ・ P 2 A ① ・ A1-1 （材質） ※JIS A 9521に基づく押出法 δ ポリエチレン断熱材3種A（ δ は層付き） ※フラットワークス70g/㎡程度 ・ P 1 B ① ・ B1-1 ・ T 1 B ① ・ B1-2 （厚さ） ・ mm 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※[表3. 3. 3]から[表3. 3. 9]による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ（ ）mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※[表3. 3. 3]から[表3. 3. 9]による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ（ ）mm以上 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm以上 床タイル張り ※水下 60mm以上 ・ 乾式保護材 窯業系パネルⅠ類（厚さ mm、幅 mm） 屋根露出防水 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 断熱材 ⑨ 仕上塗料 備考 ・ M 4 C ・ C-1 ・ C-2 ・ C-3 ・ C-4 ※（種類・使用量）※ δ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・ M 3 D ・ D-1 ・ P 0 D ・ D-2 ※（種類・使用量）※ δ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・ P 0 D ① ・ D1-1 [3. 3. 2(9)] ※（種類・使用量）※（脱気装置） ・ M 3 D ① ・ D1-2 （種類） ※ δ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・ 設ける ・ M 4 D ① （厚さ） ・ mm ・ 設けない（改修用） ・ 設ける ・ 設けない 高日射反射率防水の適用 ⑩ ※適用する ・ 適用しない 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※[表3. 3. 3]から[表3. 3. 9]による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ（ ）mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※[表3. 3. 3]から[表3. 3. 9]による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ（ ）mm以上 絶縁断熱工法のルーフトレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示 絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 （個）					

6	改質アスファルトシート防水	屋内防水 防水層の種類 <table border="1"> <tr> <th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>保護層</th><th>備考</th></tr> <tr> <td>・P1E</td><td>・E-1</td><td></td><td>保護層</td><td>・設ける</td></tr> <tr> <td>・P2E</td><td>・E-2</td><td></td><td></td><td>・設けない</td></tr> </table> ・E-1の工程3を行う部位（※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位） 押え金物の材質及び形状 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋根排水溝 ※図示 屋根露出防水（既存） 新設防水層の種類 [3.4.2、3] <table border="1"> <tr> <th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材 [9.2.1～3]</th><th>仕上塗料</th><th>備考</th></tr> <tr> <td>・M4AS</td><td>・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2</td><td></td><td rowspan="3"> </td><td rowspan="3"> </td><td rowspan="3"> </td></tr> <tr> <td>・M3AS ・POAS</td><td>・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1</td><td></td></tr> <tr> <td>・M3AS ・M4AS ・POAS</td><td>・AS-J3 (POASのみ) ・AS1-T1 ・AS1-J1</td><td>(材質) ※JIS A 9521による 発泡ポリイソシアヌレート</td></tr> </table> 高日射反射率防水の適用 [9] ※適用する ・適用しない 改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※[表3.4.1]から[表3.4.3]による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※[表3.4.1]から[表3.4.3]による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※[表3.4.1]から[表3.4.3]による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 脱気装置の種類及び設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定による ・種類（ ） ・設置数量（ ） 個/㎡ 押え金物 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ※改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定 絶縁断熱工法の防湿用シート ・設置する ・設置しない 新設防水層の種類 [3.5.2～4][表3.5.1～3] <table border="1"> <tr> <th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材 [9]</th><th>仕上塗料</th><th>備考</th></tr> <tr> <td>・POS ・S4S</td><td>・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3</td><td></td><td rowspan="3"> </td><td rowspan="3"> </td><td rowspan="3"> </td></tr> <tr> <td>・S3S</td><td>・S-F1 ・S-F2</td><td>・ポリイソシアヌレート下地 ・ポリイソシアヌレート下地</td></tr> <tr> <td>○M4S</td><td>・S-M1 ○S-M2 ・S-M3</td><td>・庇下地、既設防水層下地</td></tr> <tr> <td>・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1</td><td>・S-F1 ・S-F2 ・S-M1</td><td>(材質) ※JIS A 9521による 発泡ポリイソシアヌレート</td><td rowspan="2"> </td><td rowspan="2"> </td><td rowspan="2"> </td></tr> <tr> <td></td><td>・S1-M1 ・S1-M2</td><td></td></tr> </table> 高日射反射率防水の適用 [9] ※適用する ・適用しない ○S-M2で立上り面を接着工法とする場合 立上り面のシート厚（※1.5mm） ・S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の使用 ※非歩行使用 ・経歩行仕様 ・S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム（ ・設置する ・設置しない） 屋内防水 防水層の種類 <table border="1"> <tr> <th>改修工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>平場の保護モルタル塗厚</th><th>立上り部の保護モルタル塗厚</th></tr> <tr> <td>・PIS</td><td>・S-C1</td><td></td><td></td><td>※7mm以下</td></tr> </table> 屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合 厚さ（※2nt程度 最大目地間隔3m程度） ・目地の種類（※押し目地） 合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による ・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ 絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート 固定金具の材質及び寸法形状 ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの鋼板の片面 ・若しくは両面に樹脂を積層加工したもの 脱気装置の種類及び設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の指定による ・種類（ ） ・設置数量（ ） 個/㎡ 接着工法の目地処理 ・Pコンクリート下地の場合（ ） Pコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、S1-F1の場合） ・行う（図示） ・行わない 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 ※特定化学物質障害予防規則の対象とならない材とする [3.6.2、3] ウレタンゴム系塗膜防水工法 <table border="1"> <tr> <th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>仕上塗料</th><th>備考</th></tr> <tr> <td>・POX</td><td>※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H</td><td></td><td>(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様</td><td>(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用ドレ) ・設ける ・設けない</td></tr> <tr> <td>○L4X</td><td>・X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H</td><td></td><td>(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様</td><td>(脱気装置) ・設ける ○設けない</td></tr> </table>	工法	種別	施工箇所	保護層	備考	・P1E	・E-1		保護層	・設ける	・P2E	・E-2			・設けない	工法	種別	施工箇所	断熱材 [9.2.1～3]	仕上塗料	備考	・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2					・M3AS ・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1		・M3AS ・M4AS ・POAS	・AS-J3 (POASのみ) ・AS1-T1 ・AS1-J1	(材質) ※JIS A 9521による 発泡ポリイソシアヌレート	工法	種別	施工箇所	断熱材 [9]	仕上塗料	備考	・POS ・S4S	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3					・S3S	・S-F1 ・S-F2	・ポリイソシアヌレート下地 ・ポリイソシアヌレート下地	○M4S	・S-M1 ○S-M2 ・S-M3	・庇下地、既設防水層下地	・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1	(材質) ※JIS A 9521による 発泡ポリイソシアヌレート					・S1-M1 ・S1-M2		改修工法	種別	施工箇所	平場の保護モルタル塗厚	立上り部の保護モルタル塗厚	・PIS	・S-C1			※7mm以下	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	備考	・POX	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H		(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様	(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用ドレ) ・設ける ・設けない	○L4X	・X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H		(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様	(脱気装置) ・設ける ○設けない	7	合成高分子系ルーフィングシート防水	高日射反射率防水の適用 [9] ※適用する ・適用しない 脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の指定による ・種類（ ） ・設置数量（ ） 個/㎡ ゴムスファルト系塗膜防水工法 <table border="1"> <tr> <th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>各工程数及び各工程の使用量</th><th>保護層</th></tr> <tr> <td>・P1Y</td><td>※Y-2</td><td></td><td>※主材料の製造所の仕様</td><td>・設ける ・設けない</td></tr> <tr> <td>・P2Y</td><td>※Y-2</td><td></td><td>※主材料の製造所の仕様</td><td>・設ける ・設けない</td></tr> </table> シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.2、3、7、8] ○シーリング充填工法 ○シーリング再充填工法 フリッジ工法 ボンドプライヤー張り ・適用する ・適用しない エッジング材張り ・適用する ・適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th><th>シーリング材の種類（記号）</th></tr> <tr> <td>・建具周り</td><td>MS-2</td></tr> <tr> <td>・コウロート部、防水端部</td><td>PU-2</td></tr> </table> 仕上げを行わない施工箇所 ・図示による シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書3.7.3(1)による ・図示による 接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 注 練り混ぜた2成分形シーリング材は、1組の作業班が1日に行った施工箇所を1ロットとして、各ロットごとにサンプリングを行い、サンプリング試料を監督員に提出すると。 その他の材料等 [3.8.2、3] ※配管用鋼管 ○硬質ポリ塩化ビニル管 ○ルーフドレン ・表面処理鋼板（表面及び裏面の塗装の種類） ・ とい受金物及び足金物の材質、形状、取付け間隔 材質 ※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの） ・ 形状 ※市販品 取付け間隔 ※改修標準仕様書3.8.2による ・ 多雪地域（ ・適用する ・適用しない 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※☆☆☆☆ 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ・図示 鋼管製といの防露巻き ※[表3.8.4]による ルーフドレンの種類及び呼び <table border="1"> <tr> <th>種別</th><th>呼び</th><th>施工箇所</th></tr> <tr> <td>・ろく屋根用たて形1型</td><td>※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150</td><td rowspan="4"> </td></tr> <tr> <td>・ろく屋根用横形1型</td><td>※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150</td></tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td><td>※ねじ込み式 ・50 ・80 ・100</td></tr> <tr> <td>・差し込み式</td><td>・50 ・75 ・100</td></tr> <tr> <td>・バルコニー用</td><td>※ねじ込み式 ・50 ・80 ・100 ・差し込み式 ・50 ・75 ・100</td><td rowspan="4"> </td></tr> <tr> <td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td></tr> </table> たてどい受金物の取付 ※図示 ルーフドレンの取付 ※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填 ⑪ アルミニウム製笠木 <table border="1"> <tr> <th>種類</th><th>種別</th><th>呼び</th><th>施工箇所</th></tr> <tr> <td>・オーブ形形式 ・板材折曲げ</td></tr></table>	工法	種別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量	保護層	・P1Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	・設ける ・設けない	・P2Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	・設ける ・設けない	施工箇所	シーリング材の種類（記号）	・建具周り	MS-2	・コウロート部、防水端部	PU-2	種別	呼び	施工箇所	・ろく屋根用たて形1型	※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150		・ろく屋根用横形1型	※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150	・バルコニー中継用	※ねじ込み式 ・50 ・80 ・100	・差し込み式	・50 ・75 ・100	・バルコニー用	※ねじ込み式 ・50 ・80 ・100 ・差し込み式 ・50 ・75 ・100								種類	種別	呼び	施工箇所	・オーブ形形式 ・板材折曲げ
工法	種別	施工箇所	保護層	備考																																																																																																																																					
・P1E	・E-1		保護層	・設ける																																																																																																																																					
・P2E	・E-2			・設けない																																																																																																																																					
工法	種別	施工箇所	断熱材 [9.2.1～3]	仕上塗料	備考																																																																																																																																				
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2																																																																																																																																								
・M3AS ・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1																																																																																																																																								
・M3AS ・M4AS ・POAS	・AS-J3 (POASのみ) ・AS1-T1 ・AS1-J1	(材質) ※JIS A 9521による 発泡ポリイソシアヌレート																																																																																																																																							
工法	種別	施工箇所	断熱材 [9]	仕上塗料	備考																																																																																																																																				
・POS ・S4S	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3																																																																																																																																								
・S3S	・S-F1 ・S-F2	・ポリイソシアヌレート下地 ・ポリイソシアヌレート下地																																																																																																																																							
○M4S	・S-M1 ○S-M2 ・S-M3	・庇下地、既設防水層下地																																																																																																																																							
・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1	(材質) ※JIS A 9521による 発泡ポリイソシアヌレート																																																																																																																																							
	・S1-M1 ・S1-M2																																																																																																																																								
改修工法	種別	施工箇所	平場の保護モルタル塗厚	立上り部の保護モルタル塗厚																																																																																																																																					
・PIS	・S-C1			※7mm以下																																																																																																																																					
工法	種別	施工箇所	仕上塗料	備考																																																																																																																																					
・POX	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H		(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様	(脱気装置) ・設ける ・設けない (改修用ドレ) ・設ける ・設けない																																																																																																																																					
○L4X	・X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H		(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様	(脱気装置) ・設ける ○設けない																																																																																																																																					
工法	種別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量	保護層																																																																																																																																					
・P1Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	・設ける ・設けない																																																																																																																																					
・P2Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	・設ける ・設けない																																																																																																																																					
施工箇所	シーリング材の種類（記号）																																																																																																																																								
・建具周り	MS-2																																																																																																																																								
・コウロート部、防水端部	PU-2																																																																																																																																								
種別	呼び	施工箇所																																																																																																																																							
・ろく屋根用たて形1型	※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150																																																																																																																																								
・ろく屋根用横形1型	※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150																																																																																																																																								
・バルコニー中継用	※ねじ込み式 ・50 ・80 ・100																																																																																																																																								
・差し込み式	・50 ・75 ・100																																																																																																																																								
・バルコニー用	※ねじ込み式 ・50 ・80 ・100 ・差し込み式 ・50 ・75 ・100																																																																																																																																								
種類	種別	呼び	施工箇所																																																																																																																																						
・オーブ形形式 ・板材折曲げ																																																																																																																																									

[illegible]

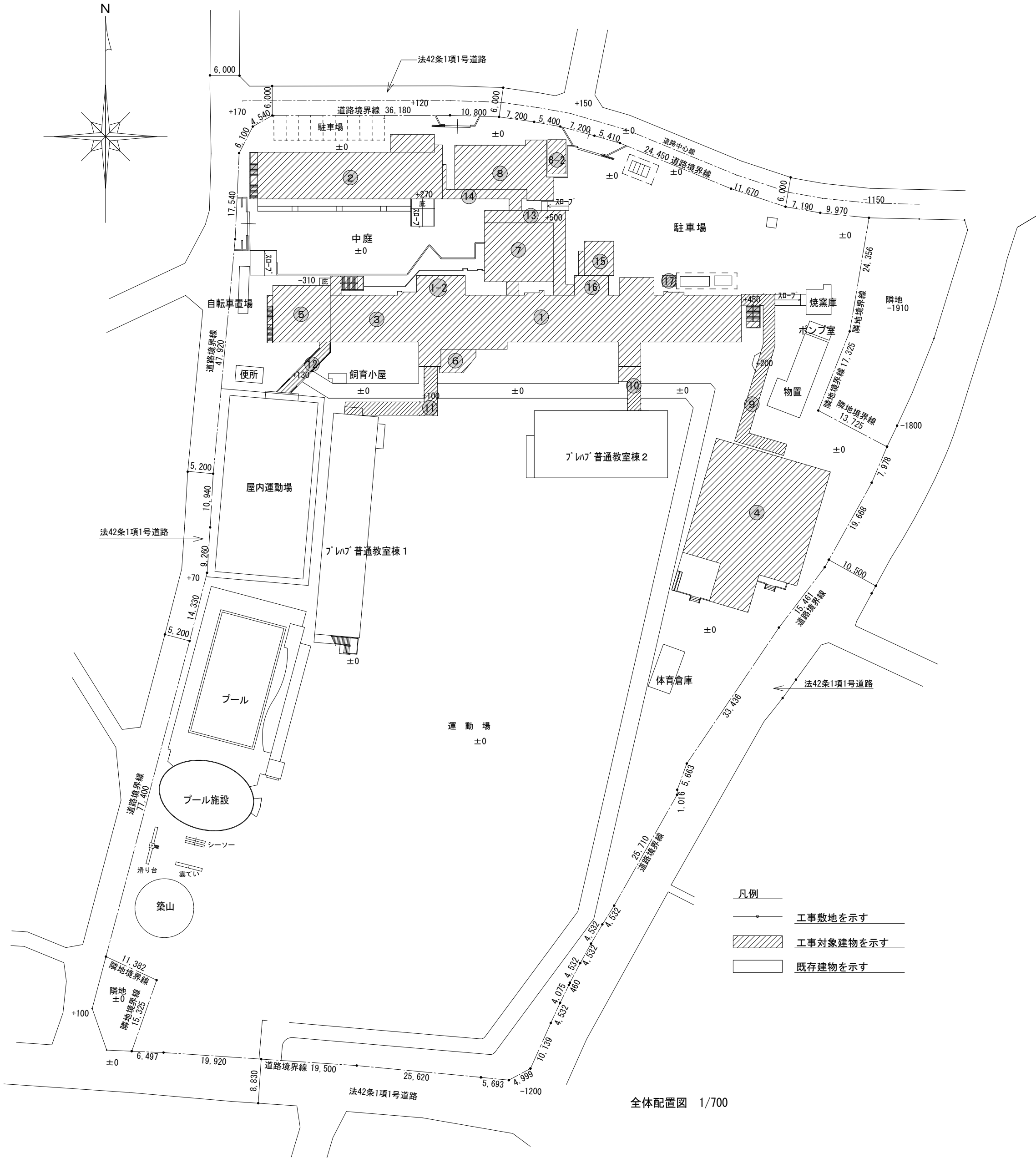
工事場所：埼玉県坂戸市大字新堀265番地
(坂戸市立入西小学校)



案内図 1/1500

建物面積リスト（改修対象）

記号	用途	構造	階数	建築面積(㎡)	床面積(㎡)	最高高さ	備考
①②③⑤⑥⑦ ⑧⑯⑰	校舎	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造	3	2,137.955	4,226.646	12.050m	耐火建築物
④	特別教室棟	木 造	1	662.560	640.000	9.300m	その他
⑧-2	給食室	鉄骨造	1	29.200	29.200	3.850m	準耐火建築物
⑨	渡り廊下	鉄骨造	1	86.510	86.510	4.000m	その他
⑩	渡り廊下	鉄骨造	1	23.810	23.810	4.850m	その他
⑪	渡り廊下	鉄骨造	1	64.45	64.45	3.450m	その他
⑫	渡り廊下	鉄骨造	1	25.765	25.765	2.750m	その他
⑭	給食室廊下	鉄骨造	1				
⑰	ポンプ室	鉄筋コンクリート造	1	5.000	5.000	2.600m	その他



全体配置図 1/700

備	
考	

工	坂戸市立入西小学校校舎外壁等改修工事
事	
名	

森田建築設計室

事務所登録 一級建築士事務所
埼玉県知事登録(5)第8815号
管理建築士 一級建築士 森田 和巳
大臣登録第161365号

製図

担当

承認

工番

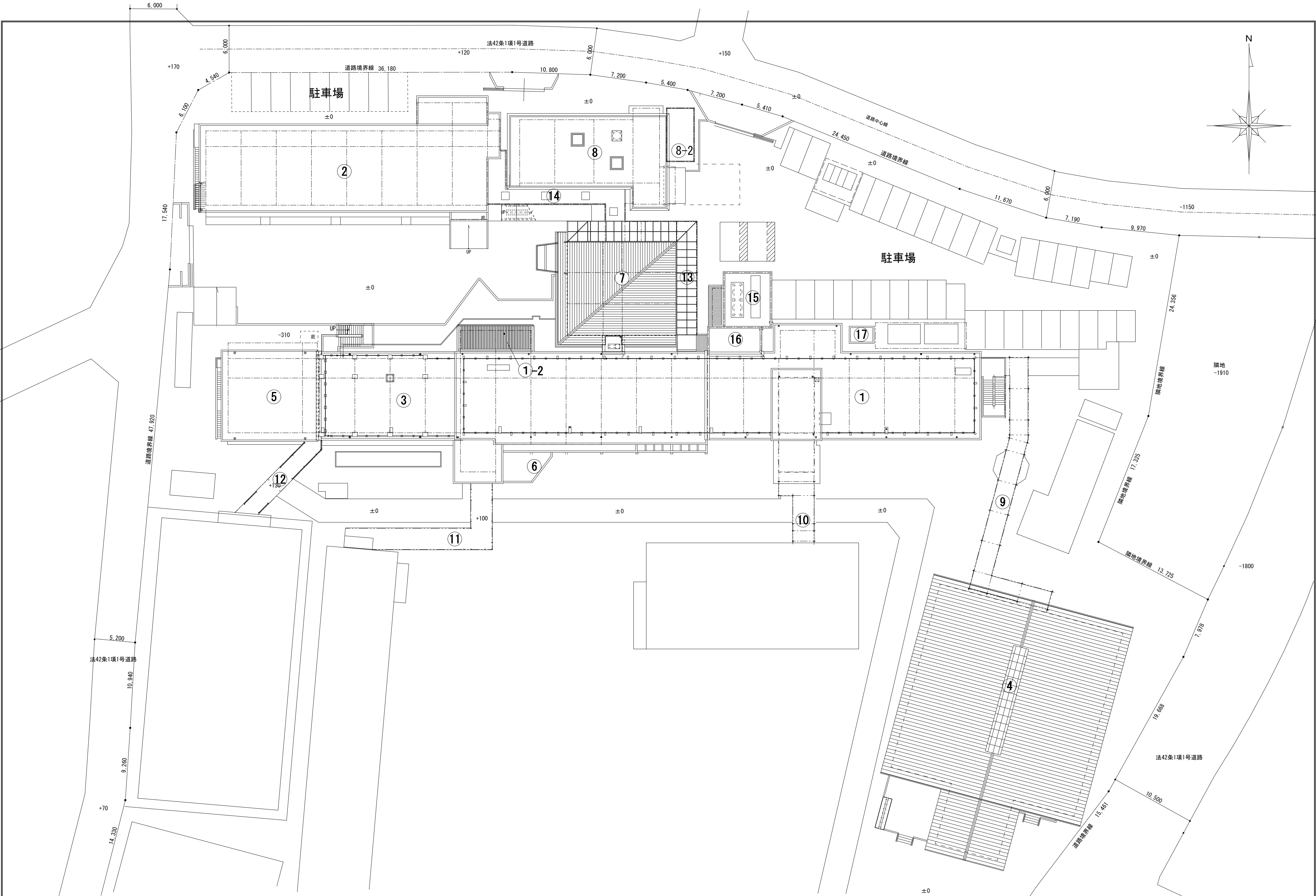
日付

図名

担		承		工		日	25.12	図	
当		認		番		付		名	

案内図・全体配置図

縮尺	1:700 1:1500	図番	A-10
----	-----------------	----	------



備考						工事名	坂戸市立入西小学校校舎外壁等改修工事										製図	担当	承認	工番	日付	図名	拡大配置図		縮尺	1 : 300	図番	A-11

森田建築設計室
埼玉県坂戸市関間4-15-14 関末ビル201号
TEL 049-282-2888
FAX 049-282-3002

事務所登録 一級建築士事務所
埼玉県知事登録(4)第8815号
管理建築士 森田 和巳
一級建築士 森田 和巳
大臣登録第161365号

記 号	建 物 名 称	構 造・規 模	用 途	部 位	既 存 状 況	改 修 方 法	備 考
①	【管理・普通教室棟】	ＲＣ造 3階建+塔屋	職員室、普通教室	屋上平場	(新築時：ｱｽﾌﾙﾄ防水 押えｺﾝｸﾘｰﾄ)、ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水 t2.0に改修済	ｺﾞﾑｼｰﾄ防水一部撤去し補修、水勾配構築 既存面清掃の上塩ﾋﾞｰｼｰﾄ防水 (機械的固定工法)	防水層の撤去範囲は、Ｒ階平面図参照 (及び施工前確認による) ﾘﾝｽﾞﾍﾞ脱気筒設置
				屋上立上	(新築時：ﾓﾙﾀﾙ下地)、ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水 t2.0に改修済	全面撤去、躯体面ｸﾚﾝ清掃、CM-2(t10)補修、塩ﾋﾞｰｼｰﾄ防水 (密着工法)	
				ドレン	鋳鉄製φ100 縦型	上皿撤去し、周辺を樹脂モルタルにて補修の上、改修ﾄﾞﾚﾝ(鋼製、75φ)設置 (ｽﾄﾚｰﾅｰ：撤去新設)	
				笠木	アルミ製 w225	既設撤去し、7ﾓﾐ製 W225新設	
				塔屋 平場	均しモルタル下地ウレタン塗膜防水	高圧水洗浄、ｸﾚﾝ塗膜防水 (X-1)	鋼製ｸﾗｯｸﾞ 撤去し、SUS製ｸﾗｯｸﾞ 取付 ﾘﾝｽﾞﾍﾞ脱気筒設置 15箇所
				塔屋 立上り	ウレタン塗膜防水	ﾓﾙﾀﾙ笠木を含む上部を研り撤去 (ｶｯﾁ-併用) し、7ﾓﾐ笠木取付	
						高圧水洗浄、ｸﾚﾝ塗膜防水 (X-2)	
				外壁	モルタル刷毛引き t=25 複層塗材E吹付	既存ﾓﾙﾀﾙ刷毛引き t25撤去 高圧水洗浄、ｺﾝｸﾘｰﾄ中性化防止処理、下地処理C-1、防水形複層塗材E吹付 (ﾌｸﾘﾓﾞﾞﾑ系)	建具周りｼｰﾘﾝｸﾞ 撤去新設 (15×10) ﾓﾙﾀﾙ撤去後にｸﾗｯｸ補修
				外巾木	モルタル金ｺﾞﾃﾞ	高圧水洗浄	
				軒天・庇裏	モルタル刷毛引き t15 複層塗材E吹付	ﾓﾙﾀﾙ撤去(既存天井部分) 高圧水洗浄、ｺﾝｸﾘｰﾄ中性化防止処理、水性ﾌｸﾘﾓﾞﾞﾘﾝ樹脂系軒天用仕上塗材塗り	
				屋外階段	床、蹴上、踏面：防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃﾞ 巾木：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃﾞ	床 蹴上 踏面 巾木：高圧水洗浄、C-2ﾌﾞﾗﾝｼﾞ ｸﾚﾝ塗膜防水 (X-2) 段鼻：ﾀｲﾙ撤去、樹脂モルタルにて補修の上、防水 ﾘﾝｽﾞﾍﾞ脱気筒設置	注意喚起ﾀｲﾙ：撤去新設
					段鼻：磁器質ﾌｨﾅｯｼﾞｯｸﾞ ﾀｲﾙ 壁・段裏：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し下地複層塗材E吹	※床面のﾓﾙﾀﾙ浮き処理のこと (工法：特記仕様書による) 壁部分：外壁に同じ 階段裏：軒天庇裏に同じとする	
				煙突	ﾓﾙﾀﾙ刷毛引き t25 下地複装塗材E吹付 配管：アスベスト含有	格子(網)部分から上部撤去の上SUS笠木取付 立上り壁部分：外壁に準ずる	配管の撤去はしない
				ﾀﾝﾊﾞ	硬質塩ﾋﾞ管 φ100 ｶｰｰ (ﾊﾞﾝﾄﾞ 金物)	既設撤去し、硬質塩ﾋﾞ管 φ100 ｶｰｰ (SUS製 ﾎﾞﾝﾄﾞ、羽子板金物)	
				庇上	モルタル金ｺﾞﾃﾞt30 吹付ﾀｲﾙ	全面撤去し、ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃﾞt30下地ｸﾚﾝ塗膜防水 (X-2)	
				ﾗﾝｽ・犬走り	モルタル金ｺﾞﾃﾞ 1階床梁上：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃﾞ	高圧水洗浄 1階床梁上：ｸﾚﾝ清掃の上、樹脂ﾓﾙﾀﾙ/ﾛ引き	
				側溝	モルタル金ｺﾞﾃﾞ	ｸﾚﾝ清掃の上、樹脂ﾓﾙﾀﾙ/ﾛ引き※泥上げ共	
				その他	屋上手摺手摺：スチール製 支柱角パイプ 手摺子 丸鋼φ16@100 SOP仕上	手摺：既存手摺基礎とも全面撤去 下地調整の上防水補修とする	手摺基礎は突出部分を削りとり、防水下地を構築 (清掃、樹脂ﾓﾙﾀﾙ塗り) とする
						防水改修後、侵入防止ﾌｧﾚﾝｽ(ﾒｯｼｭﾌｧﾚﾝｽH800、ｺﾞﾑｼｰﾄ敷き+ｺﾝｸﾘｰﾌﾞ ｛ﾛｯｸ400×400基礎)を取り付ける	ﾌｧﾚﾝｽ基礎はA-51、52図による
①-2	【普通教室棟・3階トイレ】	3階部分 鉄骨にて増築	トイレ	屋根	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板折板t=0.6 勾配1/30	高圧水洗浄、超低汚染・超耐久弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 塗替え	
				外壁	ALCt=50の上、複層塗材E吹付	高圧水洗浄、既存面下地処理C-2の上、防水形複層塗材E吹付 (ﾌｸﾘﾓﾞﾞﾑ系)	建具周りｼｰﾘﾝｸﾞ 撤去新設 (15×10)
				軒樋	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板加工W=150	高圧水洗浄、超低汚染・超耐久弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 塗替え	
				破風	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4加工 H=300	高圧水洗浄、超低汚染・超耐久弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 塗替え	
				2階取合い 水切り等	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4加工	高圧水洗浄、超低汚染・超耐久弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 塗替え	
②	【普通教室棟】	ＲＣ造 2階建	普通教室	屋上平場	躯体防水 (コンクリート直押え)、誘発目地 (10×10)	高圧水洗浄、塩ﾋﾞｰｼｰﾄ防水 (機械的固定工法)、誘発目地撤去樹脂モルタルにて目地埋め	ｽﾚﾝｽﾞ脱気筒設置 6箇所
	〈外壁の下地調整材にｱｽﾍﾞｽﾄ含有〉			屋上立上 笠木天端	コンクリート打放し金ｺﾞﾃﾞ押え	高圧水洗浄、塩ﾋﾞｰｼｰﾄ防水 (密着工法) 端部：専用金物取付	
				ドレン	鋳鉄製φ100縦型	上皿撤去し、周辺を樹脂モルタルにて補修の上、改修ﾄﾞﾚﾝ(鋼製、75φ)設置 (ｽﾄﾚｰﾅｰ：撤去新設)	
				外壁 柱型・梁型共	コンクリート打放 薄塗モルタル補修 複層塗材E吹付	高圧水洗浄、ｸﾗｯｸ等処理の上防水形複層塗材E吹付 (ﾌｸﾘﾓﾞﾞﾑ系)	ｸﾗｯｸ等補修部：集塵機付ｸﾞﾗｲﾝﾀﾞｰ使用し、塗膜の除去 建具周りｼｰﾘﾝｸﾞ 撤去新設 (15×10)
				軒天井	コンクリート打放 薄塗モルタル補修 複層塗材E吹付	高圧水洗浄、ｸﾗｯｸ等処理の上水性ﾌｸﾘﾓﾞﾞﾘﾝ樹脂系軒天用仕上塗材塗り	ｸﾗｯｸ等補修部：集塵機付ｸﾞﾗｲﾝﾀﾞｰ使用し、塗膜の除去
				外巾木	モルタル金鍍仕上	高圧水洗浄	
				屋外階段	床、蹴上、踏面：防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃﾞ 巾木：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃﾞ	床 蹴上 踏面 巾木：高圧水洗浄、C-2ﾌﾞﾗﾝｼﾞ ｸﾚﾝ塗膜防水 (X-2) 段鼻：ﾀｲﾙ撤去、樹脂モルタルにて補修の上、防水 ﾘﾝｽﾞﾍﾞ脱気筒設置	注意喚起ﾀｲﾙ：撤去新設
					段鼻：磁器質ﾌｨﾅｯｼﾞｯｸﾞ ﾀｲﾙ 壁・段裏：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し下地複層塗材E吹	※床面のﾓﾙﾀﾙ浮き処理のこと (工法：特記仕様書による) 壁部分：外壁に同じ 階段裏：軒天庇裏に同じとする	
				ﾀﾝﾊﾞ	硬質塩ﾋﾞ管 φ100 ｶｰｰ (ﾊﾞﾝﾄﾞ 金物)	既設撤去し、硬質塩ﾋﾞ管 φ100 ｶｰｰ (SUS製 ﾎﾞﾝﾄﾞ、羽子板金物)	
				庇上	モルタル金ｺﾞﾃﾞt30 吹付ﾀｲﾙ	浮き処理 (工法：特記仕様書による)、防水形複層塗材E吹付 (ﾌｸﾘﾓﾞﾞﾑ系)	
				ﾗﾝｽ・犬走り	モルタル金ｺﾞﾃﾞ	高圧水洗浄	
③	【管理・普通教室棟】	ＲＣ造 2階建	普通教室	屋上平場	(新築時：ｱｽﾌﾙﾄ防水 押えｺﾝｸﾘｰﾄ)、塩ﾋﾞｰｼｰﾄ防水 t2.0に改修済 (機械固定)	既存ｼｰﾄ防水の一部撤去し補修、水勾配構築 既存面清掃の上、塩ﾋﾞｰｼｰﾄ防水 (機械的固定工法)	防水層の撤去範囲は、屋上平面図参照 (及び施工前確認による) ﾘﾝｽﾞﾍﾞ脱気筒設置
				屋上立上	(新築時：ﾓﾙﾀﾙ下地)、塩ﾋﾞｰｼｰﾄ防水 t2.0 密着工法に改修済	全面撤去、躯体面ｸﾚﾝ清掃、CM-2(t10)下地 (勾配補正共)塩ﾋﾞｰｼｰﾄ防水 t2.0 密着工法	
				ドレン	鋳鉄製φ100ﾀﾞｲ型	上皿撤去し、周辺を樹脂モルタルにて補修の上 改修ﾄﾞﾚﾝ(鋼製、75φ)設置 (ｽﾄﾚｰﾅｰ：撤去新設)	
				笠木	アルミ製 w225	既設撤去し、7ﾓﾐ製 W225新設	
				外壁	ﾓﾙﾀﾙ刷毛引き t25 下地複装塗材E吹付	既存ﾓﾙﾀﾙ刷毛引き t25撤去 高圧水洗浄、ｺﾝｸﾘｰﾄ中性化防止処理、下地処理、防水形複層塗材E吹付 (ﾌｸﾘﾓﾞﾞﾑ系)	建具周りｼｰﾘﾝｸﾞ 撤去新設 (15×10)
				外巾木	モルタル金ｺﾞﾃﾞ	高圧水洗浄	
				柱型(増築用)	ﾓﾙﾀﾙ刷毛引き t25 下地複装塗材E吹付	既存ﾓﾙﾀﾙ刷毛引き t25撤去 高圧洗浄、ｺﾝｸﾘｰﾄ中性化防止処理、下地調整、防水形複層塗材E吹付 (ﾌｸﾘﾓﾞﾞﾑ系)	
				軒天	ﾓﾙﾀﾙ刷毛引き t15 複層塗材E吹付	ﾓﾙﾀﾙ撤去(既存天井部分) 高圧水洗浄、ｺﾝｸﾘｰﾄ中性化防止処理、水性ﾌｸﾘﾓﾞﾞﾘﾝ樹脂系軒天用仕上塗材塗り	
				屋外階段	床、蹴上、踏面：防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃﾞ 巾木：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃﾞ	床 蹴上 踏面 巾木：高圧水洗浄、C-2ﾌﾞﾗﾝｼﾞ ｸﾚﾝ塗膜防水 (X-2) 段鼻：ﾀｲﾙ撤去、樹脂モルタルにて補修の上、防水 ﾘﾝｽﾞﾍﾞ脱気筒設置	注意喚起ﾀｲﾙ：撤去新設
					段鼻：磁器質ﾌｨﾅｯｼﾞｯｸﾞ ﾀｲﾙ 壁・段裏：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し下地複層塗材E吹	※床面のﾓﾙﾀﾙ浮き処理のこと (工法：特記仕様書による) 壁部分：外壁に同じ 階段裏：軒天庇裏に同じとする	
				煙突	ﾓﾙﾀﾙ刷毛引き t25 下地複装塗材E吹付 配管：アスベスト含有	格子(網)部分から上部撤去の上SUS笠木取付 立上り壁部分：外壁に準ずる	
				ﾀﾝﾊﾞ	硬質塩ﾋﾞ管 φ100 ｶｰｰ (ﾊﾞﾝﾄﾞ 金物)	既設撤去し、硬質塩ﾋﾞ管 φ100 ｶｰｰ (SUS製 ﾎﾞﾝﾄﾞ、羽子板金物)	
				庇上	モルタル金ｺﾞﾃﾞt30 吹付ﾀｲﾙ	全面撤去し、ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃﾞt30下地ｸﾚﾝ塗膜防水 (X-2)	
				ﾗﾝｽ・犬走り	モルタル金ｺﾞﾃﾞ 1階床梁上：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃﾞ	高圧水洗浄 1階床梁上：ｸﾚﾝ清掃の上、樹脂ﾓﾙﾀﾙ/ﾛ引き	
				側溝	モルタル金ｺﾞﾃﾞ	ｸﾚﾝ清掃の上、樹脂ﾓﾙﾀﾙ/ﾛ引き※泥上げ共	
				その他	屋上手摺手摺：スチール製 支柱角パイプ 手摺子 丸鋼φ16@100 SOP仕上	手摺：既存手摺基礎とも全面撤去 下地調整の上防水補修とする	手摺基礎は突出部分を削りとり、防水下地を構築 (清掃、樹脂ﾓﾙﾀﾙ塗り) すること フェンス基礎はA-51、52図による
						防水改修後、侵入防止ﾌｧﾚﾝｽ(ﾒｯｼｭﾌｧﾚﾝｽH800、ｺﾞﾑｼｰﾄ敷き+ｺﾝｸﾘｰﾌﾞ ｛ﾛｯｸ400×400基礎)を取り付ける	

※特記 高圧水洗浄：15Mpaとする。

備 考		工 事 名	坂戸市立入西小学校校舎外壁等改修工事	森田建築設計室 事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第8815号 埼玉県坂戸市関間4-15-14 関末ビル201 TEL 049-282-2888 FAX 049-282-3002 管理建築士 森田 和巳 一級建築士 森田 和巳 大臣登録第161365号	製 造 者	担 当	承 認	工 番	日 付	25.12	図 名	仕上表(1) 〈① ①-2 ② ③棟〉	縮 尺	N. S	図 番	A-12

記 号	建 物 名 称	構 造・規 模	用 途	部 位	既 存 状 況	改 修 方 法	備 考					
④	【特別教室棟】	木造 1階建て 屋根改修は非該当	特別教室	外壁	押出t120成形板 t15 EP塗り、腰部：押出t120成形板 t25 ｳｯﾄﾞｺｰﾄ	既存面下地処理の上、塗装改修、腰部：ｸﾗｯｸ補修の上、防水形複層塗材E吹付（ﾌｳﾘﾎﾞﾞﾑ系）ゆず肌状	建具周りｼｰﾘﾝｸﾞ 撤去新設（15×10）					
				外巾木	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 箱目地切り仕上 浸透形吸水防止塗料塗り	既存面下地処理の上、塗装改修（ｸﾗｯｸ処理等）防水形複層塗材E吹付（ﾌｳﾘﾎﾞﾞﾑ系）凹凸状						
				軒天井	無石綿ｹｲ酸ｶｼｬﾑ板 t5.0（目透かし）EP塗り	既存面下地処理の上、EP塗替え						
				破風板	桧 24×270 無公害木材保護塗料2回塗り（ｸﾘｱｰ）	既存面下地処理の上、塗装改修						
				テラス	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ木ｺﾞｰﾝ押え（V字目地切り）（階段段鼻：ﾉｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾙ）（ﾌﾗｽ廻り：ﾌﾙﾏ手摺）	高圧水洗浄						
⑤	【管理・普通教室棟】 〈外壁の下地調整材にﾌｽﾍﾞｽﾄ含有〉	ＲＣ造 2階建	ｺﾝﾍﾞｰｼｭｰﾀｰ室 視聴覚室	屋上平場	躯体防水（ｺﾝｸﾘｰﾄ直押え）、誘発目地（10×10）	塩ビシート防水（機械的固定工法） 誘発目地撤去の上樹脂モルタルにて目地埋め	ｽﾃﾝﾚｽ製脱気筒設置 2箇所					
				屋上立上 笠木天端	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し金ｺﾞｰﾝ押え	塩ビシート防水（密着工法） 端部：専用金物取付						
				ドレン	鋳鉄製φ100ﾀｲﾌﾟ	上皿撤去し、周辺を樹脂モルタルにて補修の上、改修ﾄﾞﾚﾝ（銅製、75φ）設置（ｽﾄﾚｰﾅｰ：撤去新設）						
				外壁 柱型・梁型共	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 薄塗モルタル補修 複層塗材E吹付	高圧水洗浄、ｸﾗｯｸ等処理の上防水形複層塗材E吹付（ﾌｳﾘﾎﾞﾞﾑ系）		建具周りｼｰﾘﾝｸﾞ 撤去新設（15×10） ｸﾗｯｸ等補修部：集塵機付ｸﾞﾗｲﾝﾀﾞｰ使用し、塗膜の除去				
				軒天井	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 薄塗モルタル補修 複層塗材E吹付	高圧水洗浄、ｸﾗｯｸ等処理の上水性ﾌｳﾘﾎﾞﾘｺﾝ樹脂系軒天用仕上塗材塗り						
				外巾木	モルタル金鍍仕上	高圧水洗浄						
				屋外階段	床、蹴上、踏面：防水ﾋﾞﾁｳﾑ金ｺﾞｰﾝ 巾木：ﾋﾞﾁｳﾑ金ｺﾞｰﾝ 段鼻：磁器質ﾉｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾙ 壁・段裏：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し下地複層塗材E吹	床 蹴上 踏面 巾木：高圧水洗浄、C-2ﾀｲﾌﾟ塗り ｸﾜｯｸ塗膜防水（X-2）段鼻：ﾀｲﾙ撤去、樹脂モルタルにて補修の上、防水 スﾃﾝﾚｽ製ﾉｽﾘｯﾌﾟ 設置 ※床面のﾋﾞﾁｳﾑ浮き処理のこと（工法：特記仕様書による）壁部分：外壁に同じ 階段裏：軒天庇裏に同じとする			注意喚起ﾀｲﾙ：新設			
				ﾀｲﾌﾞ	硬質塩ビ管 φ100 ｶｰｰ（ﾊﾞﾝﾄﾞ金物）	既設撤去し、硬質塩ビ管 φ100 ｶｰｰ（SUS製 ﾎﾞﾝﾄﾞ、羽子板金物）						
				庇上	モルタル金ｺﾞｰﾝt30 吹付ﾀｲﾙ	ﾋﾞﾁｳﾑ浮き処理、防水形複層塗材E吹付（ﾌｳﾘﾎﾞﾞﾑ系）						
				ﾌﾗｽ・犬走り	モルタル金ｺﾞｰﾝ	高圧水洗浄						
⑥	【職員室増築部分】	Ｓ造 1階建て	職員室	屋根	ALC板t50、断熱材t25下地 塩ビシートt1.5張り（絶縁断熱工法）	断熱材まで撤去、ｸﾚﾝ清掃、CM-2（t10）、硬質ｸﾚｯｼｬﾌｫｰﾑt=35下地、 塩ビシートt2.0（密着工法）	建具周りｼｰﾘﾝｸﾞ 撤去新設（15×10）					
				立上り	塩ビシートt1.5張り	シート防水撤去、清掃、塩ビシートt=2.0（密着工法）						
				笠木	ﾌﾙﾏ既製品 W250	既設撤去し、ﾌﾙﾏ製 W250 新設						
				外壁	ALC板 t50張り下地複層塗材E吹付 目地：PU-2 W10	高圧水洗浄、防水形複層塗材E吹付 ALC目地：撤去新設、PU-2 W10						
				外巾木	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修仕上げ H350	高圧水洗浄、C-2ｺﾁ塗補修						
				庇	高圧木毛t120板t20、ﾌｽﾌｳﾙﾄｰﾌｨﾝｸﾞ下地、ｶｰｰ鉄板t0.4張り	下地調整R8種の上、DP塗装						
				軒天井	無石綿ｹｲ酸ｶﾑ板t6+6張り下地EP	下地調整R8種の上、EP塗替え						
				鼻隠し	無石綿ｹｲ酸ｶﾑ板t10張りEP	下地調整R8種の上、EP塗替え						
				ﾀｲﾌﾞ	硬質塩ビ管 φ100 ｶｰｰ（ﾊﾞﾝﾄﾞ金物）	既設撤去し、硬質塩ビ管 φ100 ｶｰｰ（SUS製ﾊﾞﾝﾄﾞ、羽子板金物）						
				ポーチ	モルタル金ｺﾞｰﾝ	高圧水洗浄						
⑦	【事務室】 〈外壁の下地調整材にﾌｽﾍﾞｽﾄ含有〉	ＲＣ造 1階建て	事務室	外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 薄塗モルタル補修 複層塗材E吹付	高圧水洗浄、防水形複層塗材E吹付（ﾌｳﾘﾎﾞﾞﾑ系）	建具周りｼｰﾘﾝｸﾞ 撤去新設（15×10） ｸﾗｯｸ等補修部：集塵機付ｸﾞﾗｲﾝﾀﾞｰ使用し、塗膜の除去					
				外巾木	モルタル金鍍仕上	高圧水洗浄						
				軒天井	無石綿t120板 t6.0目透かし張り EP	下地調整R8種の上、EP塗替え						
				屋根	ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ材 t25 ﾌﾙﾏt17kg ｶｰｰ鉄板 t=0.4横葺き	高圧水洗浄						
				室外機置場	平場、巾木	ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（平成27年に施工）		高圧水洗浄 トップコート塗り（高耐久シリコーン変性アクリルウレタン系保護塗料）				
					その他	スロープ：タイル貼り、通路：モルタル金鍍 スロープ鋼製手摺 SOP		高圧水洗浄 スロープ鋼製手摺：下地処理R8の上、DP塗替え				
									スロープ屋根：折板葺き、塩ビ軒樋	スロープ屋根：一時取外し（下地鉄骨（亜鉛メッキ）、軒樋は既存のまま）		
									ﾀｲﾌﾞ	硬質塩ビ管 φ100 ｶｰｰ（ﾊﾞﾝﾄﾞ金物）		既設撤去し、硬質塩ビ管 φ100 ｶｰｰ（SUS製ﾊﾞﾝﾄﾞ、羽子板金物）
⑧	【給食室】 〈ﾌｽﾌｳﾙﾄ防水にｱｽﾍﾞｽﾄ含有〉	ＲＣ造 1階建て	給食室	屋上平場	（新築時：ｱｽﾌｳﾙﾄ露出防水）⇒補修の上、塩ビシート防水 t1.5（絶縁工法）	高圧水洗浄、トップコート塗り（高耐久シリコーン変性アクリルウレタン系保護塗料）	建具周りｼｰﾘﾝｸﾞ 撤去新設（15×10）					
				バラベツ	天端・あご部分（新築時：モルタル金鍍押え）⇒樹脂モルタル下地ウレタン塗膜防水（X-2）立上り部分 既存面補修の上、樹脂ﾋﾞﾁｳﾑ下地塩ビシート t1.5貼り（接着工法）	高圧水洗浄、トップコート塗り（高耐久シリコーン変性アクリルウレタン系保護塗料）						
				外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 薄塗モルタル補修 アクリルリシン吹付	高圧水洗浄、ｸﾗｯｸ等処理の上、防水形複層塗材E吹付（ﾌｳﾘﾎﾞﾞﾑ系）						
				外巾木	モルタル金鍍仕上	高圧水洗浄						
				その他	ドレン：鋳鉄製 φ100 アクリルドーム 2基	既存清掃 2基とも撤去（トップライト枠まで）の上、開口閉塞 スﾃﾝﾚｽ笠木取付						
				ﾀｲﾌﾞ	硬質塩ビ管 φ100 ｶｰｰ（ﾊﾞﾝﾄﾞ金物）	既設撤去し、硬質塩ビ管 φ100 ｶｰｰ（SUS製 ﾎﾞﾝﾄﾞ、羽子板金物）						
				ﾌﾗｽ・犬走り	モルタル金ｺﾞｰﾝ	高圧水洗浄						

※特記 高圧水洗浄：15Mpaとする。

備 考		工 事 名	坂戸市立入西小学校校舎外壁等改修工事	森田 建築設計室 事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第8815号 管理建築士 TEL 049-282-2888 森田 和巳 FAX 049-282-3002 大臣登録第161365号	製 図	担 当	承 認	工 番	日 付	25.12	図 名	仕上表(2)	縮 尺	N. S	図 番	A-13
												〈④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧棟〉				

記 号	建 物 名 称	構 造・規 模	用 途	部 位	既 存 状 況	改 修 方 法	備 考
⑧-2	【給食室（増築部）】	S造 1階建て	食品庫、休憩室	屋上平場	ALCt50の上ﾎﾞｰﾙﾚｲﾝﾌｫｰﾑｵｰﾑｵ20下地塩ビｼｰﾄ防水 t2.0	高圧水洗浄、トップコート塗り（高耐久シリコン変性アクリルウレタン系保護塗料）	
				バラベツト	ALCt50下地塩ビｼｰﾄt2.0	高圧水洗浄、トップコート塗り（高耐久シリコン変性アクリルウレタン系保護塗料）	
				外壁	ALC t50下地 外装薄塗材 E	高圧水洗浄・ｸﾗｯｸ等処理の上防水形複層塗材E吹付（ﾌｳﾙﾌｳﾞﾑ系）	建具周りｼｰﾘﾝｸﾞ 撤去新設 （15×10）
				軒天井	無石綿ﾌｳｲﾙﾏｰﾄﾞ t4.0目透かし張り EP	下地処理（RB）、EP塗替え	
				外巾木	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	高圧水洗浄	
				その他	笠木：アルミ製w250 ﾛｰﾌﾞﾄﾞﾚｲﾝ：横引φ75	既存清掃	
				ﾀﾝﾑ	硬質塩ビ管 φ100 ｶｰｰ（ﾊﾞﾝﾄﾞ金物）	既設撤去し、硬質塩ビ管 φ100 ｶｰｰ（SUS製 ﾎﾞﾝﾄﾞ、羽子板金物）	
⑨	【渡り廊下】	S造 1階建て	（特別教室棟-校舎）	屋根	ｶﾞﾙﾊﾞﾆｽﾞﾑ鋼板折板葺き t0.4、H88	清掃	
				柱・梁	鋼管100×100×3.2 SOP	下地処理（RB）の上、錆止め+DP塗替え	
				腰壁	角波鉄板張り	下地処理（RB）の上、錆止め+DP塗替え	
				床	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ 金ｺﾞ目地切り仕上	高圧水洗浄	
				ﾀﾝﾑ	硬質塩ビ管 φ75 ｶｰｰ（ﾊﾞﾝﾄﾞ金物）	既設撤去し、硬質塩ビ管 φ75 ｶｰｰ（SUS製 ﾎﾞﾝﾄﾞ、羽子板金物）	
⑩	【渡り廊下】	S造 1階建て	（PB普通教室棟-校舎）	屋根	ｶﾞﾙﾊﾞﾆｽﾞﾑ鋼板折板葺き t0.6、H88	清掃	
				柱・梁	鋼管75×75 SOP	下地処理（RB）の上、錆止め+DP塗替え	
				手摺	丸ﾊﾞｲﾌﾞ、SUS製	清掃	
				床	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ 金ｺﾞ目地切り仕上	高圧水洗浄	
				ﾀﾝﾑ	硬質塩ビ管 φ75 ｶｰｰ（ﾊﾞﾝﾄﾞ金物）	既設撤去し、硬質塩ビ管 φ75 ｶｰｰ（SUS製 ﾎﾞﾝﾄﾞ、羽子板金物）	
⑪	【渡り廊下】	S造 1階建て	（PB普通教室棟-校舎）	屋根	ｶﾞﾙﾊﾞﾆｽﾞﾑ鋼板折板葺き t0.6、H88	清掃	
				柱・梁	鋼管100×100 SOP	下地処理（RB）の上、錆止め+DP塗替え	
				腰壁	外側 鋼板ｻｲﾅﾞｲﾝｸﾞ張り、内側 焼付塗装仕上金属板（アルミ）	外側：下地処理の上、DP塗り 内側：水洗い	
				床	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ 金ｺﾞ目地切り仕上	高圧水洗浄	
				ﾀﾝﾑ	硬質塩ビ管 φ100 ｶｰｰ（ﾊﾞﾝﾄﾞ金物）	既設撤去し、硬質塩ビ管 φ100 ｶｰｰ（SUS製 ﾎﾞﾝﾄﾞ、羽子板金物）	
⑫	【渡り廊下】	S造 1階建て	（体育館-校舎）	屋根	ｱﾙﾐ製	清掃	
				柱・梁	鋼管φ76.3×t3.2 SOP	下地処理（RB）の上、錆止め+DP塗替え	
				腰壁	ｶｰｰｱﾙﾐﾊﾞｰﾄﾞ張り（鋼管胴縁：50×50×t2.3 SOP）	清掃	
				床	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ 金ｺﾞ目地切り仕上	高圧水洗浄	
				目隠し板	塩ビ波板張り	張り直し（木製取付下地共）	
				ﾀﾝﾑ	硬質塩ビ管 φ60 ｶｰｰ（ﾊﾞﾝﾄﾞ金物）	既設撤去し、硬質塩ビ管 φ60 ｶｰｰ（SUSﾊﾞﾝﾄﾞ金物）	
⑬	【廊下】	RC造2階建て	渡り廊下	屋根	工事範囲外（ガラス屋根）	既設ｻｯｼﾞ下端（ﾄｰﾑ屋根下端部）に、水切り板取付	
	〈外壁の下地調整材にﾌﾗｽﾄ含有〉		渡り廊下 トｯﾌﾟﾗｲﾄ取合い	平場	均しﾓﾙﾀｰt20下地ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水 t2.0	全面撤去、ｸﾚﾝ清掃、均しﾓﾙﾀｰt20下地 ｸﾚﾀﾝ塗膜防水（X-1）	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ製脱気筒設置 1箇所
				立上り	ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水 t2.0	全面撤去、ｸﾚﾝ清掃、C-2ﾌﾞﾗｯｼﾞ下地 ｸﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）	
				外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 薄塗ﾓﾙﾀﾙﾏｰﾄﾞ補修 複層塗材E吹付	集塵機付きｻﾞｸﾞｰ工法にて仕上塗材全面除去、下地処理の上、防水形複層塗材E吹付	
			事務所屋根取合い部分	水切り	躯体取合い ｺｰｷﾝｸﾞ	ｼｰﾘﾝｸﾞ打ち替え	
				ﾀﾝﾑ	硬質塩ビ管 φ100 ｶｰｰ（ﾊﾞﾝﾄﾞ金物）	既設撤去し、硬質塩ビ管 φ100 ｶｰｰ（SUSﾊﾞﾝﾄﾞ金物）	
		S造 2階建て	階段	床、踏板	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞｰ、ﾉｽﾄﾘｯｸﾞ金物	ﾉｽﾄﾘｯｸﾞ金物撤去、樹脂ﾓﾙﾀﾙ補修、既存面下地処理（清掃・突起物除去） 長尺塩ビｼｰﾄ（階段用）貼り	ｼｰﾄ仕様：蹴込み一体型、露出部のｻﾗｳﾞｰ板も長尺塩ビｼｰﾄ貼りとする
	〈外壁のﾌﾙｷﾝｸﾞﾞﾙ板にﾌﾗｽﾄ含有〉	ササﾗ（巾木） 階段蹴込み		鉄部表しSOP	既存面下地処理RBの上、錆止め 長尺塩ビｼｰﾄ（階段ササﾗ用）貼り		
				手摺壁	内外共 ﾌﾙｷﾝｸﾞﾞﾙﾊﾞｰﾄﾞ張り（アスベスト含有） 塗装仕上	既存ﾎｰﾄﾞ撤去 角波ｶｰｰｶﾞﾙﾊﾞﾆｽﾞﾑ鋼板（厚15×t0.35）張り（笠木+水切り）	両側手摺：塩ビ笠木（φ34）ﾌﾞﾗｯｸﾄ型 取付
			手摺笠木 下端納まり	鉄部表しSOP	既存撤去の上、新規角材取付（錆止め、DP塗装）		
				階段あげうら	鉄部表しSOP	既存面下地処理（RB）の上、錆止め、DP塗替え	
				柱、梁	鉄部表しSOP	既存面下地処理（RB）の上、錆止め、DP塗替え	
				屋根	鋼板波板葺き	高圧水洗浄	
				柱、梁	鋼管ﾊﾞｲﾌﾞ SOP	既存面下地処理（RB）の上、錆止め、DP塗替え	
				面格子	枠：鋼管角ﾊﾞｲﾌﾞ SOP 格子：エキスパンドﾒﾀﾙSOP仕上	枠部分は下地処理（RB）の上、錆止め、DP塗替え アルミ製ﾊﾞﾝﾁﾝｸﾞﾒﾀﾙに取り換え	
				ﾀﾝﾑ	硬質塩ビ管 φ60 ｶｰｰ（ﾊﾞﾝﾄﾞ金物）	既設撤去し、硬質塩ビ管 φ60 ｶｰｰ（SUS製 ﾎﾞﾝﾄﾞ、羽子板金物）	

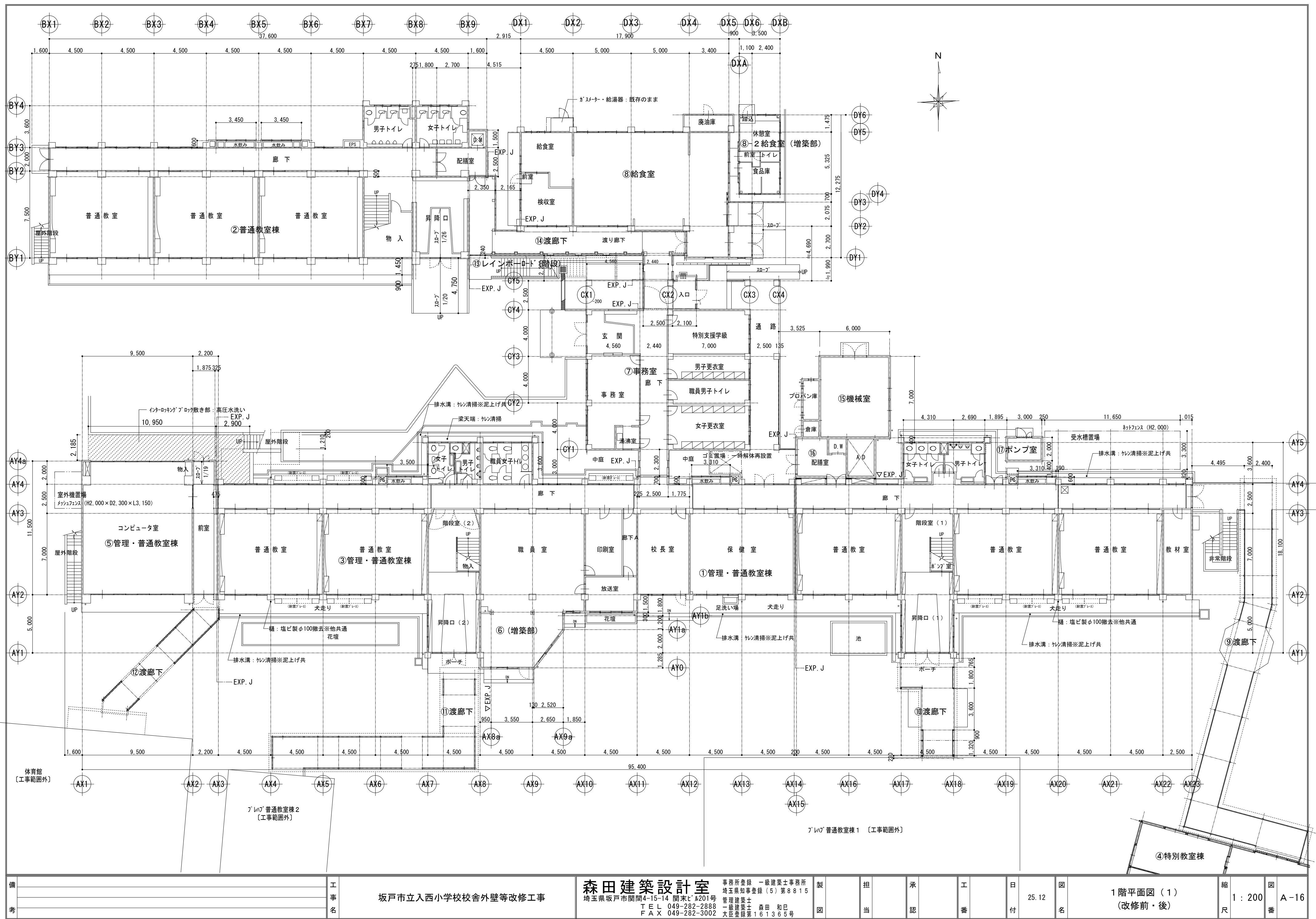
※特記 高圧水洗浄：15Mpaとする。

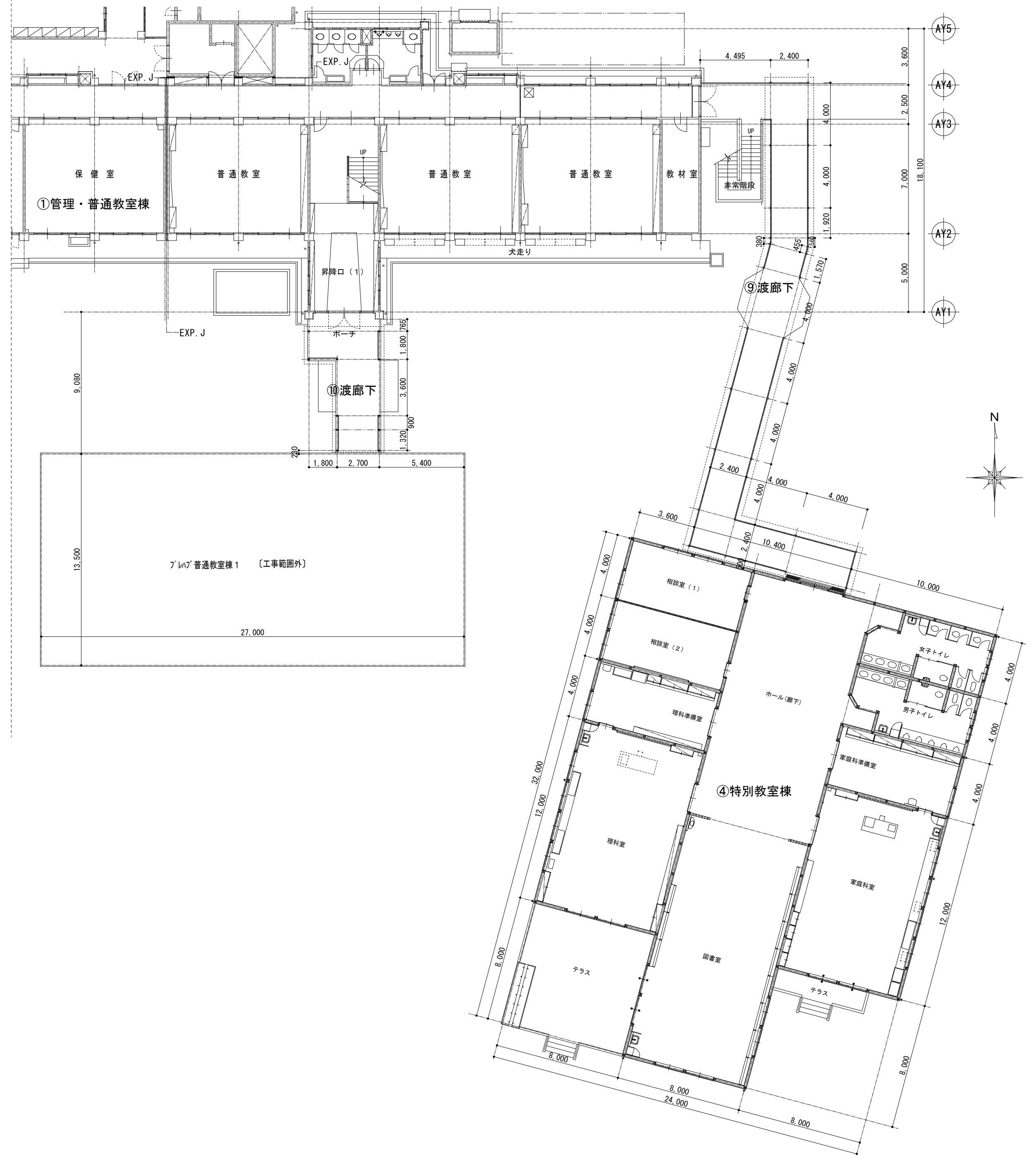
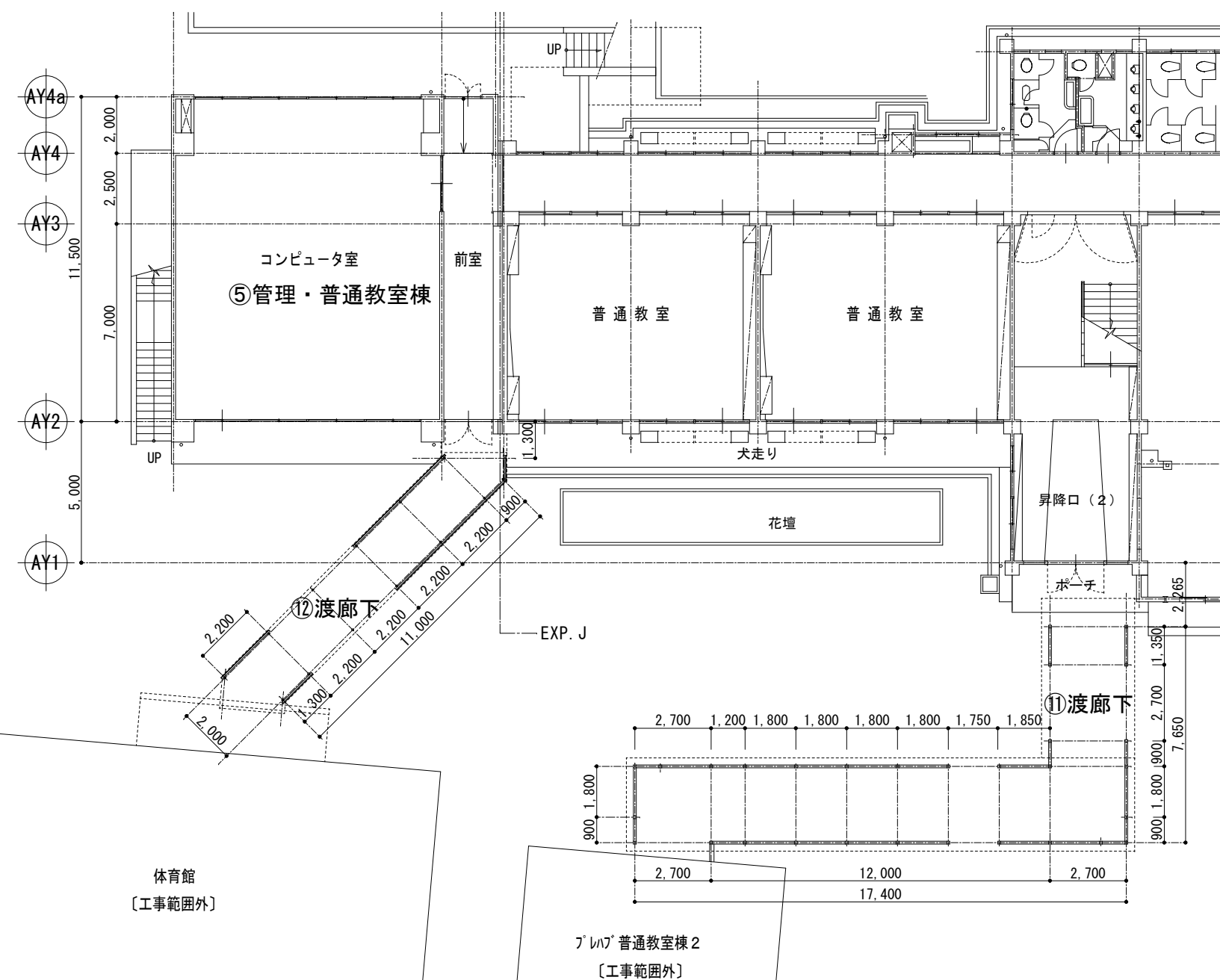
備 考		工事名	坂戸市立入西小学校校舎外壁等改修工事	森田建築設計室 事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第8815号 管理建築士 TEL 049-282-2888 森田 和巳 FAX 049-282-3002 大臣登録第161365号	製 図	担 当	承 認	工 番	日 付	25.12	図 名	仕上表(3) 〈8-2 ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬棟〉	縮 尺	N. S	図 番	A-14

[illegible]

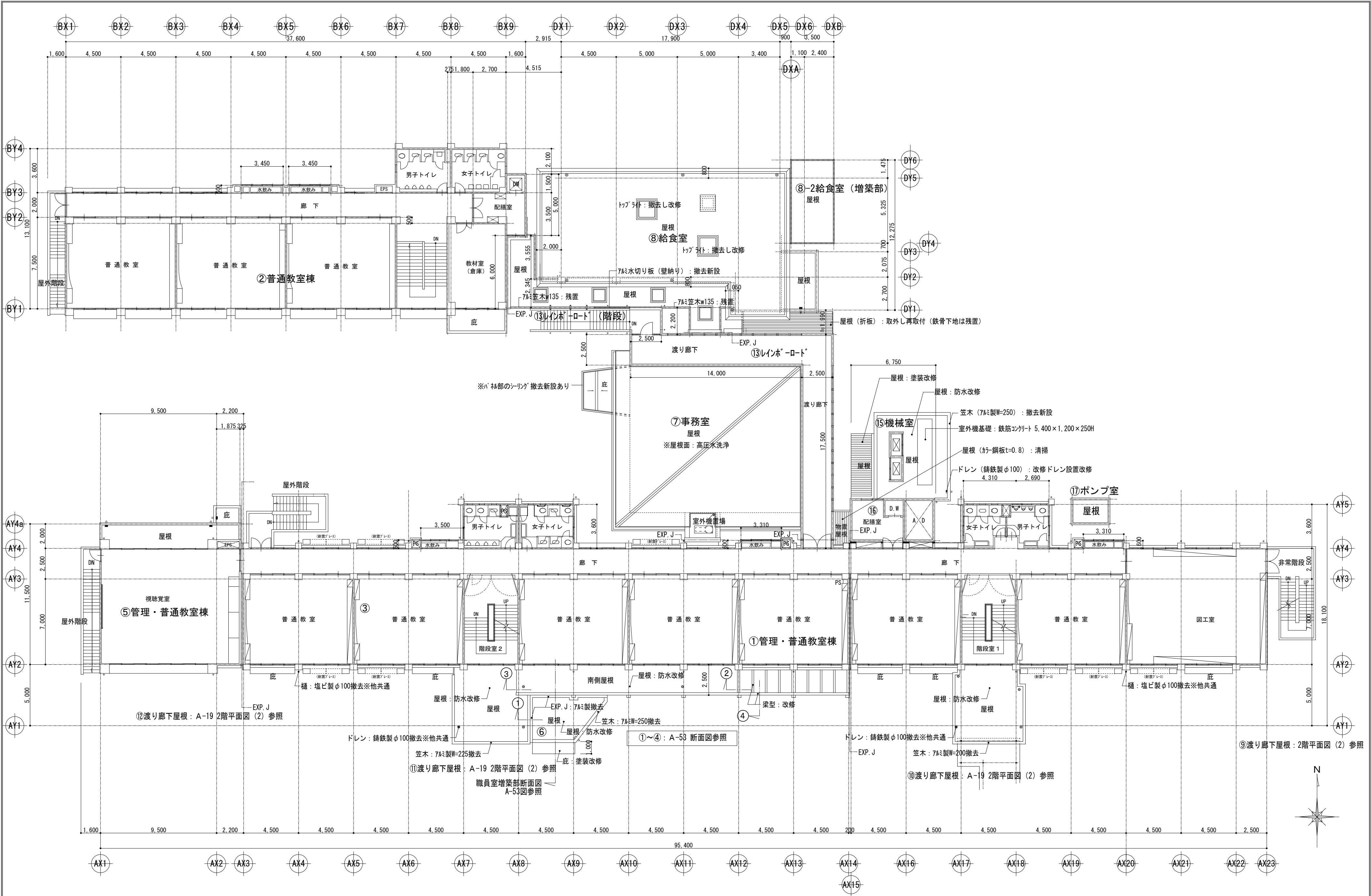
※特記 高圧水洗浄：15Mpaとする。

備 考		工 事 名	坂戸市立入西小学校校舎外壁等改修工事	森田建築設計室 埼玉県坂戸市関間4-15-14 関末ビル201 管理建築士 T E L 049-282-2888 一級建築士 F A X 049-282-3002 森田 和巳 大臣登録第161365号	製 図	担 当	承 認	工 番	日 付	25. 12	国 名	仕上表（4） 〈⑭ ⑮ ⑯ ⑰棟 共通〉	縮 尺	N. S	図 番	A-15





備 考		工事名	坂戸市立西小学校校舎外壁等改修工事	森田 建築設計室 埼玉県坂戸市関間4-15-14 関末ビル201号 事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第8815号 管理建築士 T E L 049-282-2888 F A X 049-282-3002 一級建築士 森田 和巳 大臣登録第161365号	製 図	担 当	承 認	工 番	日 付	25. 12	図 名	1 階平面図 (2) (改修前・後)	縮 尺	1 : 200	図 番	A - 17



備		工
考		事
		名

坂戸市立入西小学校校舎外壁等改修工事

森田建築設計室

埼玉県坂戸市関間4-15-14 関末ビル201号
TEL 049-282-2888
FAX 049-282-3002

事務所登録 一級建築士事務所
埼玉県知事登録 (5) 第8815号
管理建築士 森田 和巳
一級建築士 森田 和巳
大臣登録第161365号

製
図

担
当

承
認

工
番

日
付

25.12

図
名

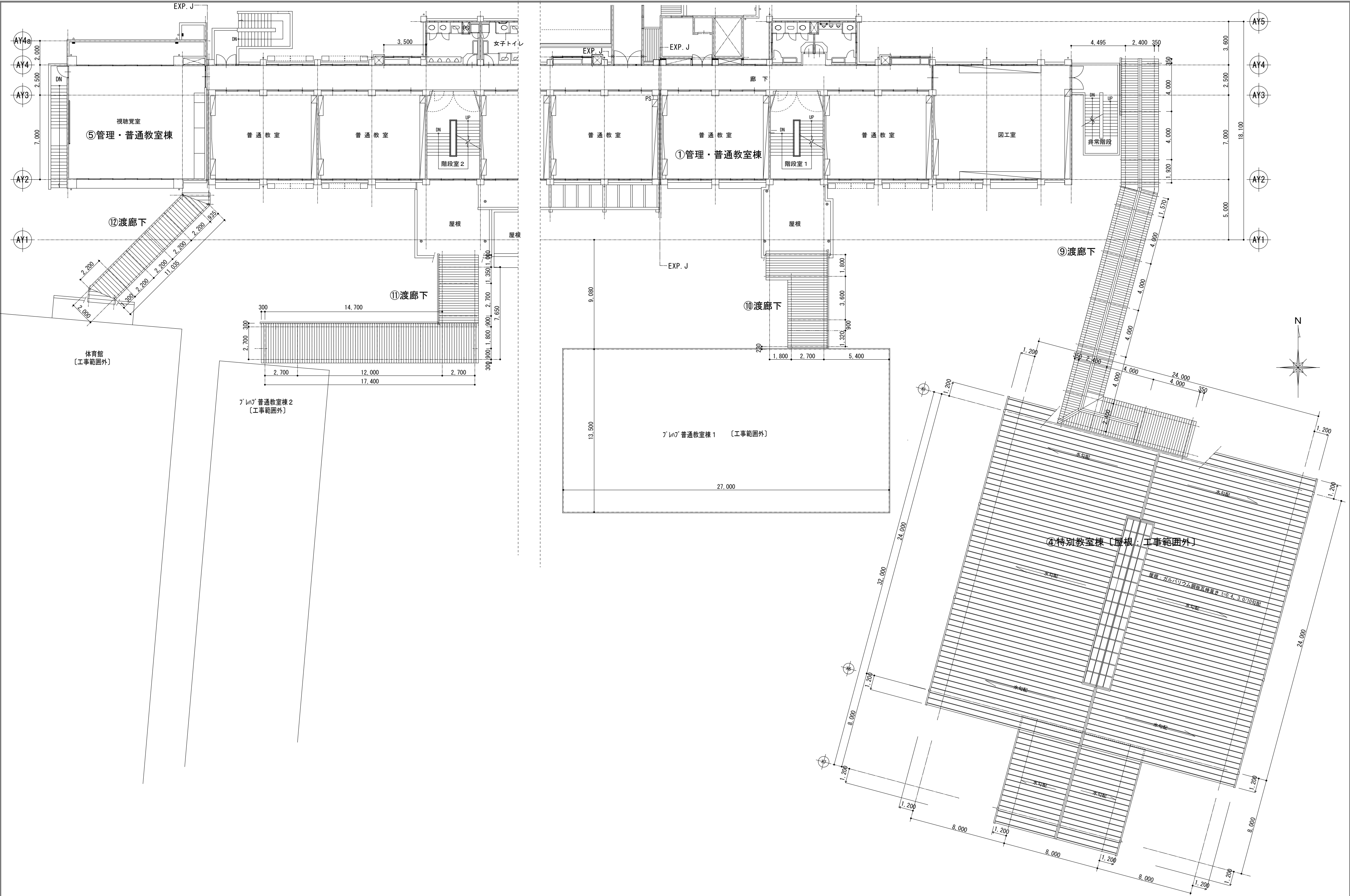
2階平面図 (1)
(改修前・後)

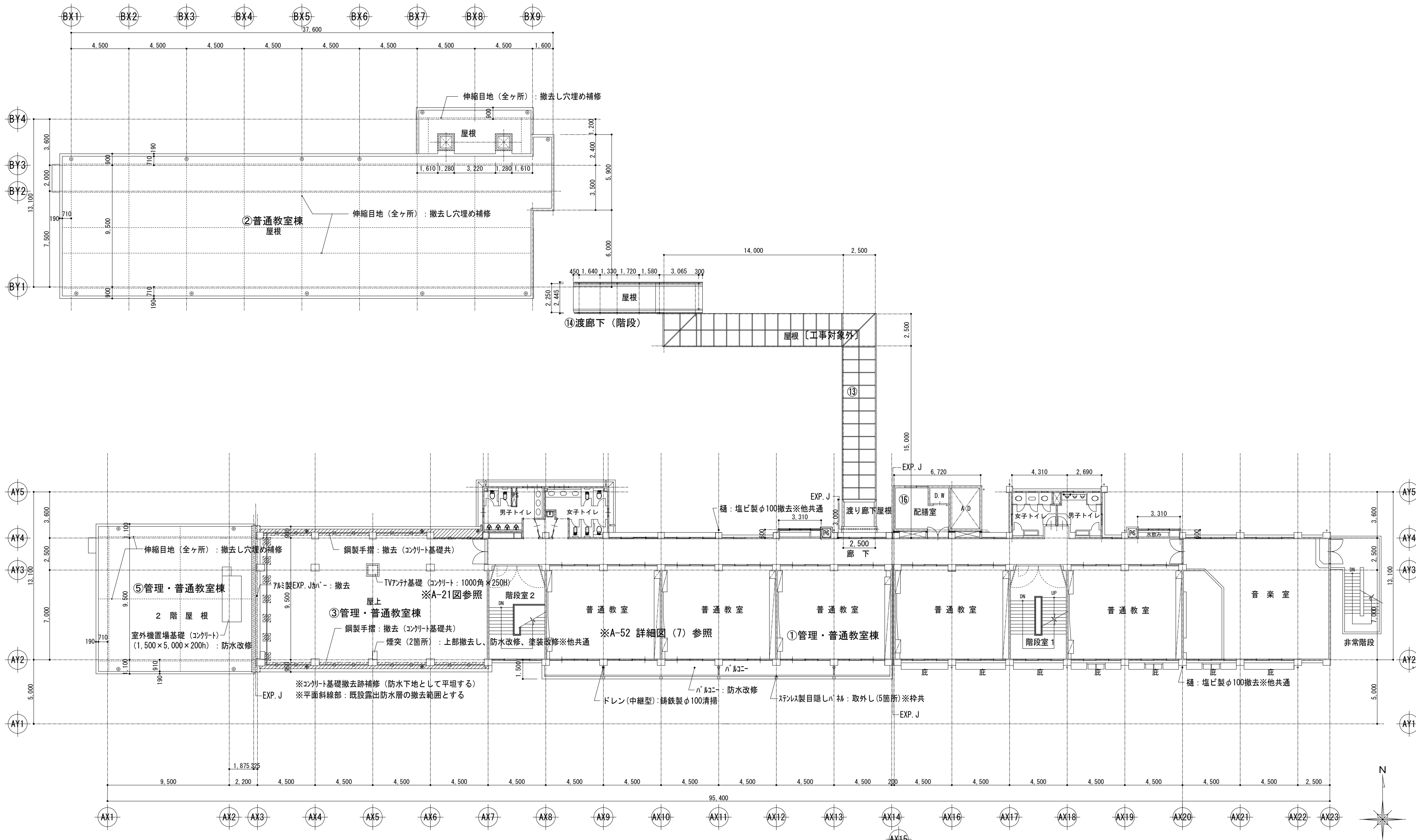
縮
尺

1 : 200

図
番

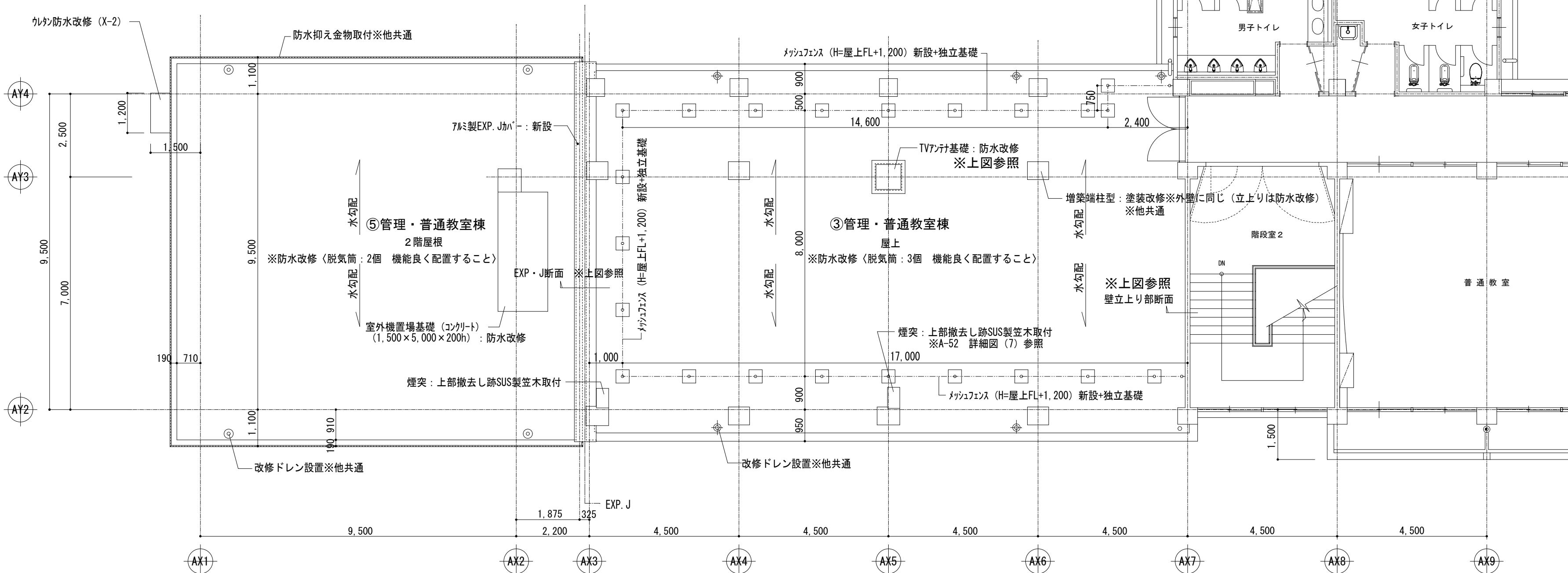
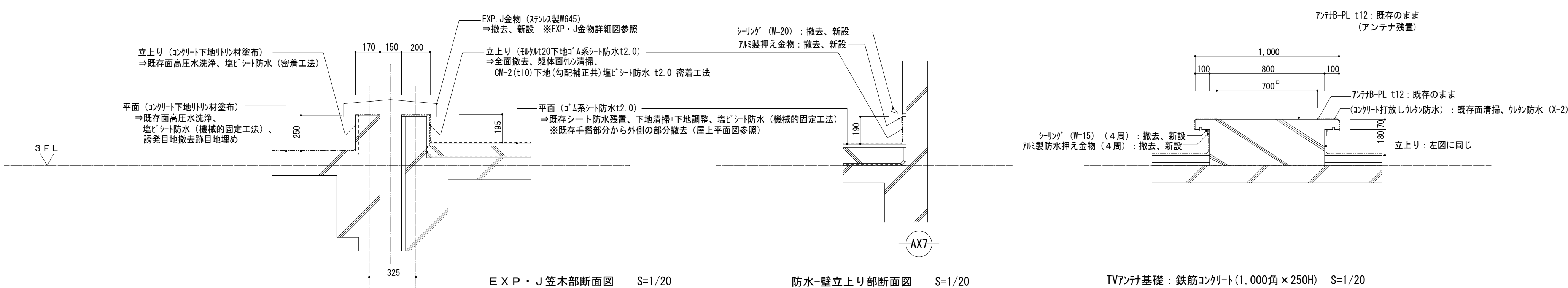
A-18

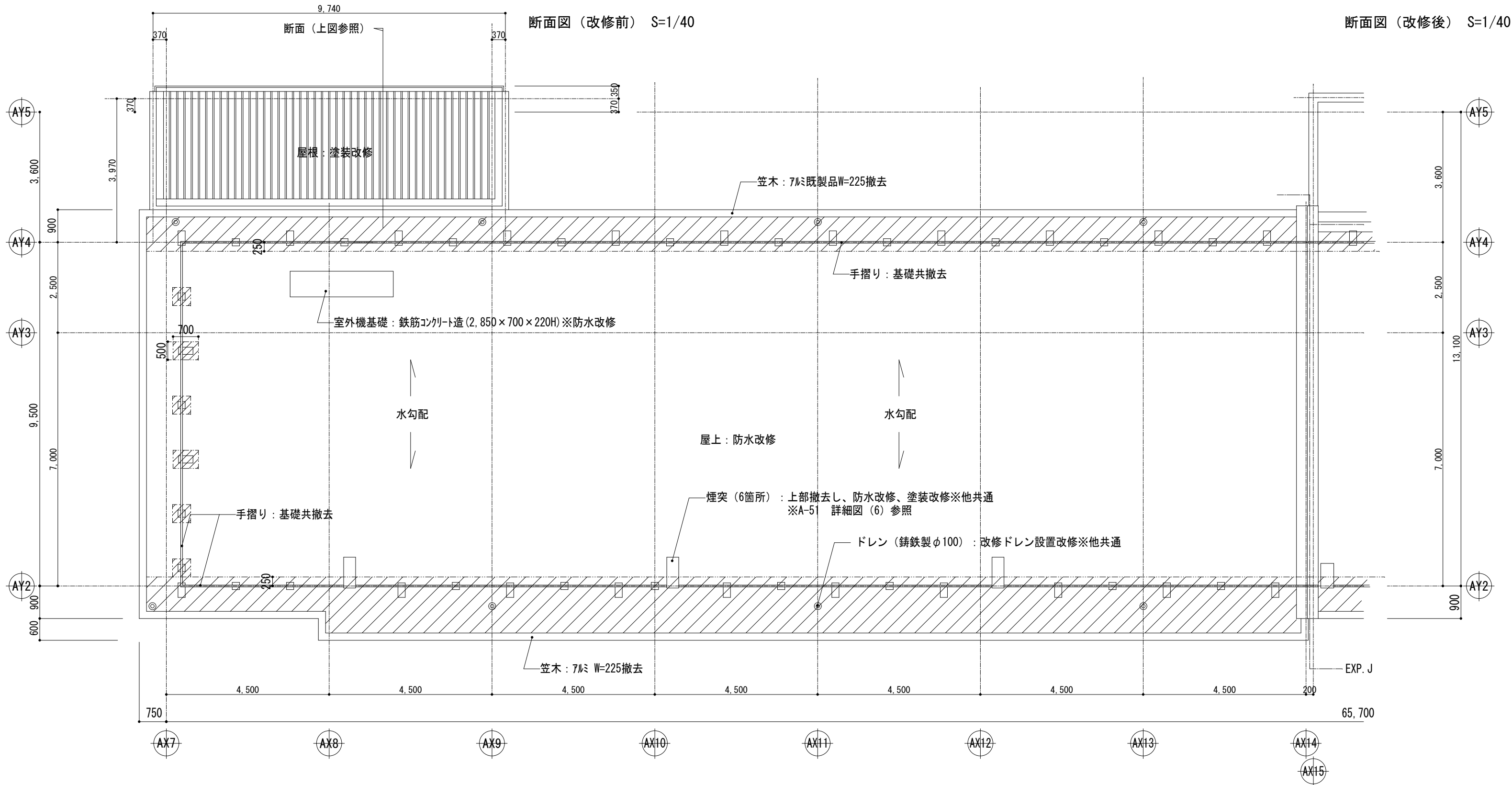
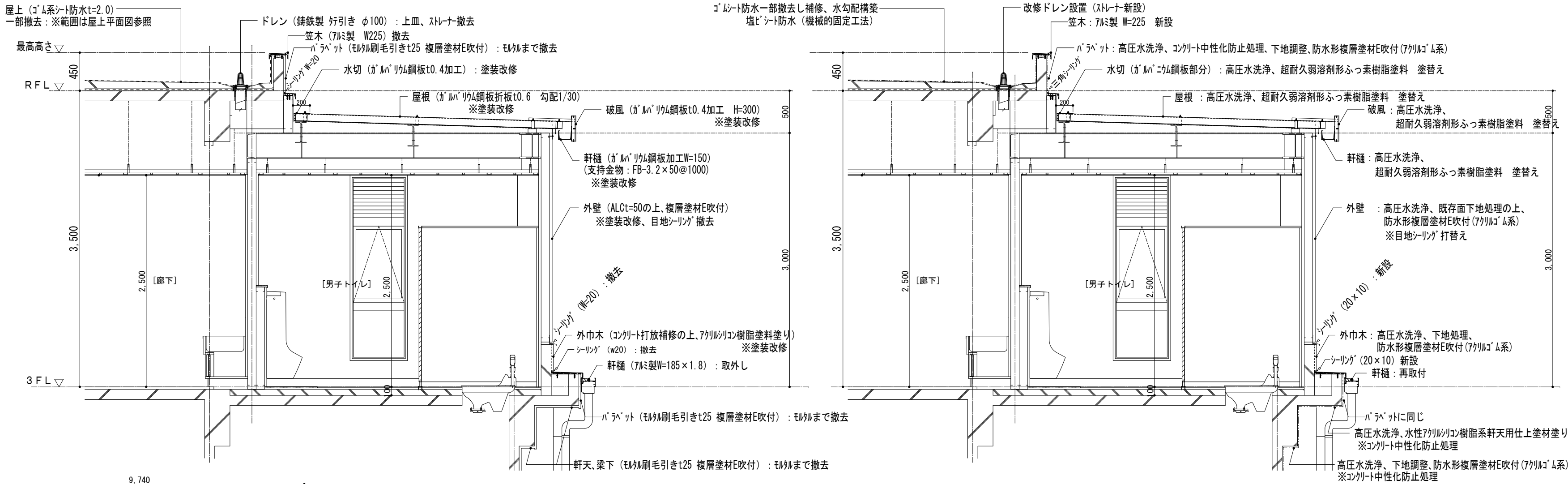
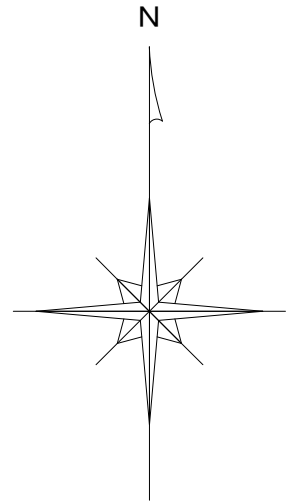




改修前 3階平面図 S=1/200

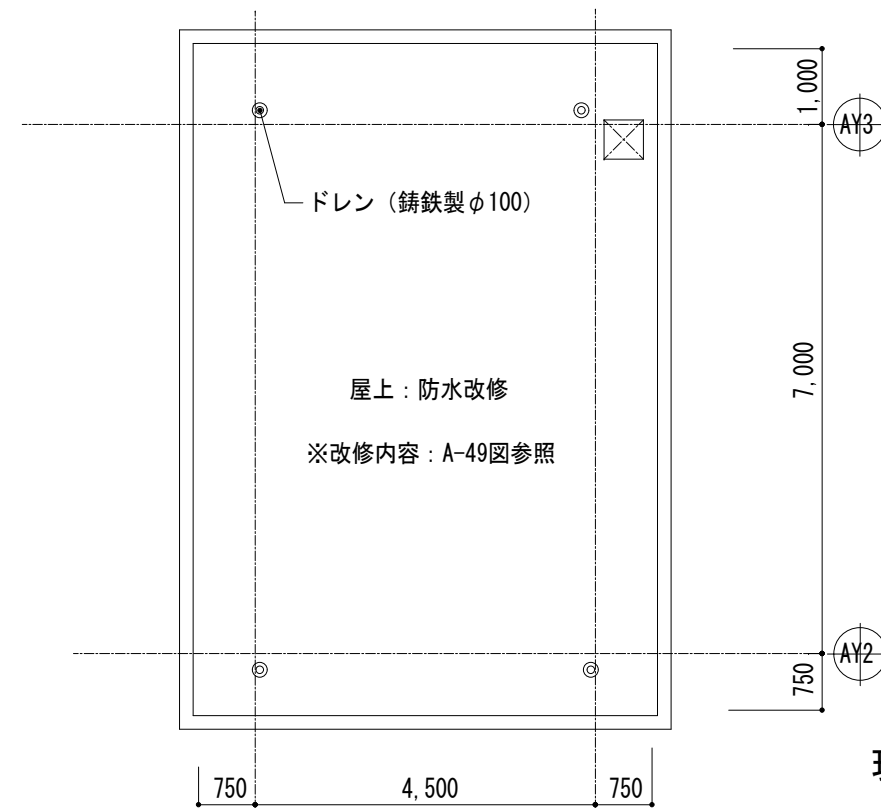
備考				工事名	坂戸市立入西小学校校舎外壁等改修工事										製図	担当	承認	工番	日付	図名	縮尺	図番
					森田建築設計室																	
					事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第8815号 管理建築士 森田 和巳 一級建築士 森田 和巳 大臣登録第161365号																	
				3階平面図(改修前)														25.12		1:200	A-20	





斜線部分 (平面部) : 既設の露出防水層を撤去とする

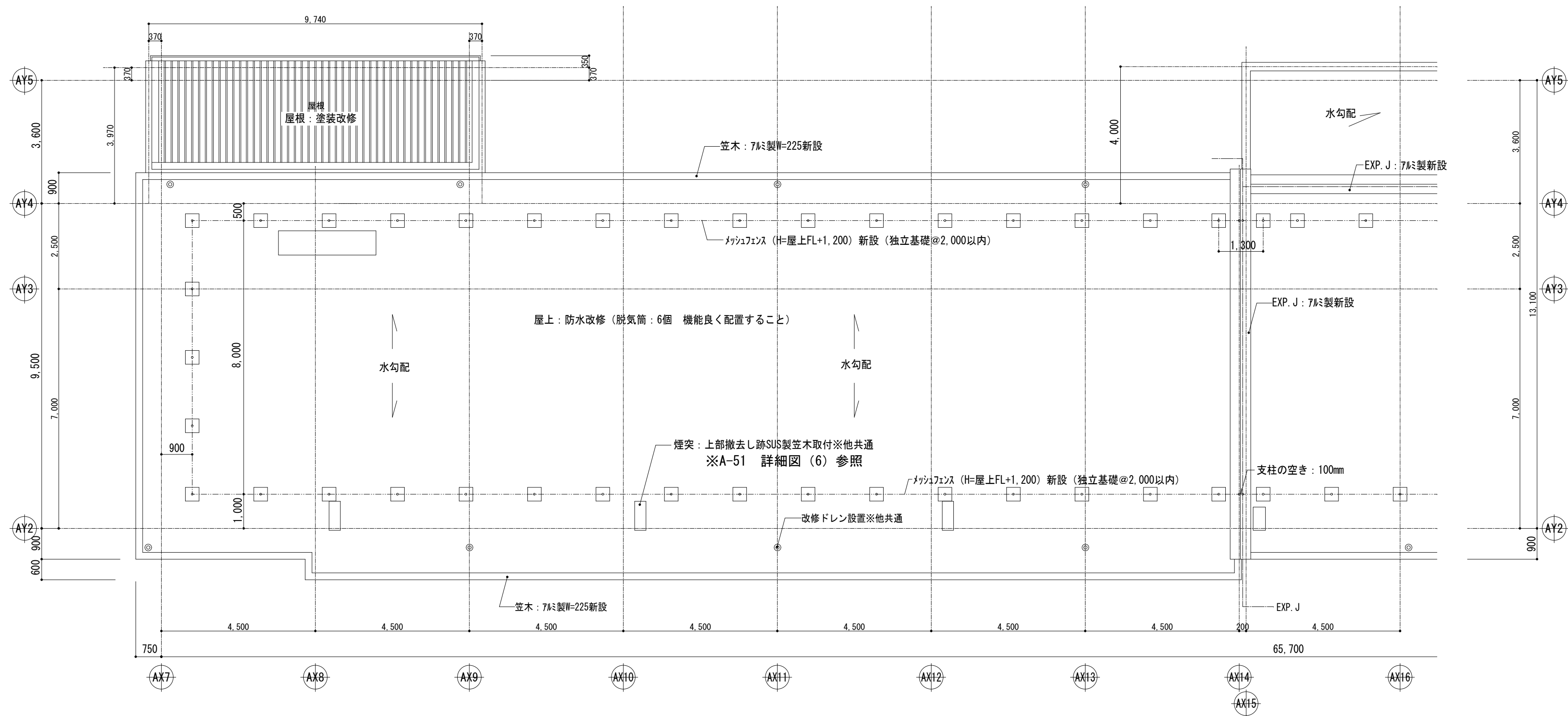
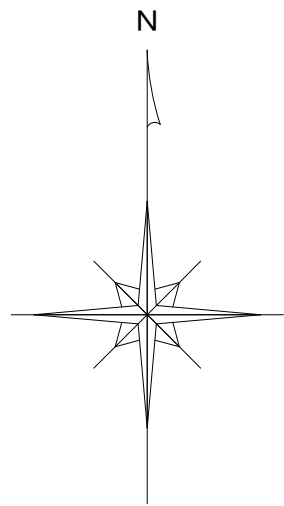
備考		工事名	坂戸市立入西小学校校舎外壁等改修工事	森田建築設計室 埼玉県坂戸市関間4-15-14 関末ビル201号 TEL 049-282-2888 FAX 049-282-3002	事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (5) 第8815号 管理建築士 森田 和巳 一級建築士 森田 和巳 大臣登録第161365号	製図	担当	承認	工番	日付	図名	縮尺	図番
										25.12	R階平面図 (1) (改修前)	1:100 1:40	A-22



This architectural floor plan illustrates the 1st floor (1F) with various structural and renovation details. The plan is bounded by grid lines AX14 to AX23 horizontally and AY2 to AY5 vertically. Key features include:

- Dimensions:**
 - Horizontal: 65,700 (total), with segments of 200, 4,500, 4,500, 4,500, 4,500, 4,500, 4,500, 2,500, and 900.
 - Vertical: 13,100 (total), with segments of 900, 2,500, 7,000, and 900.
- Structural Elements and Annotations:**
 - Roof (屋上):** Waterproofing renovation (防水改修) is indicated in multiple areas.
 - Basement (地下):**
 - EXP. J: 7M² removal (EXP. J: 7M²撤去) is noted in several locations.
 - EXP. J: 7M² removal (※A-25図参照) is noted near the stairs.
 - EXP. J: 7M² removal (※A-51 詳細図 (6) 参照) is noted near the chimney.
 - Stairs (階段室 1):** Located in the center, showing DN (down) and UP (up) directions.
 - Storage Room (物置):** Located below the stairs, with a height of 2,000.
 - Chimney (煙突):** Upper part to be removed, waterproofing, and painting renovation (※A-51 詳細図 (6) 参照).
 - Water Supply Tank (補給水槽):** Reinforced concrete structure (1,500 × 1,500 × 300H) with waterproofing renovation.
 - Handrails (手摺り):** Foundation removal (基礎共撤去) is noted for several handrails.
 - Reinforcement (鉄筋):**
 - Reinforced concrete structure (2,000 × 900 × 200H) for outdoor equipment foundation (室外機基礎).
 - Reinforced concrete structure (1,500 × 1,500 × 300H) for water supply tank.
 - Other Details:**
 - RD (cast iron φ100): Renovation of DR setting, etc. (改修DR設置改修※他共通).
 - Removal of 7M² W=250 reinforcement (笠木: 7M² W=250撤去) in several locations.
 - Removal of salt-coated φ100 reinforcement (樋: 塩ビ製φ100撤去※他共通).

A-23



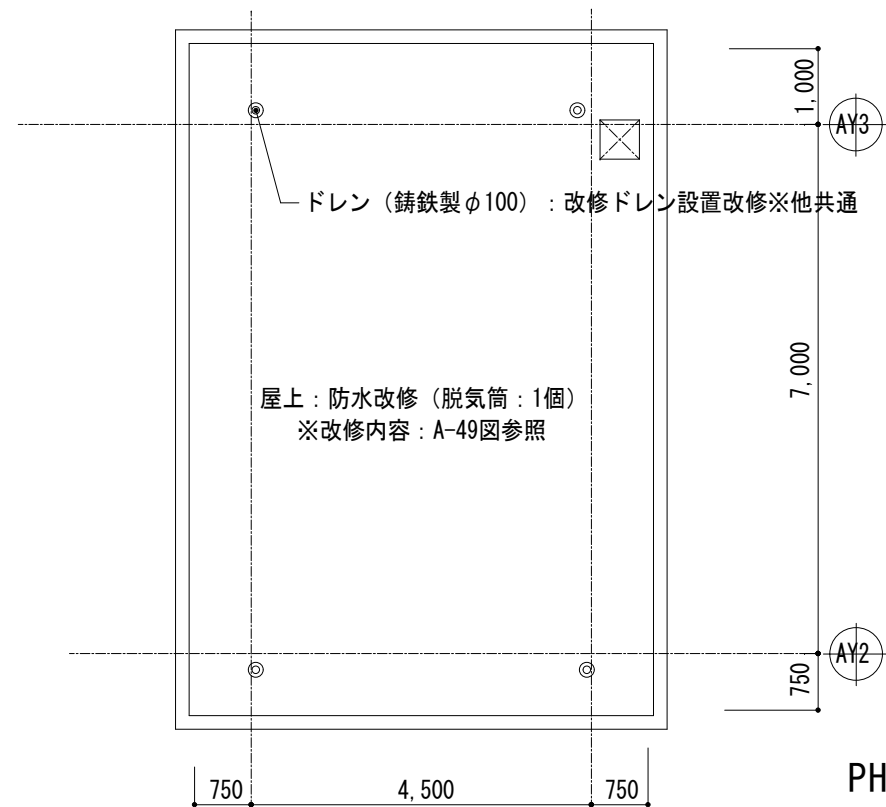
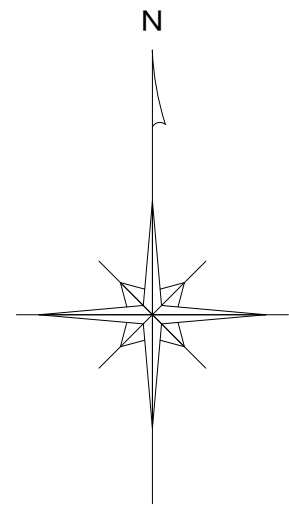
備	
考	

工 事 名	坂戸市立入西小学校校舎外壁等改修工事
-------------	--------------------

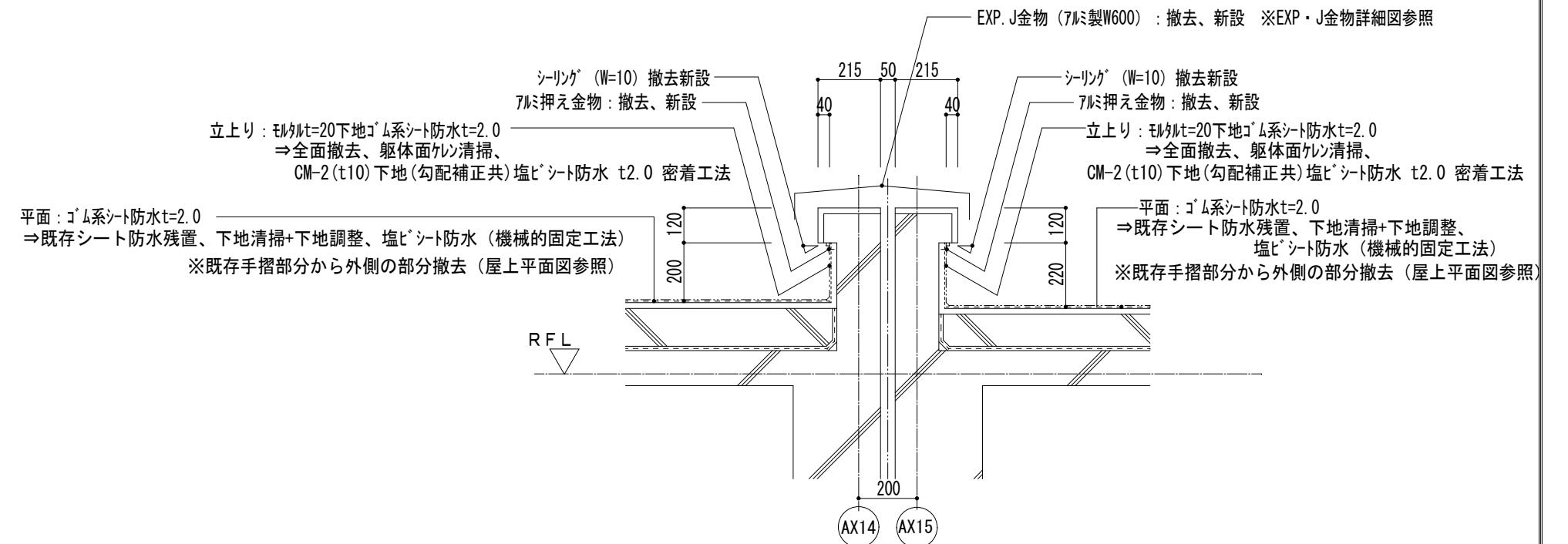
森田建築設計室

事務所登録 一級建築士事務所
埼玉県知事登録(5)第8815号
管理建築士 森田 和巳
一級建築士 大田 登録第161365号
〒300-0001 埼玉県坂戸市関間4-15-14 関末ビル201号
TEL 049-282-2888
FAX 049-282-3002

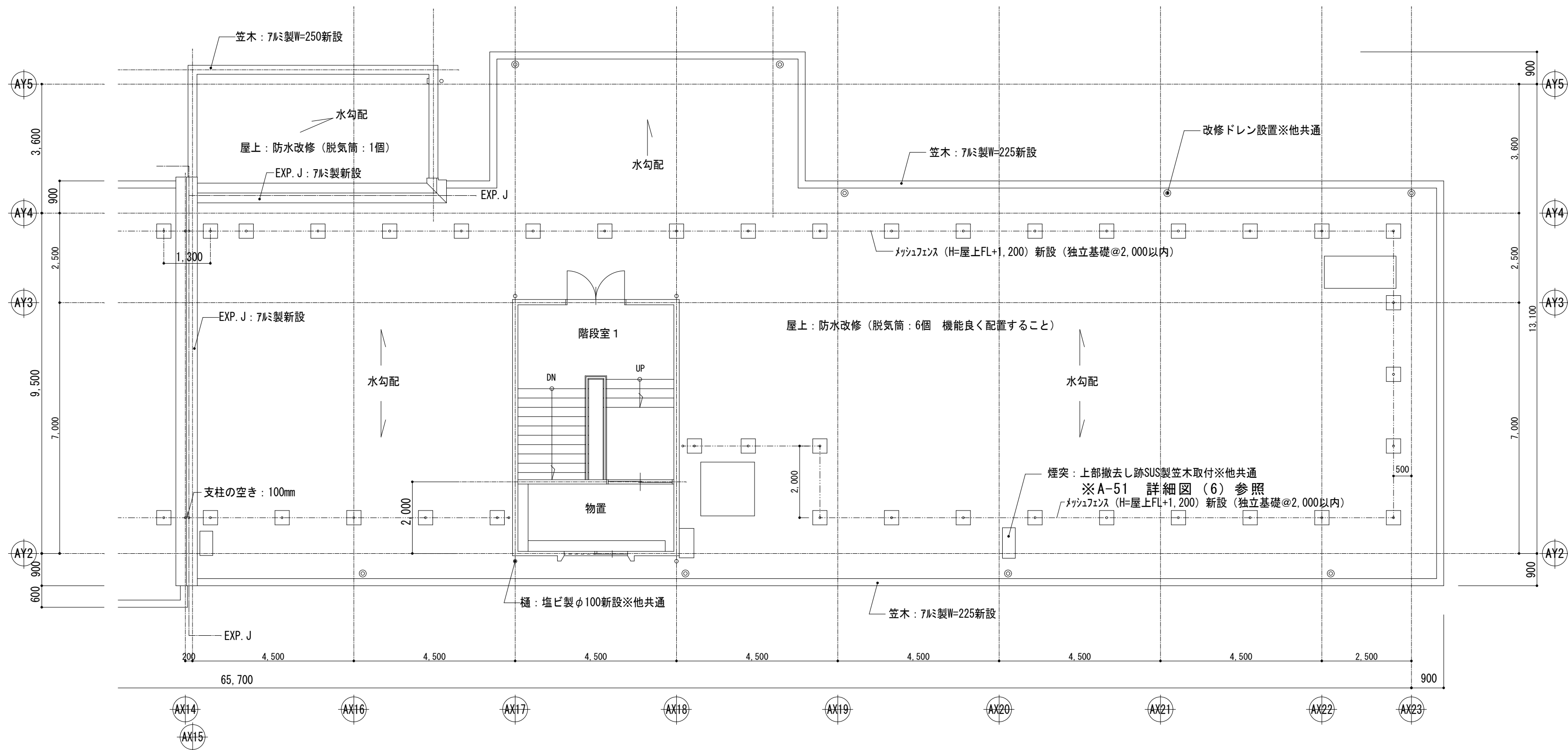
製 図	担 当	承 認	工 番	日 付	図 名	R階平面図(1)(改修後)	縮 尺	1 : 100	図 番	A-24
--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------------	--------	---------	--------	------



PH R階平面図 (改修図)



EXP・J部 (屋根-屋根) 断面図 S=1/20



備	
考	

工 事 名	坂戸市立入西小学校校舎外壁等改修工事
-------------	--------------------

森田建築設計室 埼玉県坂戸市関間4-15-14 関末ビル201号 TEL 049-282-2888 FAX 049-282-3002	事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (5) 第8815号 管理建築士 森田 和巳 一級建築士 森田 和巳 大臣登録第161365号	製 図	担 当	承 認	工 番	日 付 25.12	図 名 R階平面図 (2) (改修後)	縮 尺 1:100 1:20	図 番 A-25
---	--	--------	--------	--------	--------	-----------------	---------------------------	-------------------------	----------------

			※床面のモルタル浮き処理のこと（工法：特記仕様書による）		壁部分：外壁に同じ		階段裏：軒天底裏に同じとする	
記号	部 位	既 存 状 況	改 修 方 法					
①	笠木	アルミ製 w225	既設撤去し、7mm製 W225新設					
②	外壁（１）	モルタル刷毛引き t=25 複層塗材E吹付	既存モルタル刷毛引き t25撤去 高圧水洗浄、コンクリート中性化防止処理、下地処理C-1、防水形複層塗材E吹付（7mmφム系）					
③	外巾木	モルタル金ゴテ	高圧水洗浄					
④	軒天・底裏	モルタル刷毛引き t15 複層塗材E吹付	モルタル撤去（既存天井部分） 高圧水洗浄、コンクリート中性化防止処理、水性7mmシリコン樹脂系軒天用仕上塗材塗り					
⑤	屋外階段	床、蹴上、踏面：防水モルタル金ゴテ 巾木：モルタル金ゴテ	床 蹴上 踏面 巾木：高圧水洗浄、C-27塗り 1/4inch塗膜防水（X-2） 段鼻、タム撤去、樹脂モルタルにて補修の上、防水 7mmφシリコン樹脂設置 ※床面のモルタル浮き処理のこと（工法：特記仕様書による）					
		段鼻：磁器質ノリツグタイル 壁・段裏：コンクリート打放し下地複層塗材E吹	外壁：高圧水洗浄1/4inch処理の上防水形複層塗材E吹付（7mmφム系） 階段裏：軒天底裏に同じとする					
⑥	煙突	モルタル刷毛引き t25 下地複装塗材E吹付	格子（網）部分から上部撤去の上SUS笠木取付 立上り壁部分：外壁に準ずる					
⑦	好樋	硬質塩ビ管 φ100 ｶｰﾌﾞ（ﾊﾞﾝﾄﾞ）金物	既設撤去し、硬質塩ビ管 φ100 ｶｰﾌﾞ（SUS製 バンド）、羽子板金物）					
⑧	底上	モルタル金ゴテt30 吹付タイル	全面撤去し、モルタル金ゴテt30下地タイル塗膜防水X-2新設					
⑨	ﾌﾗｽ・犬走り	モルタル金ゴテ 1階床梁上：モルタル金ゴテ	高圧水洗浄 1階床梁上：ﾀﾞﾝﾌﾞﾙ清掃の上、樹脂モルタル吹き					
⑩	その他	屋上手摺手摺：スチール製 支柱角パイプ 手摺子 丸鋼φ16@100 SOP仕上	手摺：既存手摺基礎とも全面撤去 樹脂モルタルにて補修の上防水補修とする 防水改修後、手摺（ﾏｯｼｭﾌｪﾝｼﾞH1,200×ｺﾝｸﾘｰﾄﾞﾛｯｸ基礎）を取り付ける					
⑪	柱型（増築用）	モルタル刷毛引き t25 下地複装塗材E吹付	既存モルタル刷毛引き t25撤去 コンクリート中性化防止処理、下地調整、高圧洗浄の上、防水型複層塗材E吹付（7mmφム系）					
⑫	屋根	ｶﾞﾙﾊﾞﾆｳﾑ鋼板折板t=0.6 勾配1/30	高圧水洗浄、超低汚染・超耐久弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 塗替え					
⑬	外壁（２）	ALCt=50の上、複層塗材E吹付	高圧水洗浄、ｸﾗｯｸ等処理の上防水形複層塗材E吹付（7mmφム系）					
⑭	軒樋	ｶﾞﾙﾊﾞﾆｳﾑ鋼板加工W=150	高圧水洗浄、超低汚染・超耐久弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 塗替え					
⑮	破風	ｶﾞﾙﾊﾞﾆｳﾑ鋼板t=0.4加工 H=300	高圧水洗浄、超低汚染・超耐久弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 塗替え					
⑯	3階ﾄﾞﾛ屋根 水切り等	ｶﾞﾙﾊﾞﾆｳﾑ鋼板t=0.4加工	高圧水洗浄、超低汚染・超耐久弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 塗替え					
⑰	耐震ﾌﾟﾚｰｽ	耐震ﾌﾟﾚｰｽ（ﾌﾞﾚｲｷﾞﾝｸﾞｺﾝｸﾘｰﾄ下地ﾌﾟﾚｰｽ塗装）	高圧水洗浄、C-27塗り、防水形複層塗材E吹付（7mmφム系）					
⑱	外壁（３）	コンクリート打放 薄塗モルタル補修 複層塗材E吹付 （下地調整モルタルにアスベスト含有あり）	高圧水洗浄、ｸﾗｯｸ等処理 集塵機付きﾃﾞｨｽｸｸﾞﾗｲﾝｸﾞ-で塗膜を除去の上防水形複層塗材E吹付（7mmφム系）					

凡 例

..... 伸縮目地入W=20部分を示す

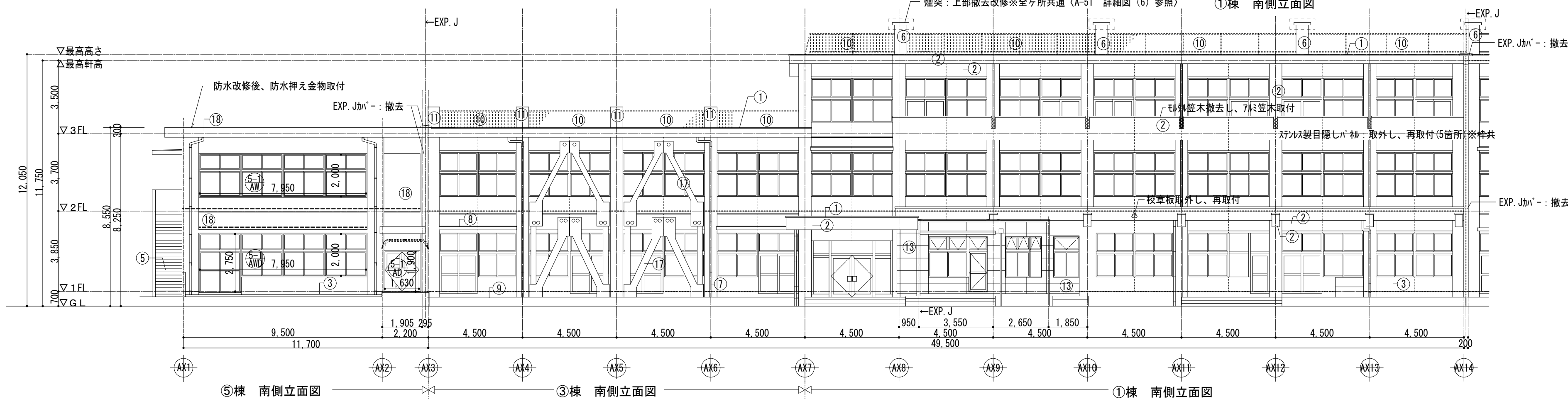
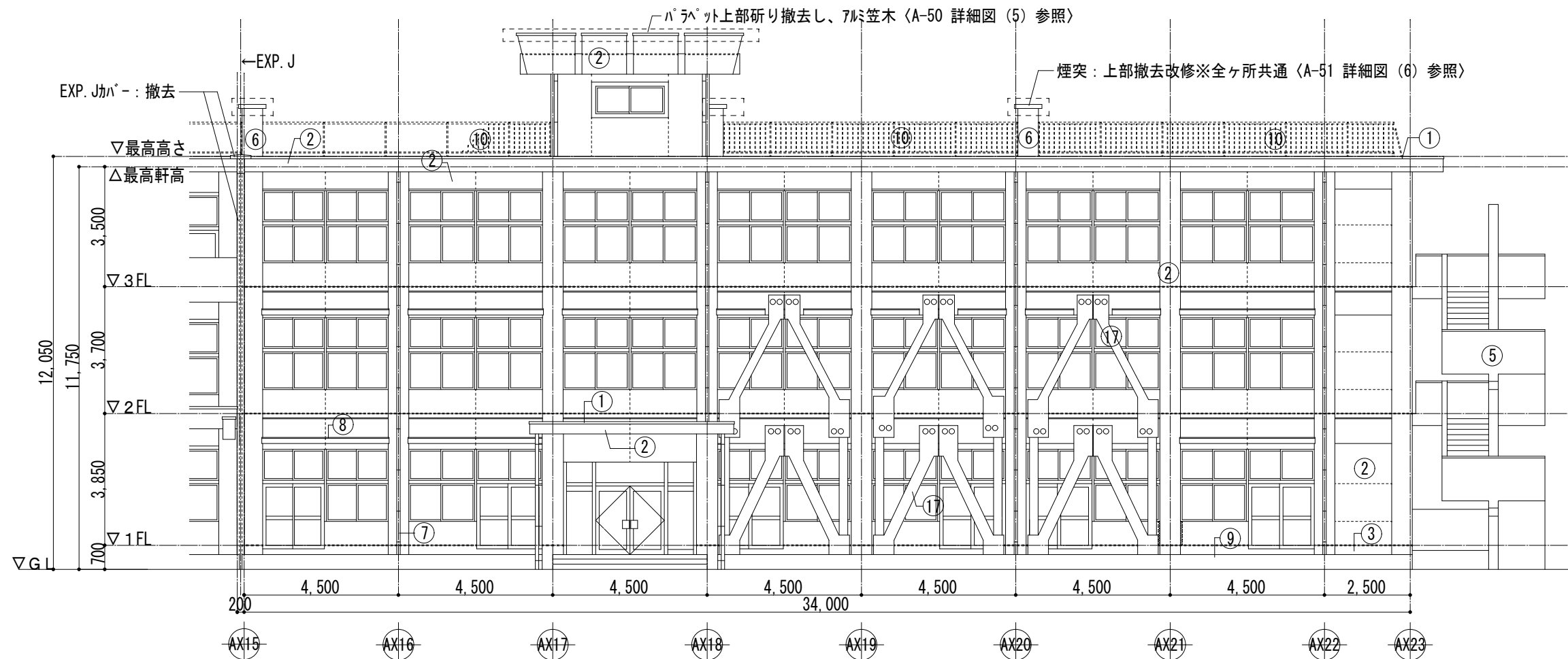
..... 伸縮目地入W=10部分を示す

※目地部分：PU-2（ホ[°]リウレタン系シーリング[°]）

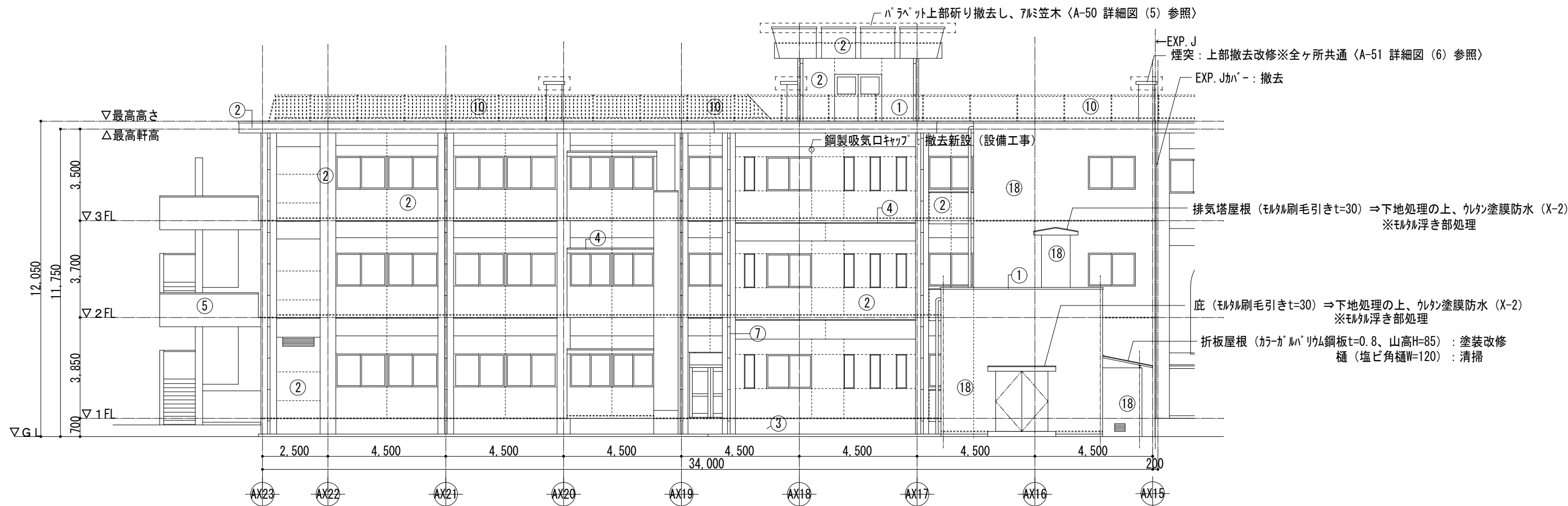
①③棟の建具改修は建具表による

⑤棟の建具周りのシーリング 打替え (15×10)

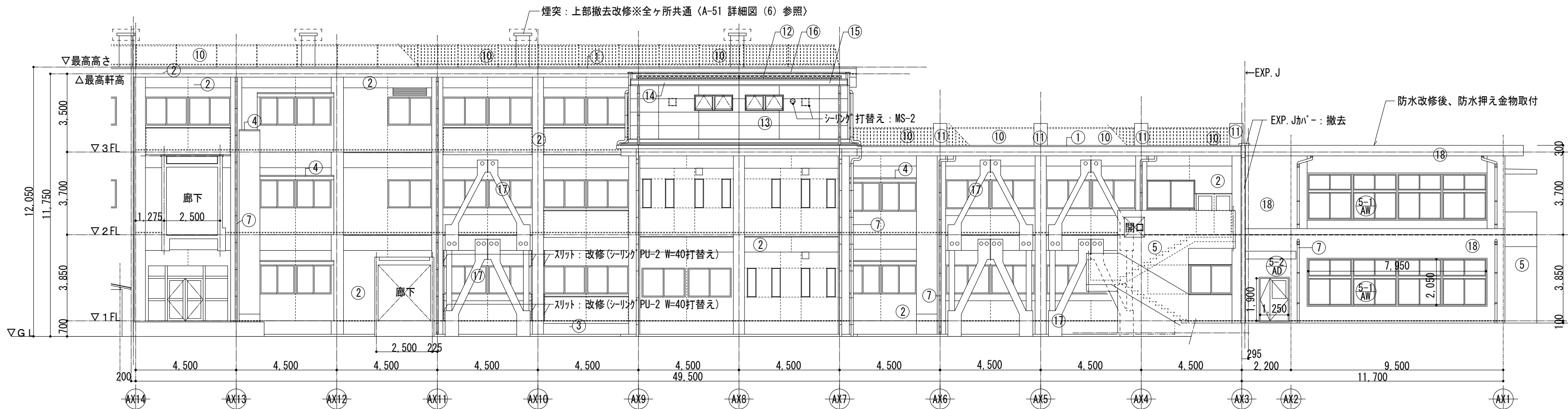
※打継ぎ目地は、外壁モルタル撤去に伴い「撤去のみ」とする



備 考		工 事 名	坂戸市立入西小学校校舎外壁等改修工事	森田建築設計室 埼玉県坂戸市関間4-15-14 関末ビル201号 事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第8815号 管理建築士 一級建築士 森田 和巴 TEL 049-282-2888 FAX 049-282-3002 大臣登録第161365号	製 図	担 当	承 認	工 番	日 付	25.12	図 名	校舎立面図(1) ①③⑤棟 南面	縮 尺	1 : 150	図 番	A-26



①棟 北側立面図

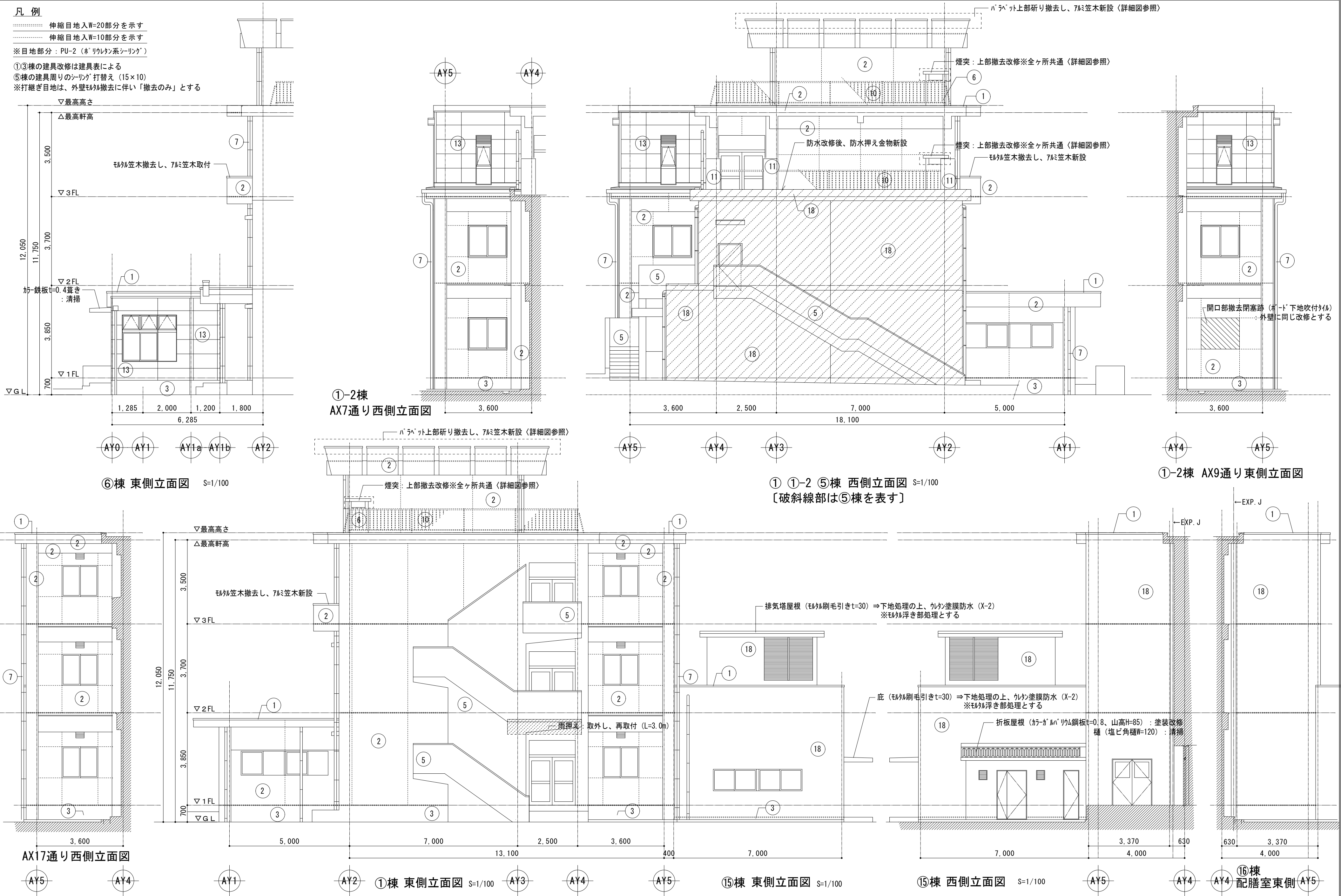


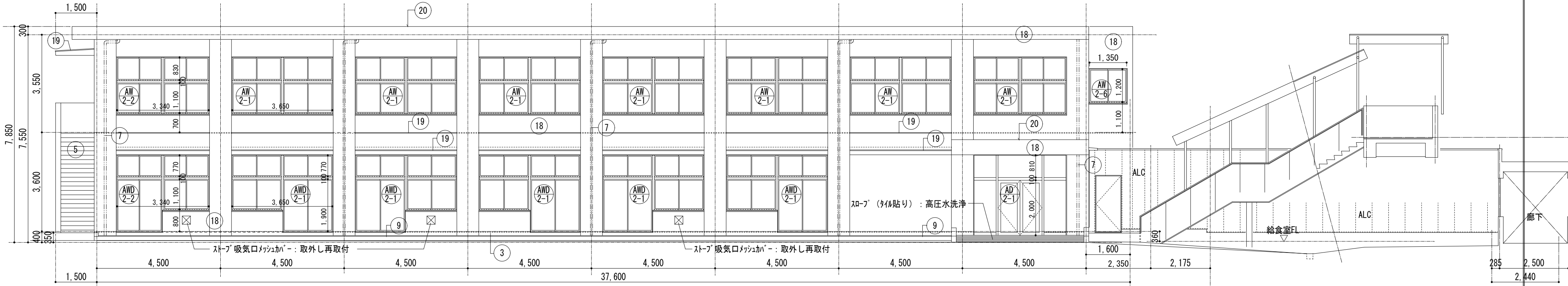
①棟 北側立面図

③棟 北側立面図

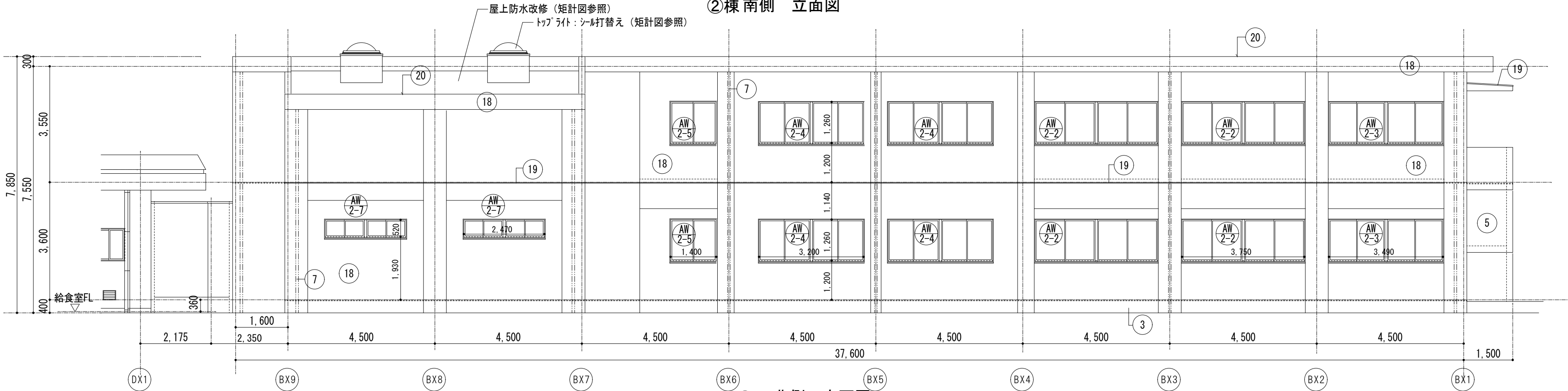
⑤棟 北側立面図

- 凡 例
- 伸縮目地入W=20部分を示す
 - 伸縮目地入W=10部分を示す
 - ※目地部分: PU-2 (ポリウレタン系シーリング)
 - ①③棟の建具改修は建具表による
 - ⑤棟の建具周りのシーリング 打替え (15×10)
 - ※打継ぎ目地は、外壁も撤去に伴い「撤去のみ」とする

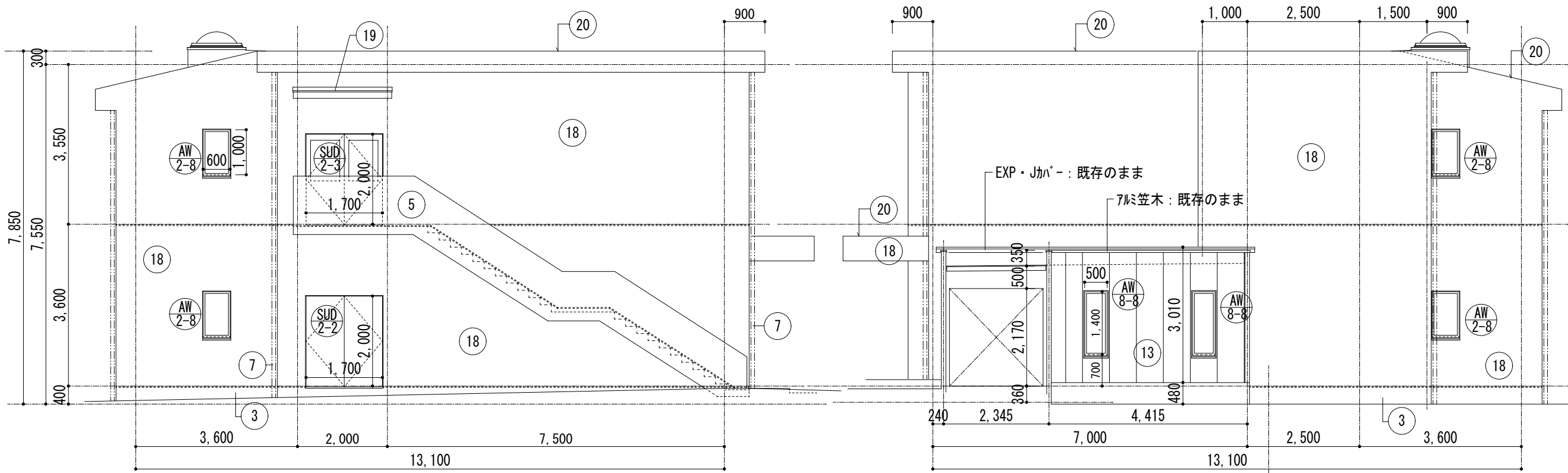




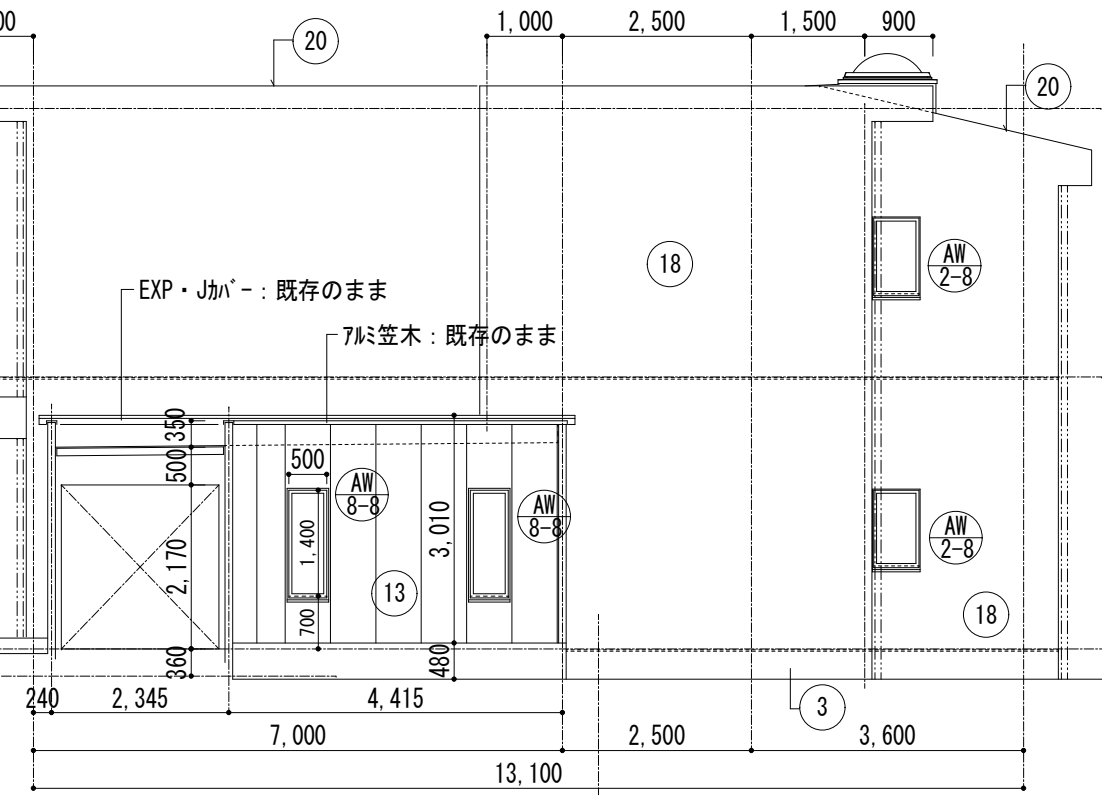
②棟 南側 立面図



②棟 北側 立面図



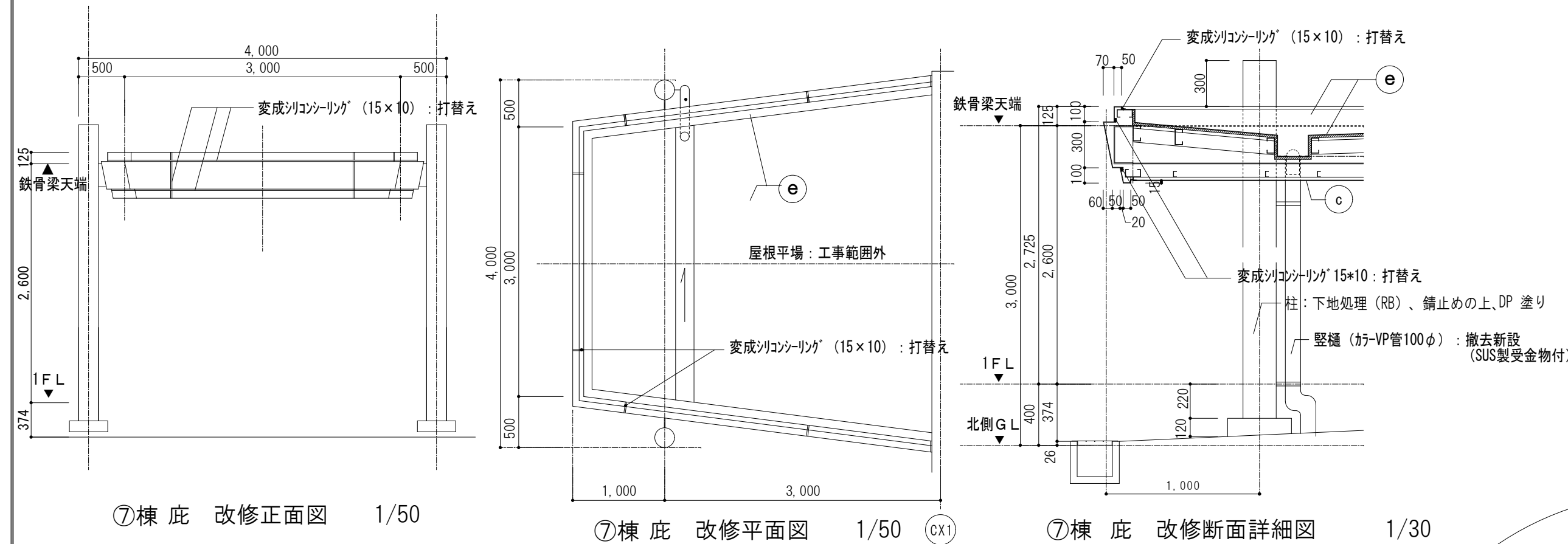
②棟 西側 立面図



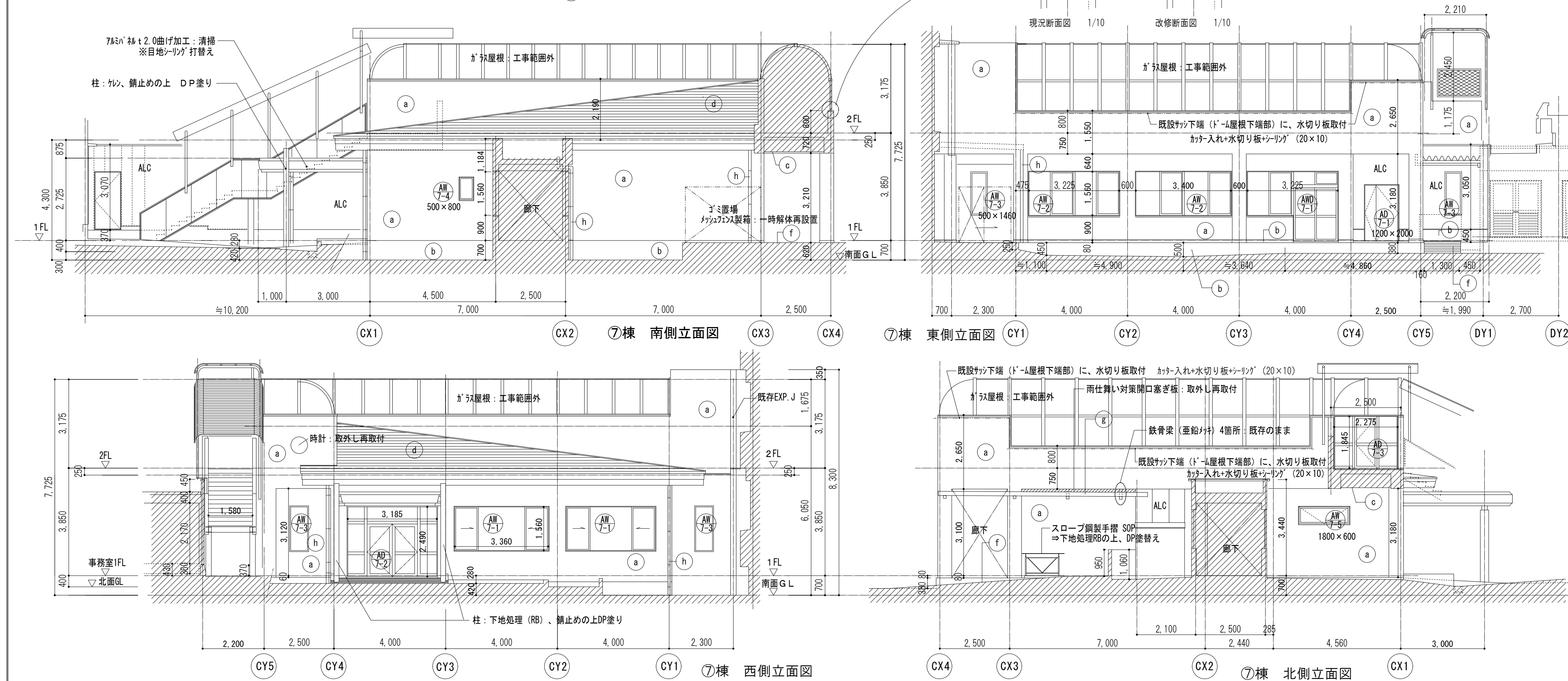
②棟 東側 立面図

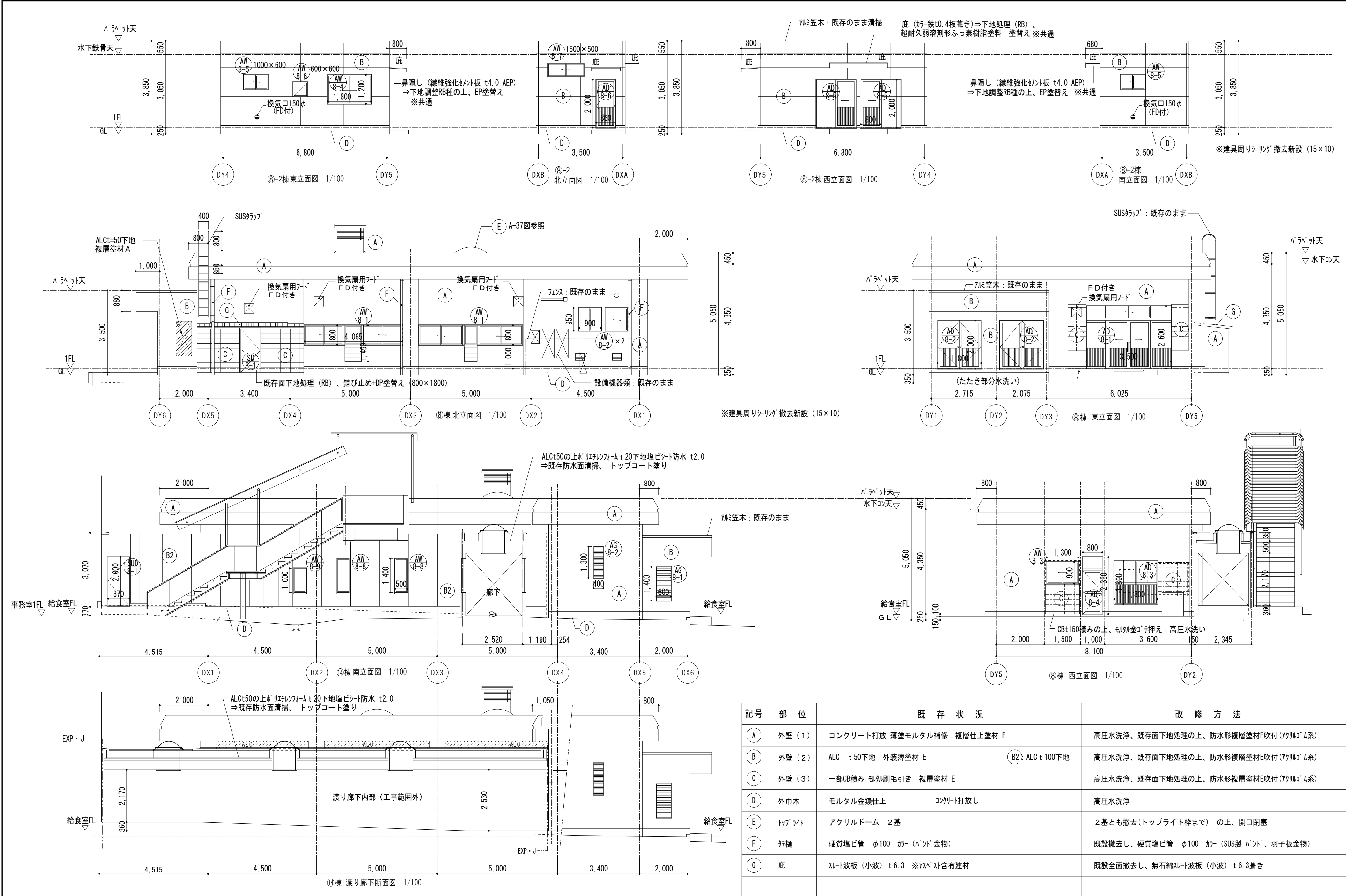
- 凡 例
- 打継ぎ目地入（20×10）部分を示す
 - 防水目地地入（20×10）部分を示す
 - ※目地部分：PU-2（※ウレタン系シーリング）
 - ※建具周りのシーリング 打替え（15×10）

記号	部 位	既 存 状 況	改 修 方 法
20	笠木天端	コンクリート打放し金ゴテ押え	塩ビシート防水（密着工法） 端部：専用金物取付
13	外壁（2）	ALCt=100の上、複層塗材E吹付	高圧水洗浄、クラック等処理の上防水形複層塗材E吹付（アクリル系）
18	外壁（3） 柱型・梁型共	コンクリート打放し 薄塗モルタル補修 複層塗材E吹付 （下地調整モルタルにアスベスト含有あり）	高圧水洗浄、クラック等処理の上防水形複層塗材E吹付（アクリル系）
3	外巾木	モルタル金鏝仕上	高圧水洗浄
5	屋外階段	床、蹴上、踏面：防水モルタル金ゴテ 巾木：モルタル金ゴテ	高圧水洗浄、C-2打塗り 防水塗膜防水（密着工法） 巾木：床に同じ、段鼻：タイル撤去、下地補修の上、スチルス製ノスリッパ 設置
		段鼻：磁器質ノスリッパ タイル、壁・段裏：コンクリート打放し下地複層塗材E吹	※床面モルタル浮き処理のこと
			外壁：高圧水洗浄、クラック等処理の上防水形複層塗材E吹付（アクリル系） 段裏：高圧水洗浄、クラック等処理の上水性アクリル樹脂系軒天用仕上塗材塗り
7	釘樋	硬質塩ビ管 φ100 カラー（パンド）金物	既設撤去し、硬質塩ビ管 φ100 カラー（SUSパンド）金物
19	底上・梁上	モルタル金ゴテt30 吹付タイル	浮き処理、高圧水洗浄、防水形複層塗材E吹付（アクリル系）
9	入来・犬走り	モルタル金ゴテ	高圧水洗浄

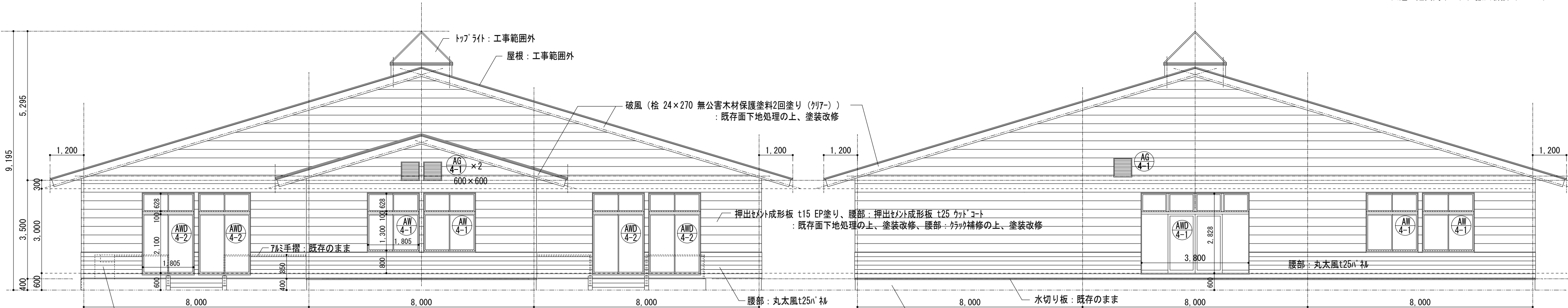


記号	部 位	既 存 状 況	改 修 方 法
(a)	外壁	コンクリート打放 薄塗モルタル補修 複層塗材E吹付 (下地調整モルタルにアスベスト含有あり)	高圧水洗浄、下地処理、防水型複層塗材E吹付(7クリコ [®] ム系)
(b)	外巾木	モルタル金鍍仕上	高圧水洗浄
(c)	軒天井	無石綿モルタル板 t6.0目透かし張り EP	下地調整RB種の上、EP塗替え
(d)	屋根	バックアップ材 t25 フェルト17kg カラー鉄板 t=0.4横葺き	高圧水洗浄
(e)	平場、立上り	塩ビシート t=1.2貼リ (ジョイント部完全熱融着) (機械固定)	清掃
(f)	スロープ	スロープ：タイル貼り、通路：モルタル金鍍	高圧水洗浄
(g)	スロープ 庇	スロープ屋根：折板葺き、塩ビ軒樋	スロープ屋根：一時取外し(下地鉄骨(亜鉛メッキ)、軒樋は既存のまま)
(h)	軒樋	硬質塩ビ管 φ100 カラー(ハコ [®] 金物)	既設撤去し、硬質塩ビ管 φ100 カラー (SUS製 バンド、羽子板金物)



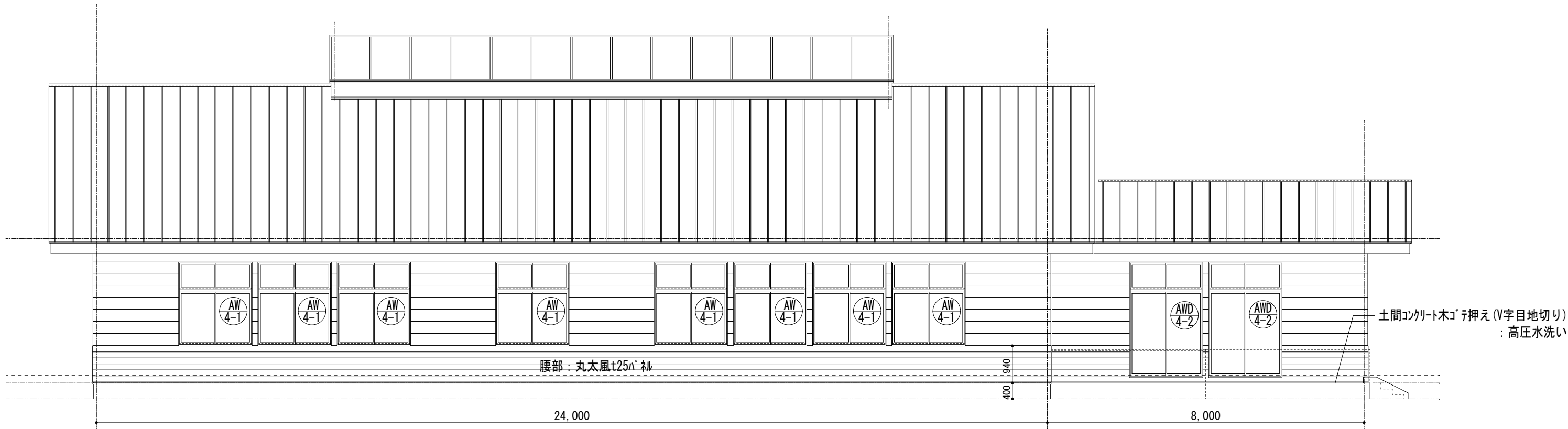


記号	部 位	既 存 状 況	改 修 方 法
Ⓐ	外壁（１）	コンクリート打放 薄塗モルタル補修 複層仕上塗材 E	高圧水洗浄、既存面下地処理の上、防水形複層塗材E吹付（アクリル系）
Ⓑ	外壁（２）	ALC t50下地 外装薄塗材 E Ⓑ2: ALC t100下地	高圧水洗浄、既存面下地処理の上、防水形複層塗材E吹付（アクリル系）
Ⓒ	外壁（３）	一部CB積み 珪砂刷毛引き 複層塗材 E	高圧水洗浄、既存面下地処理の上、防水形複層塗材E吹付（アクリル系）
Ⓓ	外巾木	モルタル金鍍仕上 コンクリート打放し	高圧水洗浄
Ⓔ	トプライト	アクリルドーム 2基	2基とも撤去（トプライト枠まで）の上、開口閉塞
Ⓕ	軒樋	硬質塩ビ管 φ100 カラー（パント）金物	既設撤去し、硬質塩ビ管 φ100 カラー（SUS製 パント）、羽子板金物
Ⓖ	庇	スレート波板（小波）t6.3 ※75ベスト含有建材	既設全面撤去し、無石綿スレート波板（小波）t6.3葺き

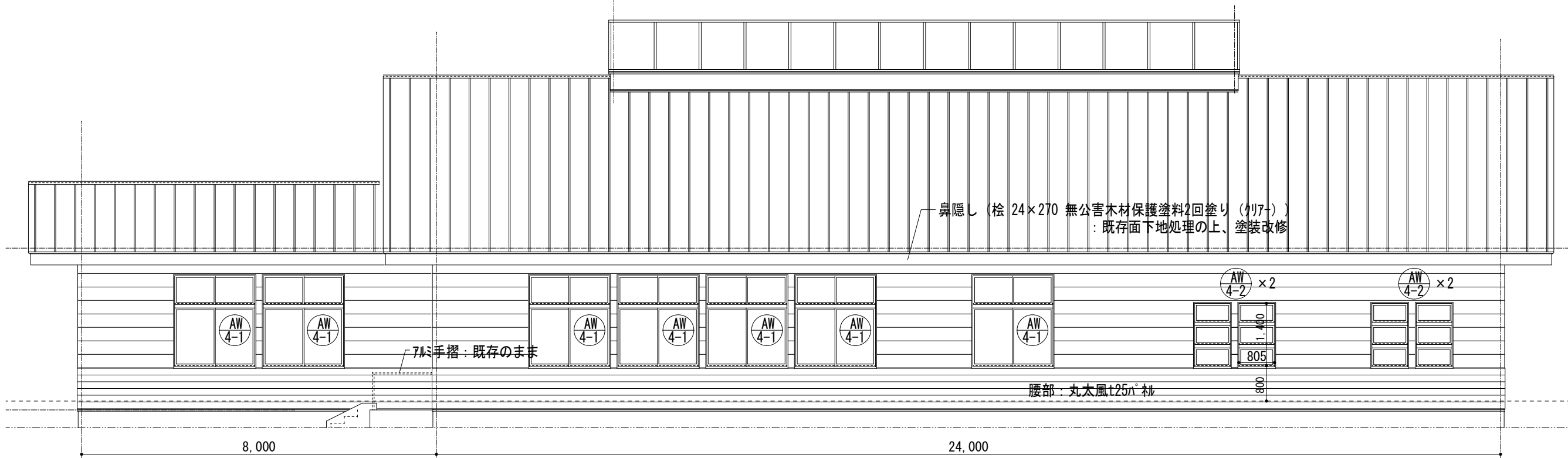


④棟 南側立面図 S=1/100

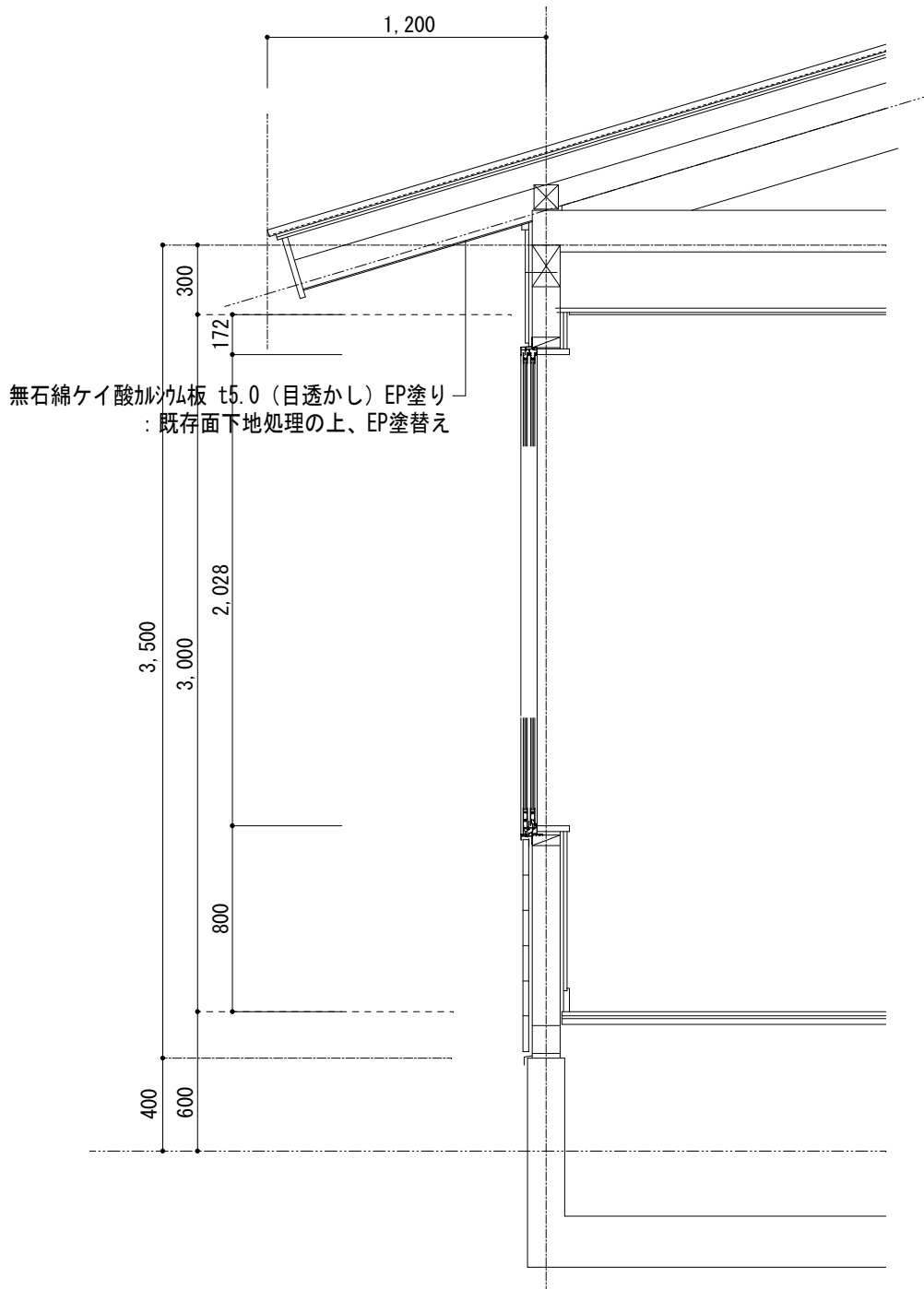
④棟 北側立面図 S=1/100



④棟 西側立面図 S=1/100

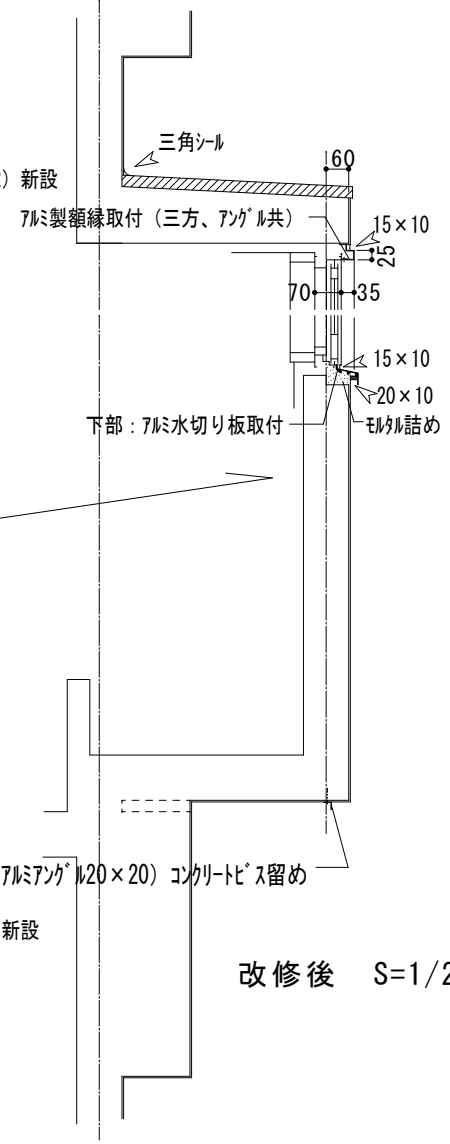


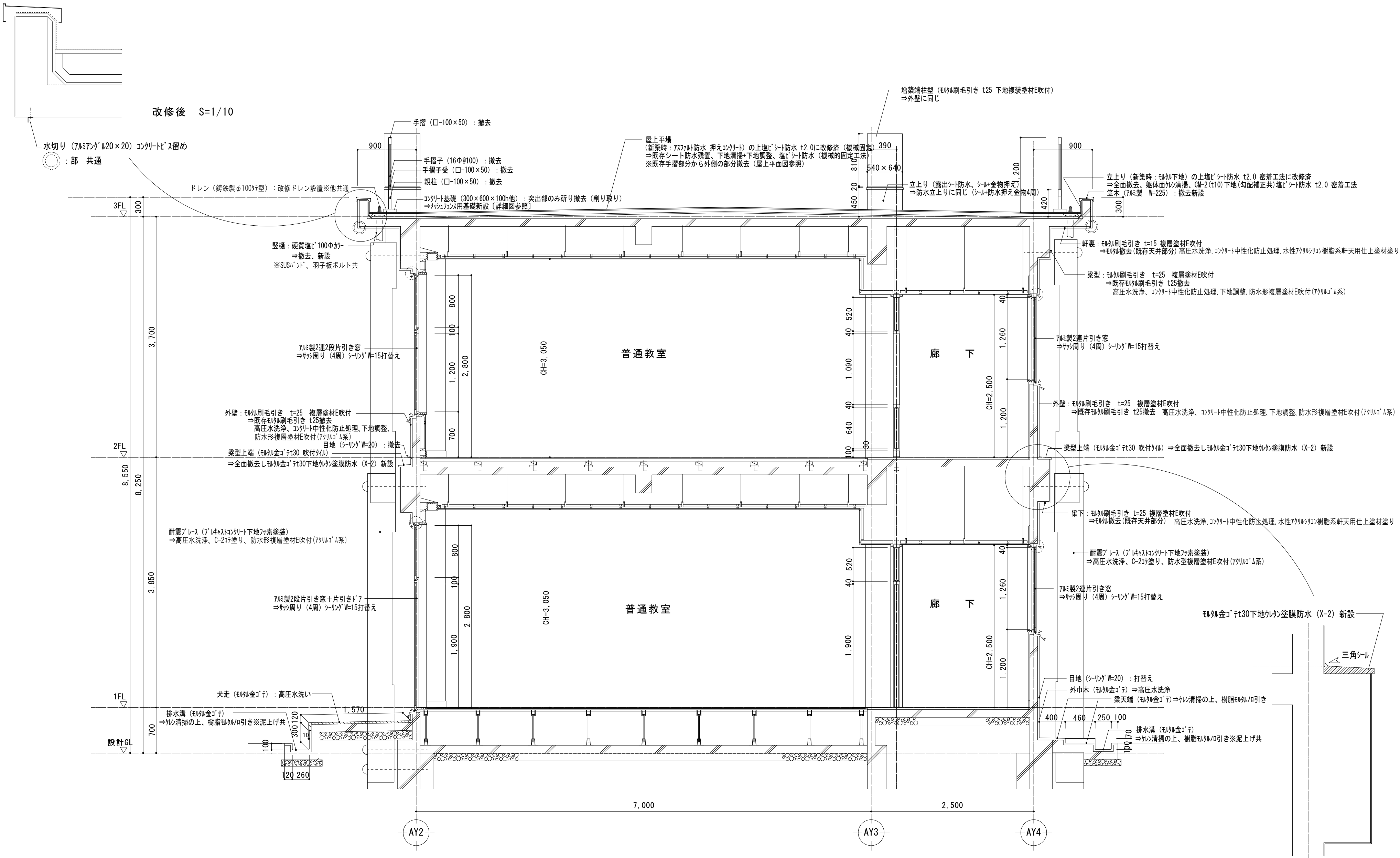
④棟 東側立面図 S=1/100



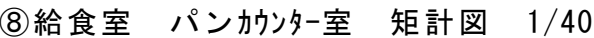
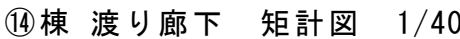
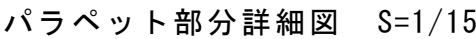
④棟 東断面図 S=1/30

備考			工事名	坂戸市立入西小学校校舎外壁等改修工事		製図	森田建築設計室		担当	承認	工番	日付	図名	特別教室立面図 〈④棟〉		縮尺	図番										
				埼玉県坂戸市関間4-15-14 関末ビル #201号 TEL 049-282-2888 FAX 049-282-3002				事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (5) 第8815号				25.12				1 : 100 1 : 30											
				管理建築士 森田 和巳 一級建築士 森田 和巳 大臣登録第161365号												A-32											

[illegible]



備考			工事名	坂戸市立入西小学校校舎外壁等改修工事		森田建築設計室		製図	担当	承認	工番	日付	図名	改修矩計図（３） 〔管理・普通教室〕〈③棟〉		縮尺	図番	
				埼玉県知事登録（５）第 8 8 1 5 号										1：40				
				〒161-3655 埼玉県坂戸市関間4-15-14 関末ビル201 管理建築士 森田 和巳										1：10				
				TEL 049-282-2888 一級建築士 森田 和巳 FAX 049-282-3002 大臣登録第 1 6 1 3 6 5 号										A-35				



備 考	工事名	事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (5) 第 8 8 1 5 森田 建築設計室 埼玉県坂戸市関間4-15-14 関間ビル201 管理建築士 T E L 049-282-2888 一級建築士 森田 和巳 F A X 049-282-3002 大臣登録第 1 6 1 3 6 5 号	製 図	担 当	承 認	工 番	日 付	25. 12	図 名	改修矩計図 (4) 〔給食室・渡り廊下〕〈⑧ ⑭棟〉	縮 尺	1 : 40 1 : 15	図 番	A -36

ハ°ラハ°ット部改修後図 S=1/20

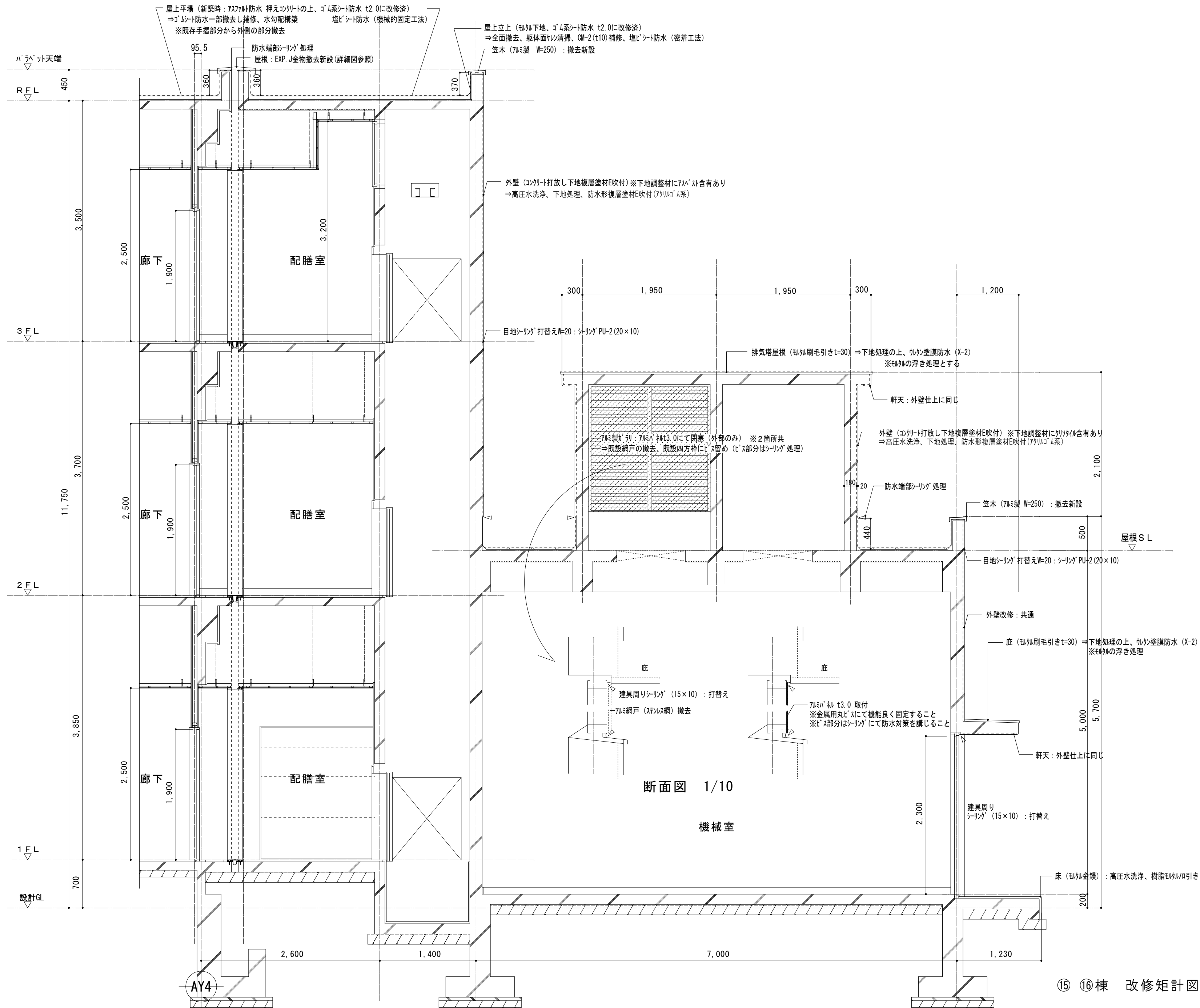
外階段底断面図 S=1/20

改修矩計図（一般部分） S=1/30

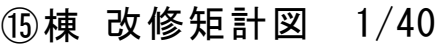
改修矩計図（便所部分） S=1/30

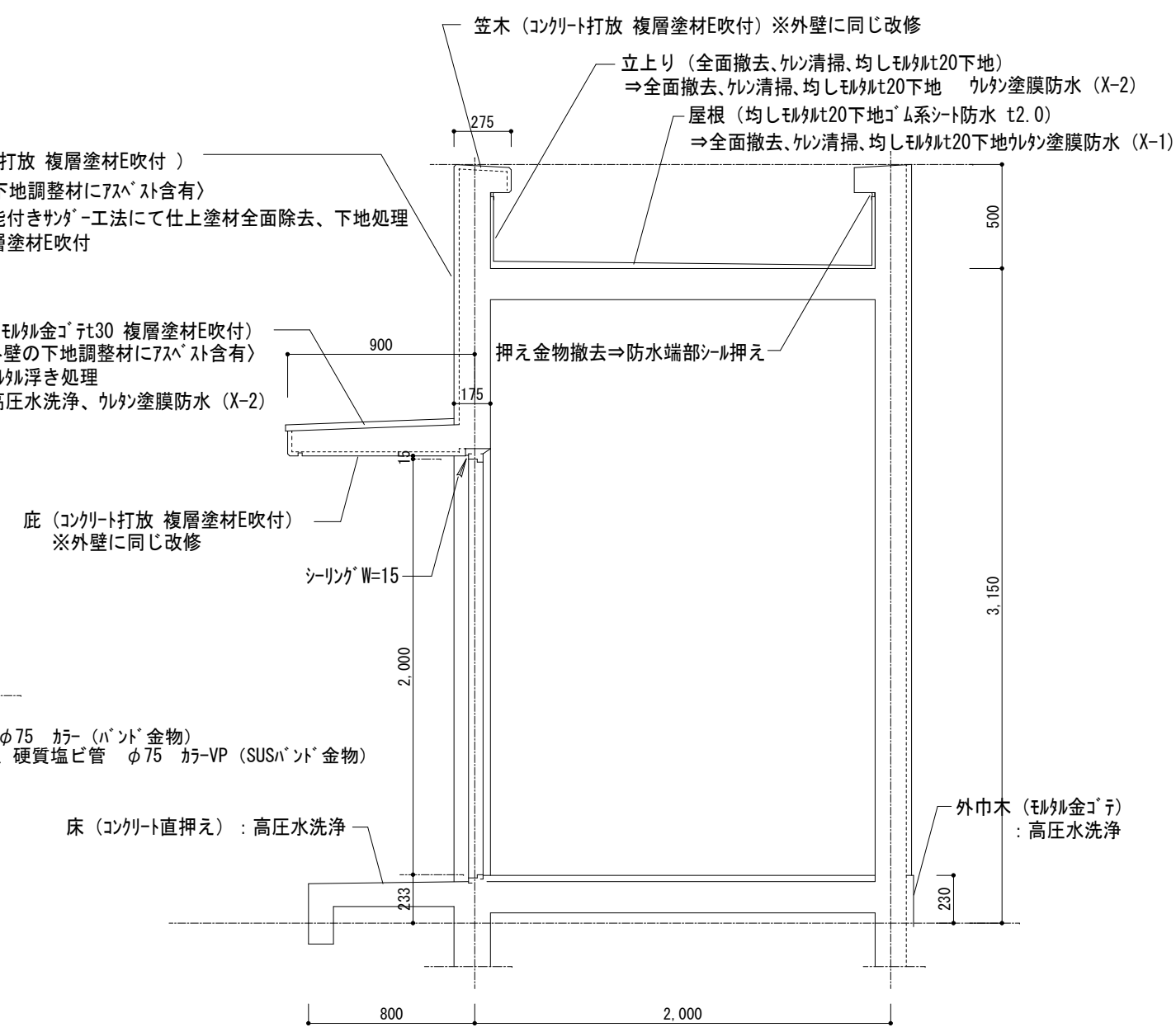
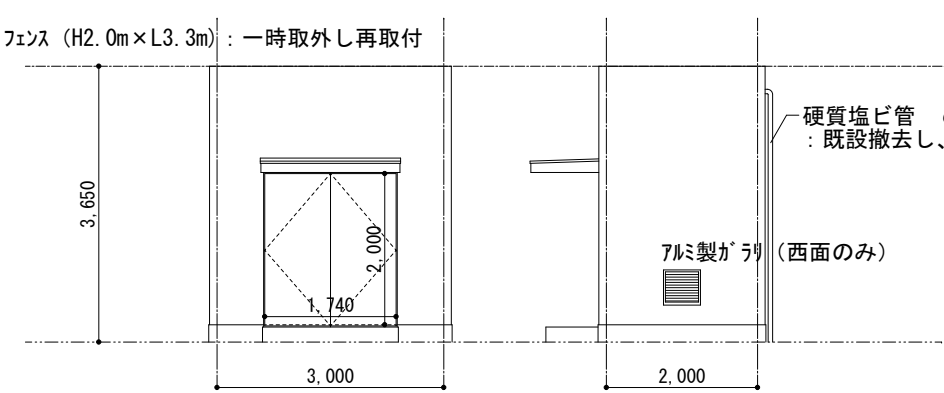
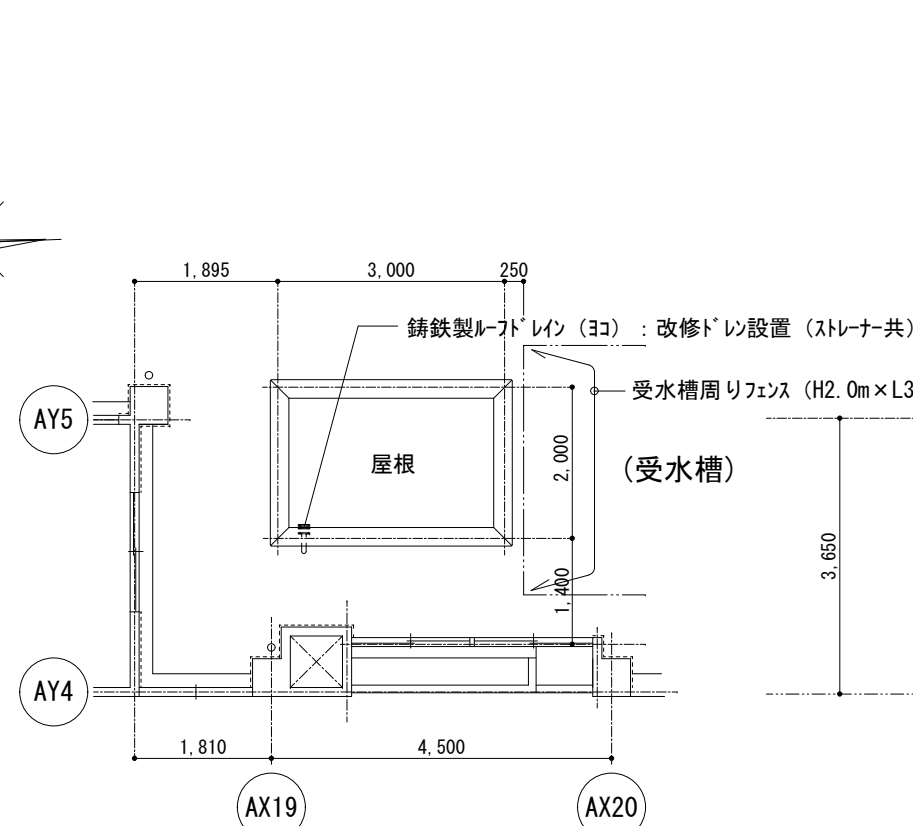
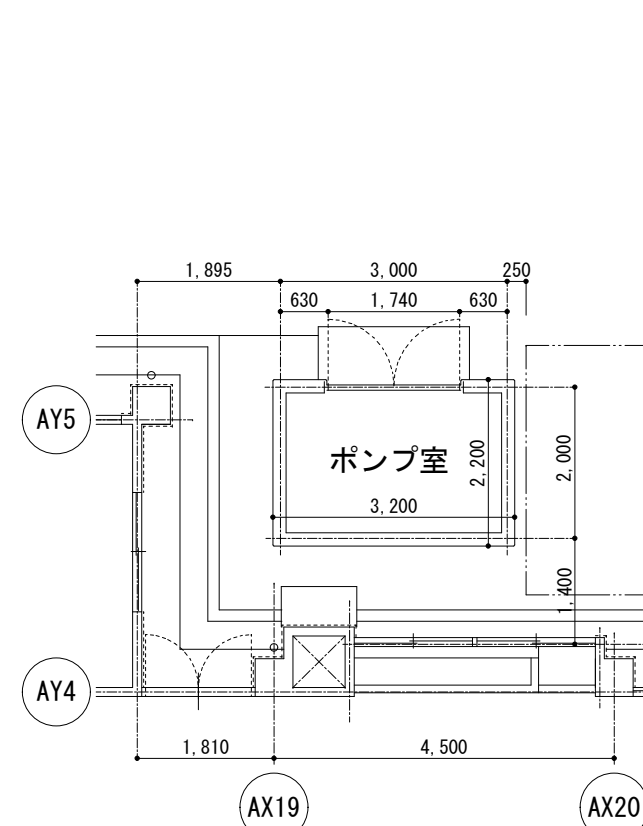
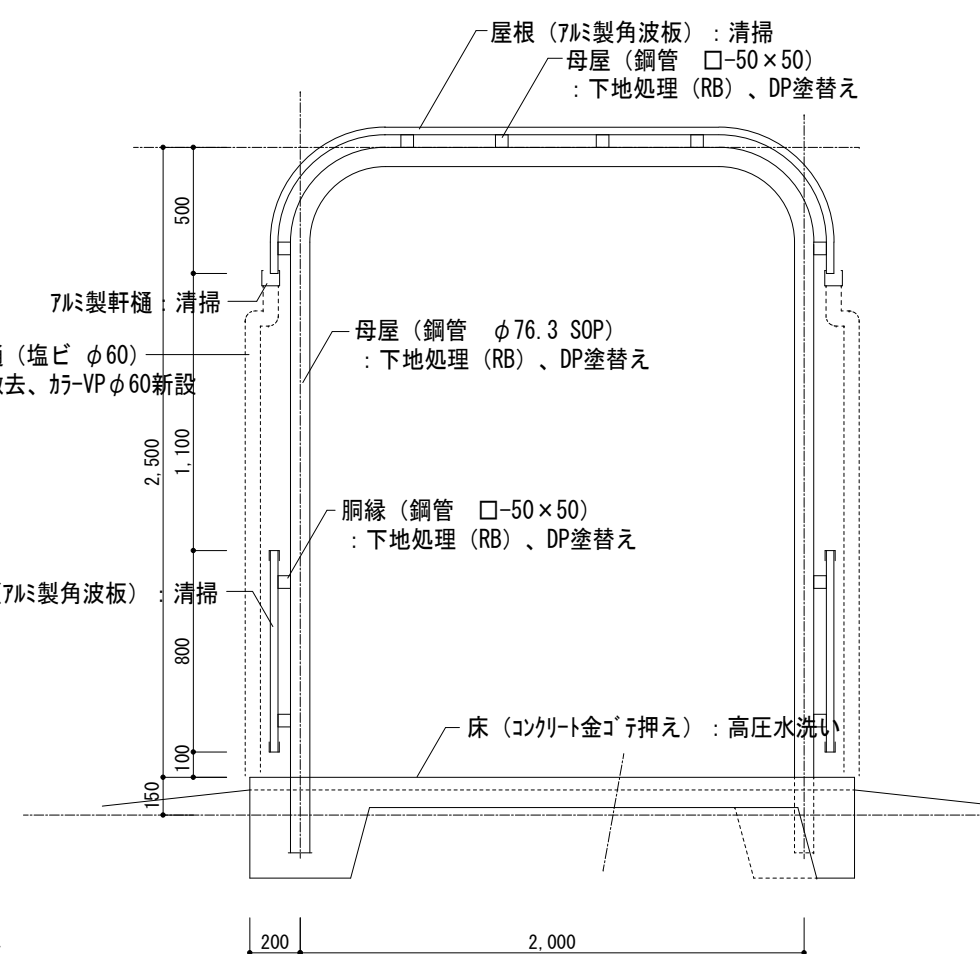
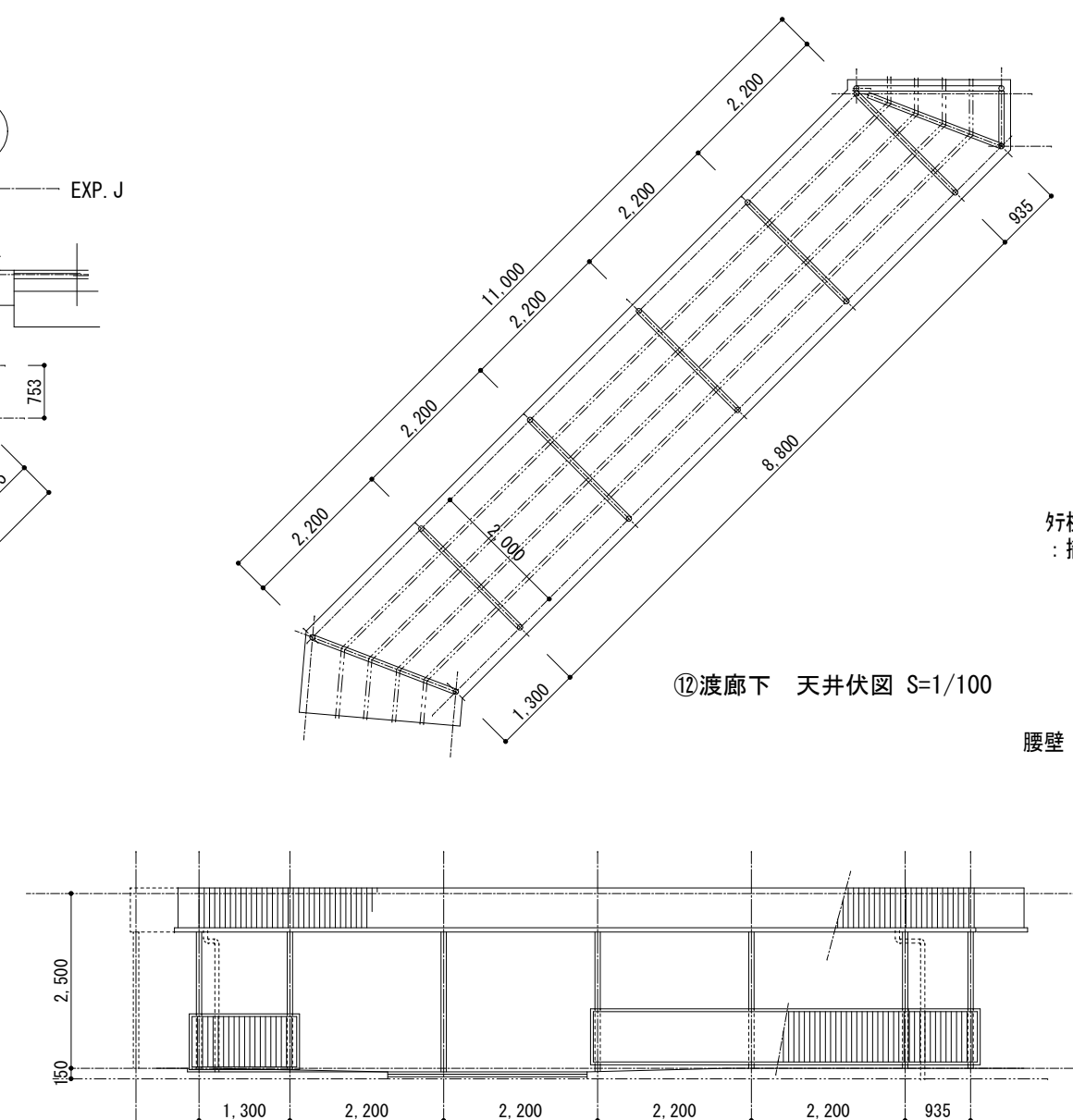
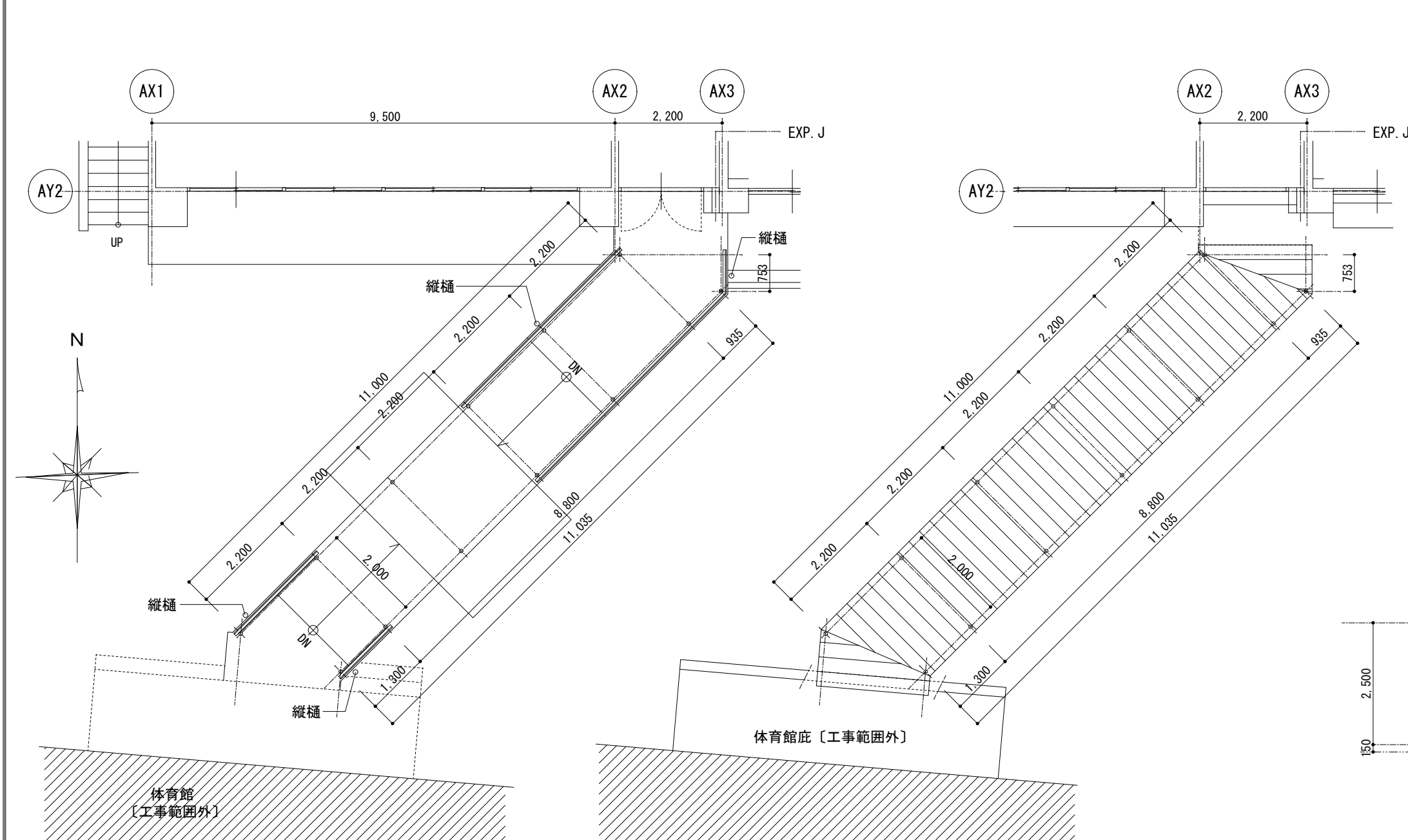


備 考		工 事 名	坂戸市立西小学校校舎外壁等改修工事	森田建築設計室 埼玉県坂戸市関間4-15-14 関本ビル201 TEL 049-282-2888 FAX 049-282-3002	事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第8815 管理建築士 一級建築士 森田 和巳 大臣登録第161365号	製 図	担 当	承 認	工 番	日 付	25.12	図 名	改修矩計図(7) 〔管理・普通教室〕(⑤棟)	縮 尺	1:30	図 番	A-39

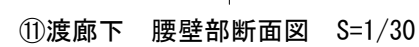
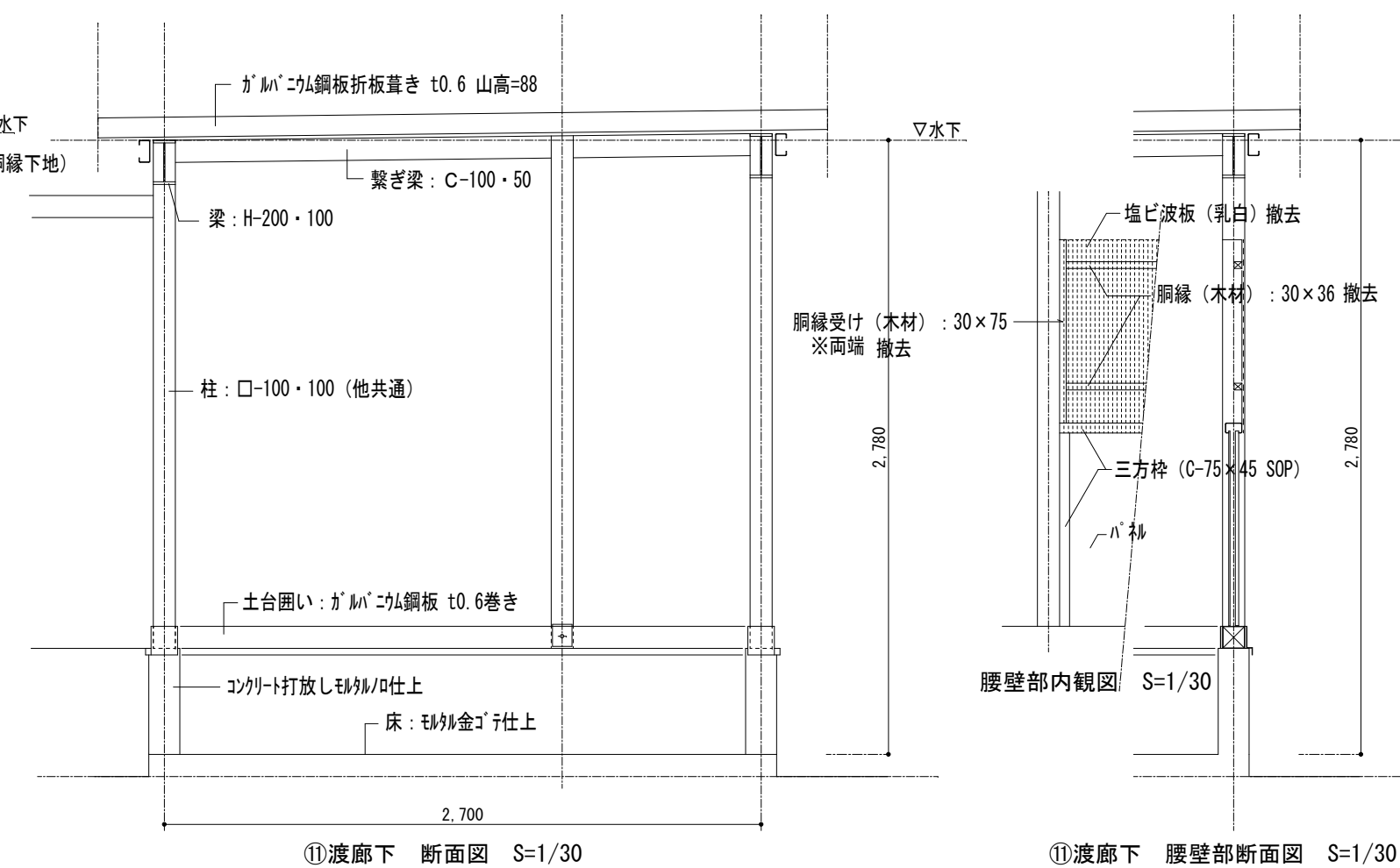
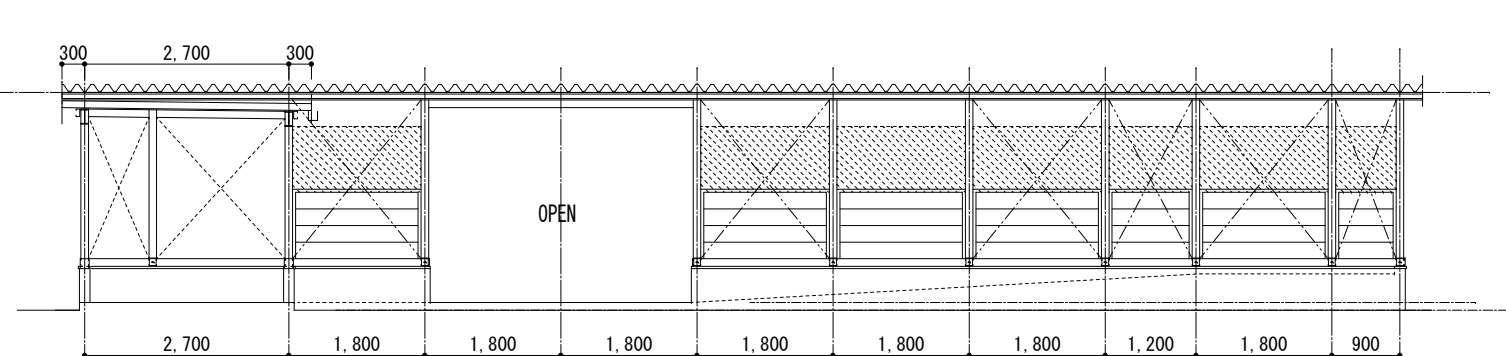
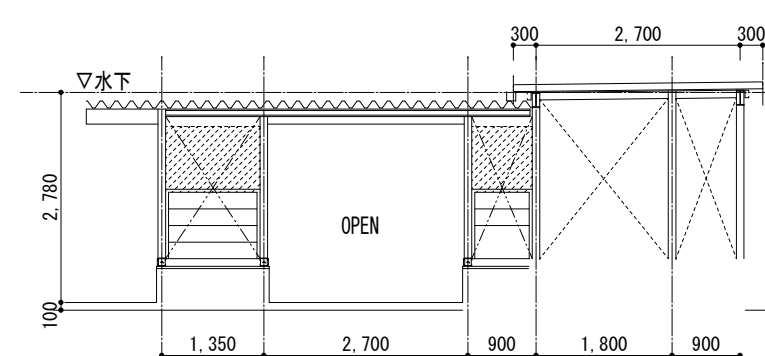
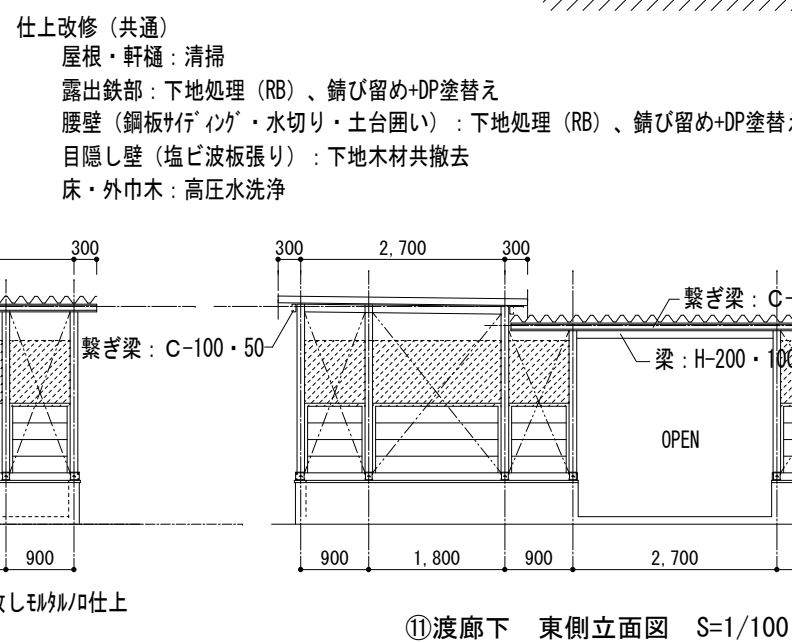
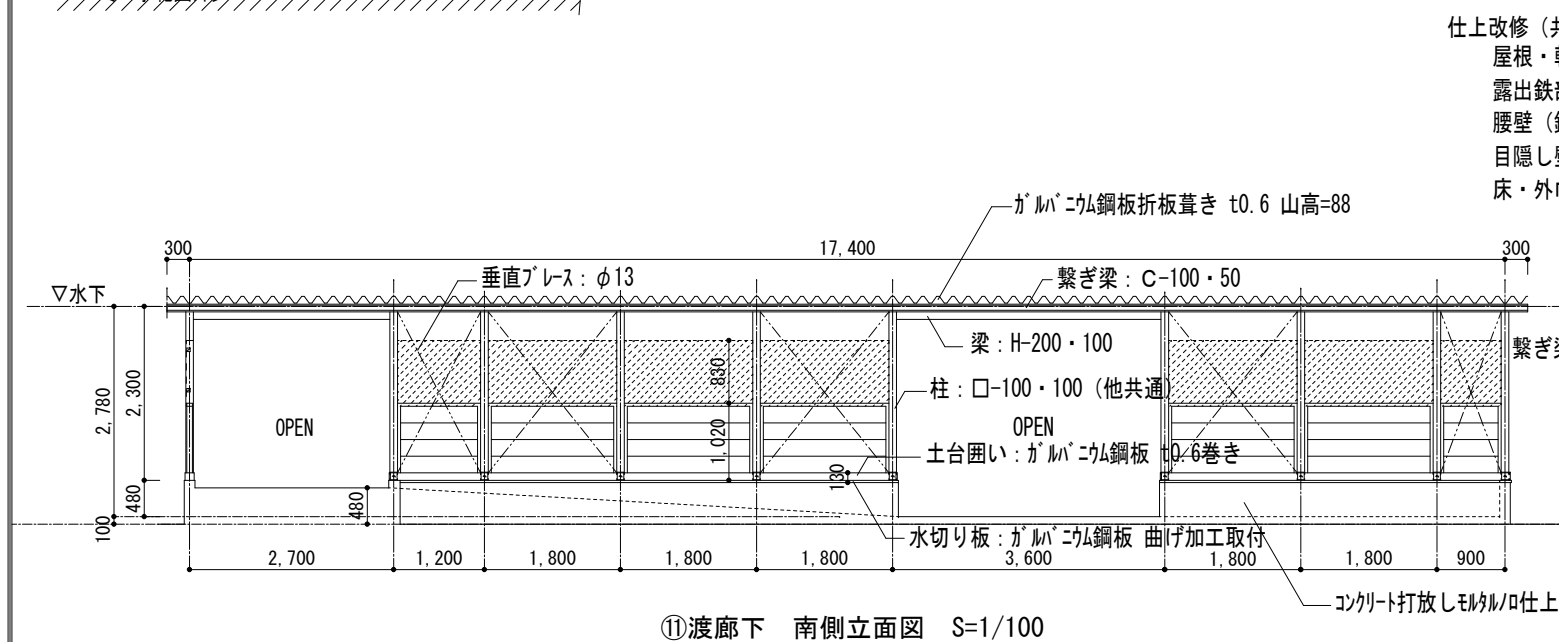
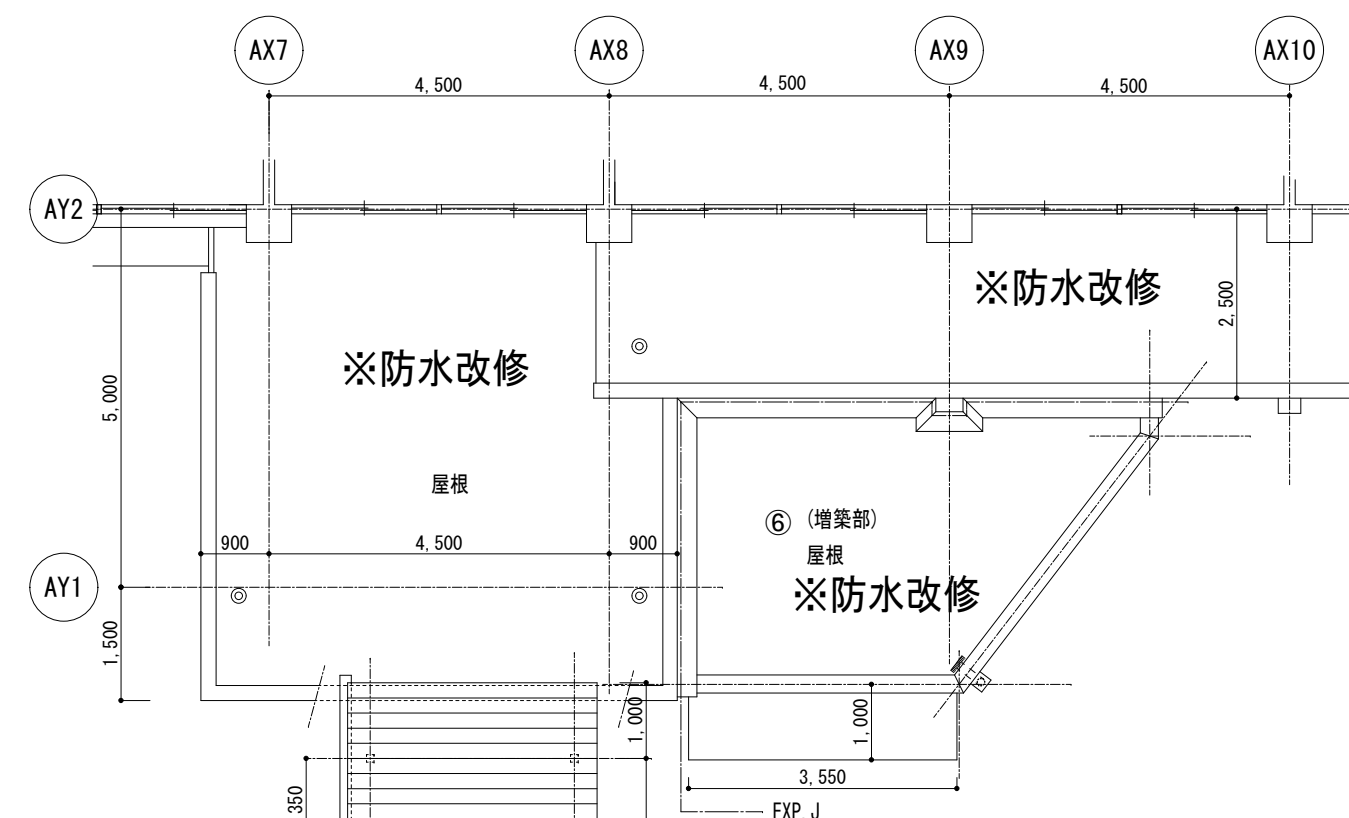
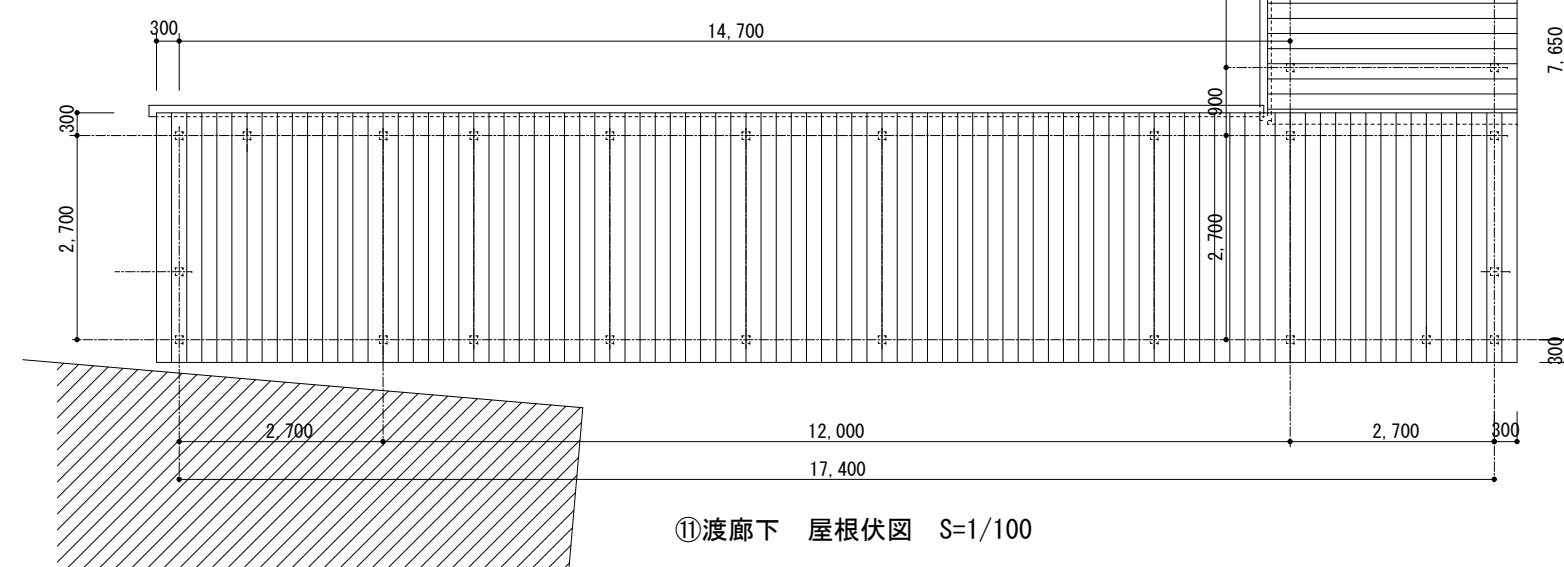
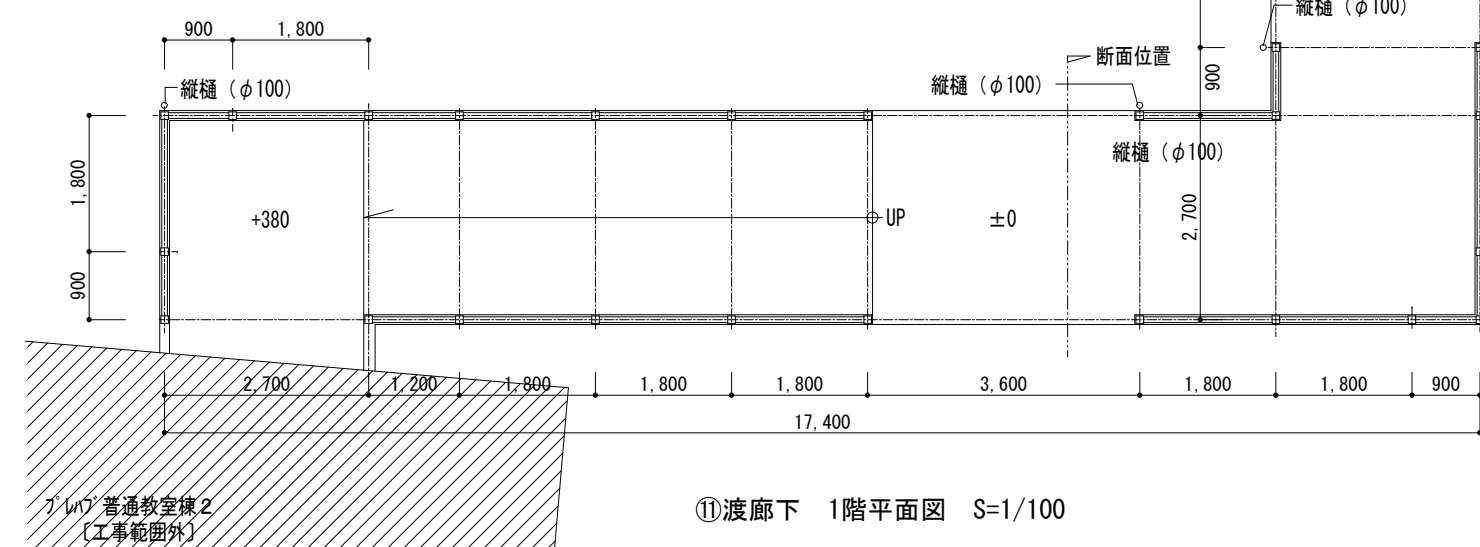
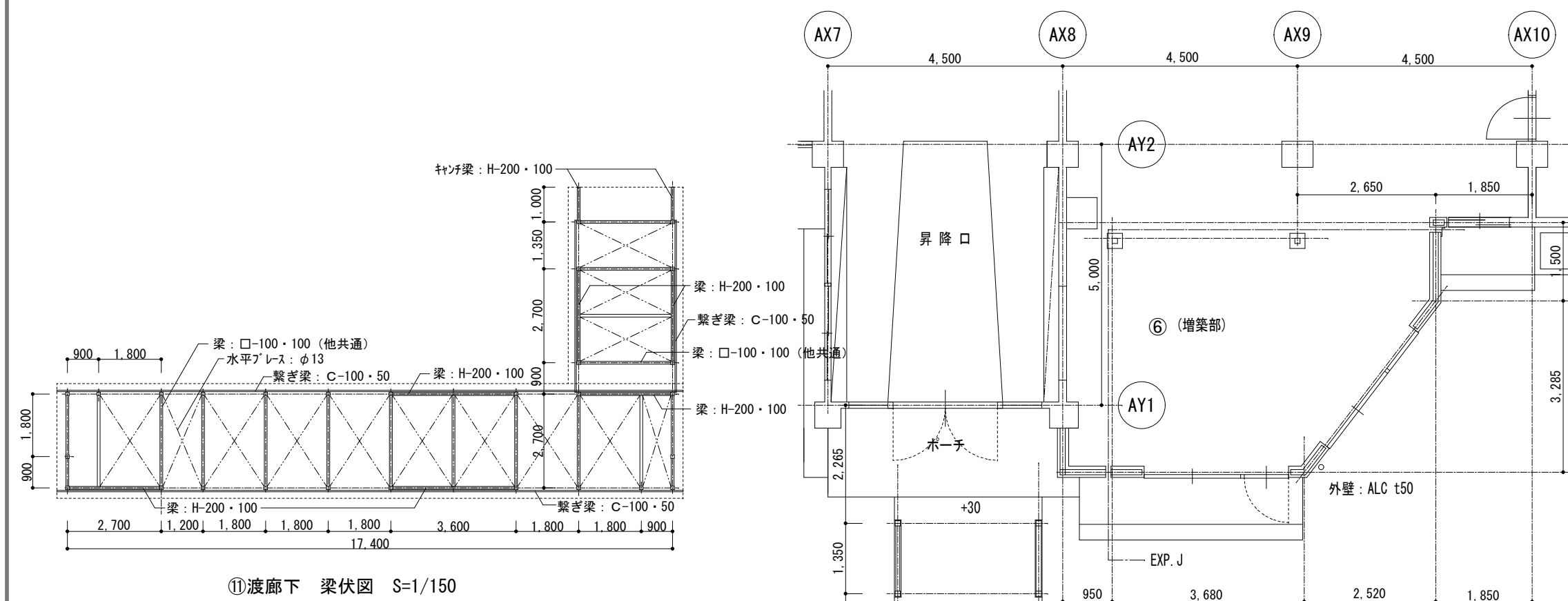


⑮ ⑯棟 改修矩計図 1/40

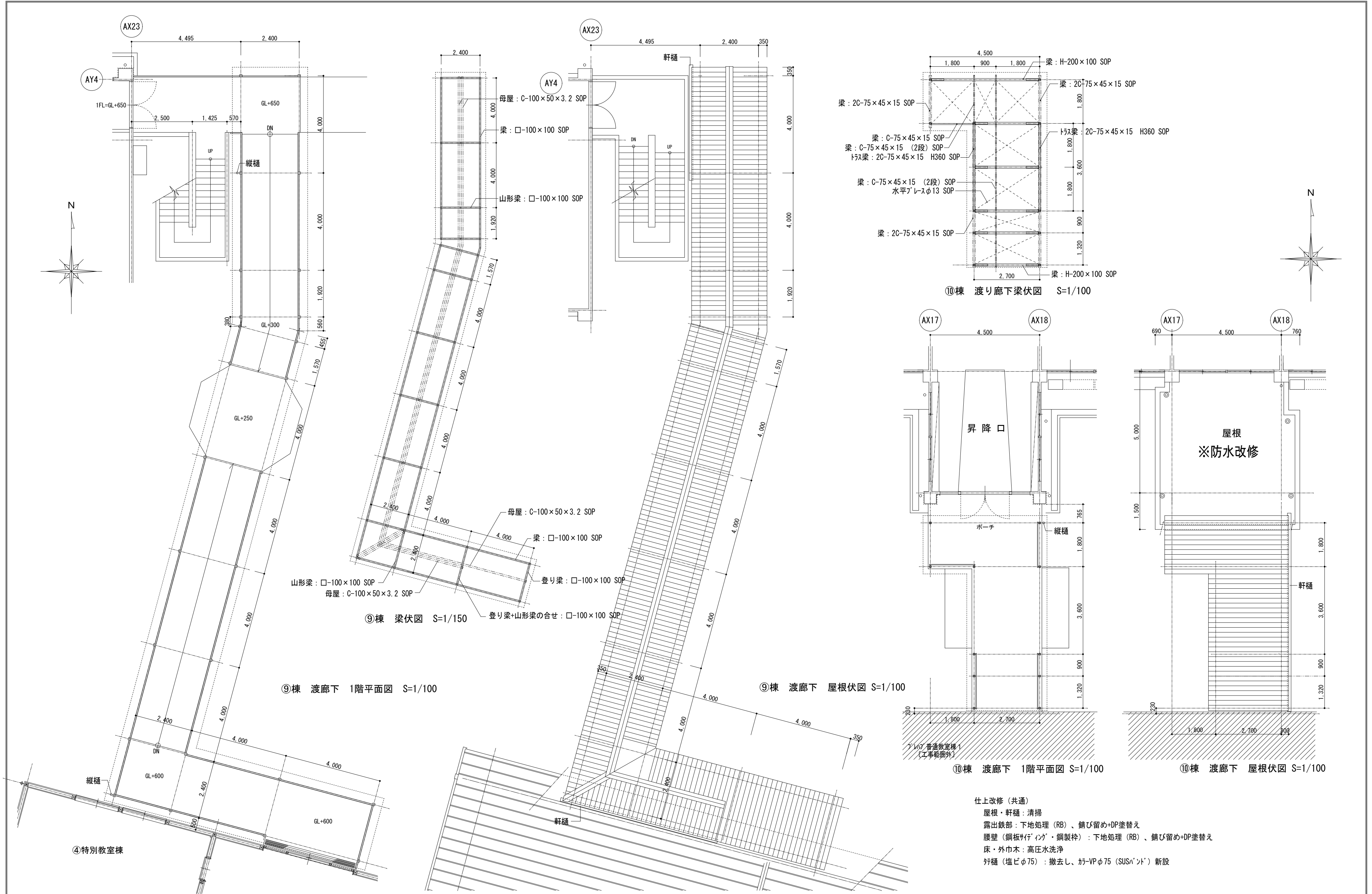
[illegible]

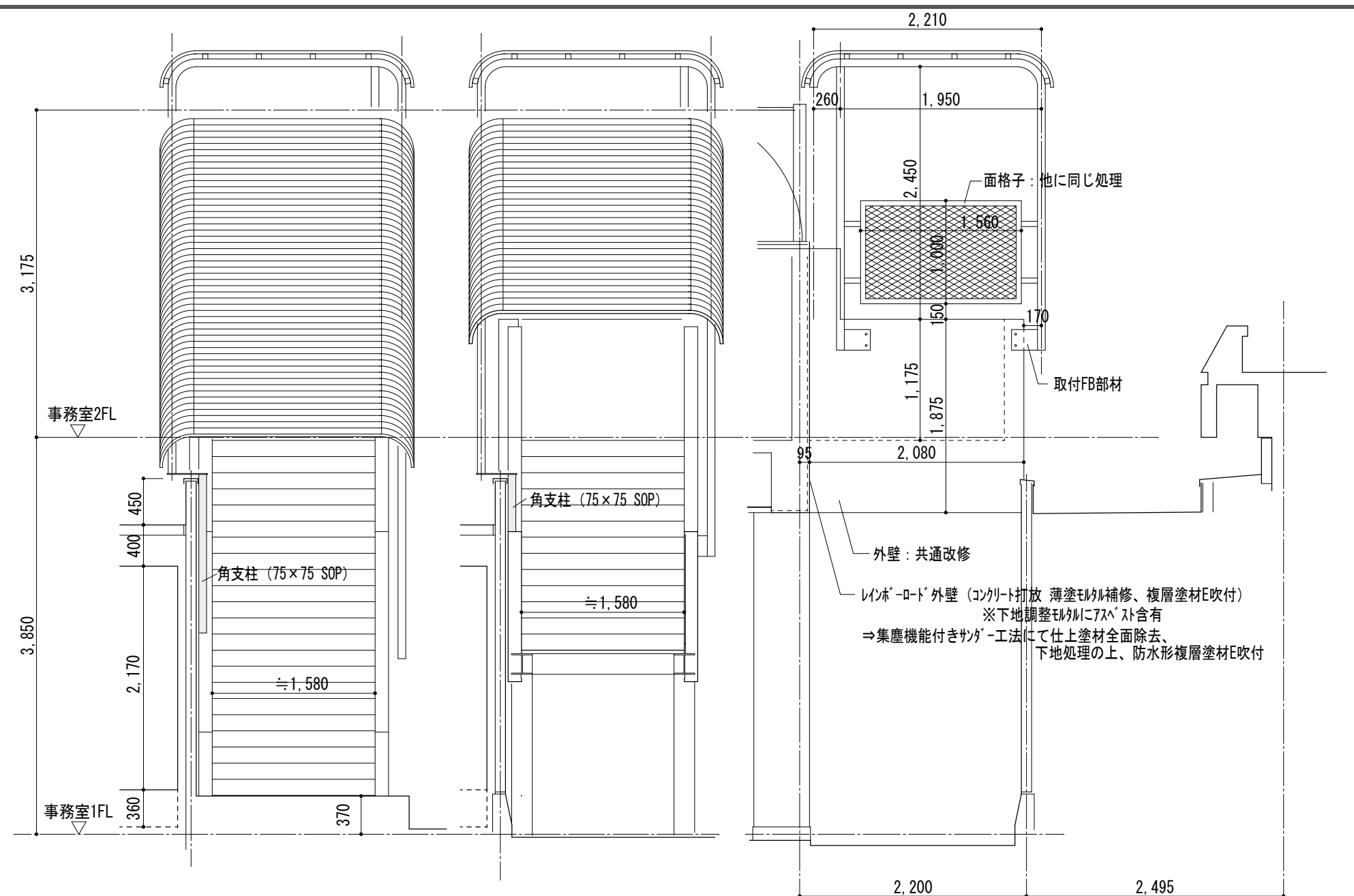


備	工事名	坂戸市立入西小学校校舎外壁等改修工事	森田建築設計室 埼玉県坂戸市関間4-15-14 関末ビル201 管理建築士 T E L 049-282-2888 F A X 049-282-3002 一級建築士 森田 和巳 大臣登録第161365号	製 図	担 当	承 認	工 番	日 付	25. 12	図 名	付属建物詳細図（１） 〈⑫ ⑰棟〉	縮 尺	1：100 1：30	図 番	A -42
考															

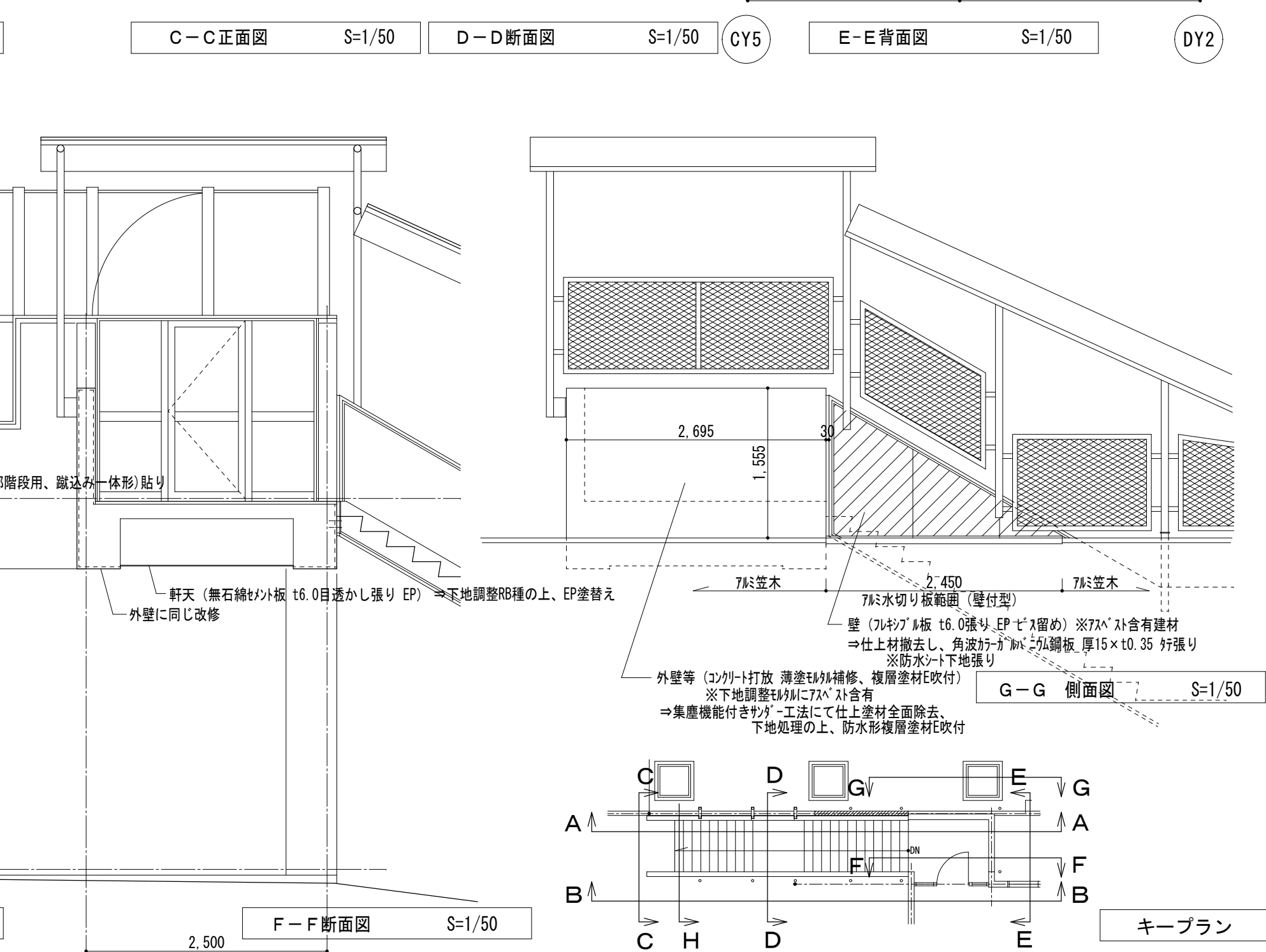


備		工事名	坂戸市立入西小学校校舎外壁等改修工事	森田建築設計室 事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第8815号 管理建築士 一級建築士 森田 和巳 F A X 049-282-3002 大臣登録第161365号	製 図	担 当	承 認	工 番	日 付	25.12	図 名	付属建物詳細図(2) ⑥ ⑪棟	縮 尺	1:150 1:100 1:30	図 番	A-43
考																





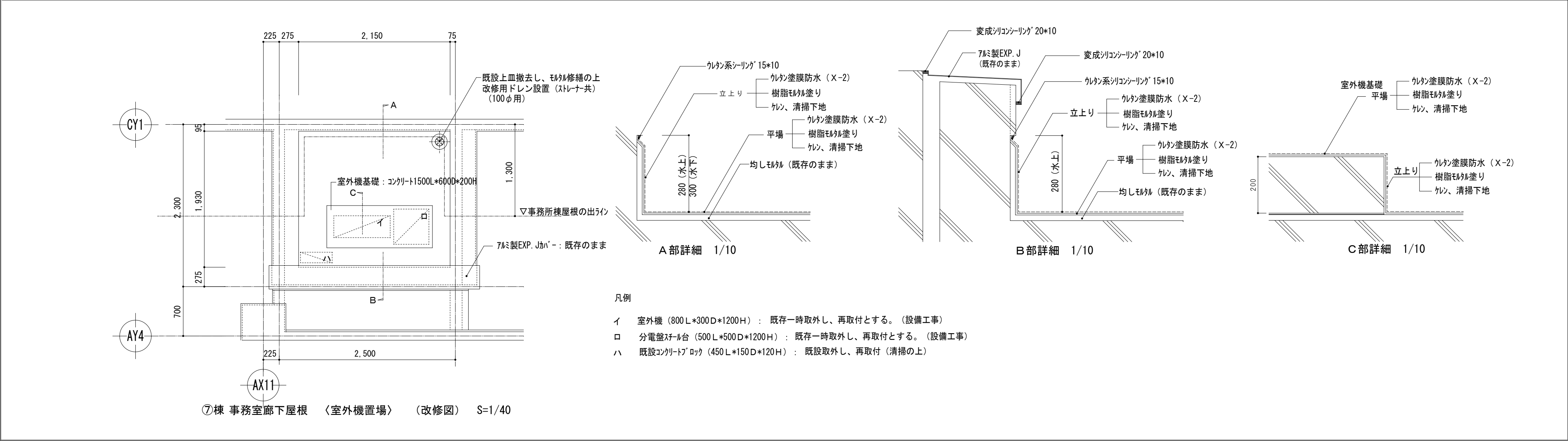
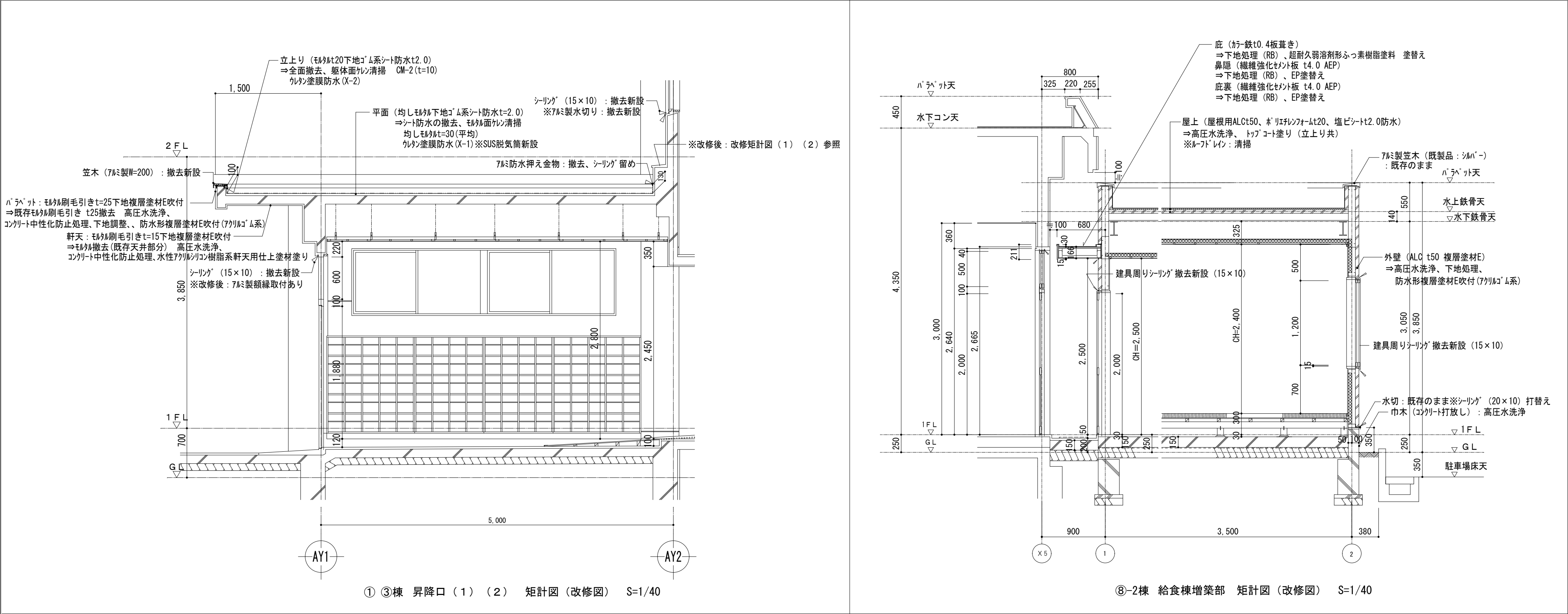
C-C正面图	S=1/50	D-D断面图	S=1/50	CY5	E-E背面图	S=1/50	DY2
--------	--------	--------	--------	-----	--------	--------	-----

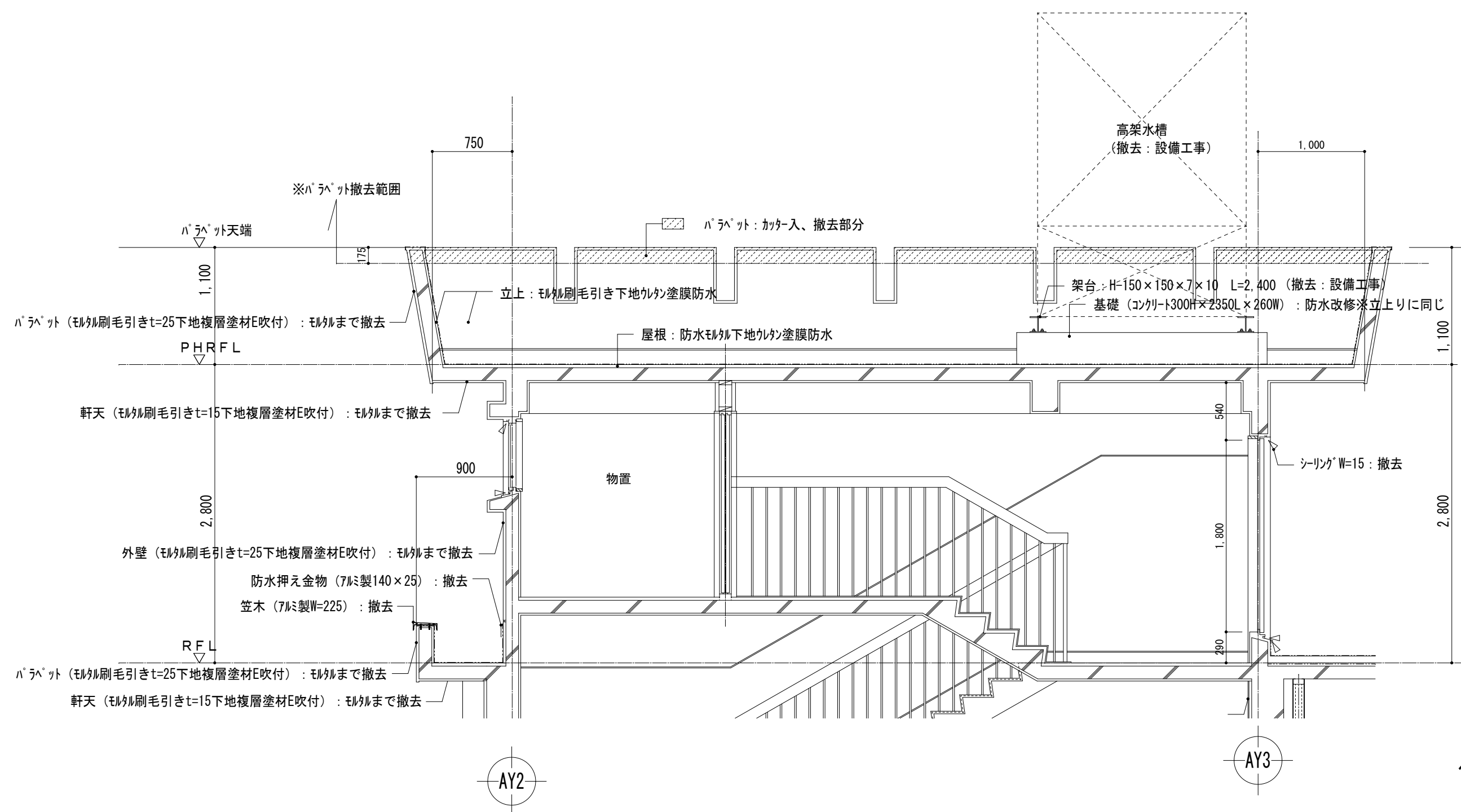
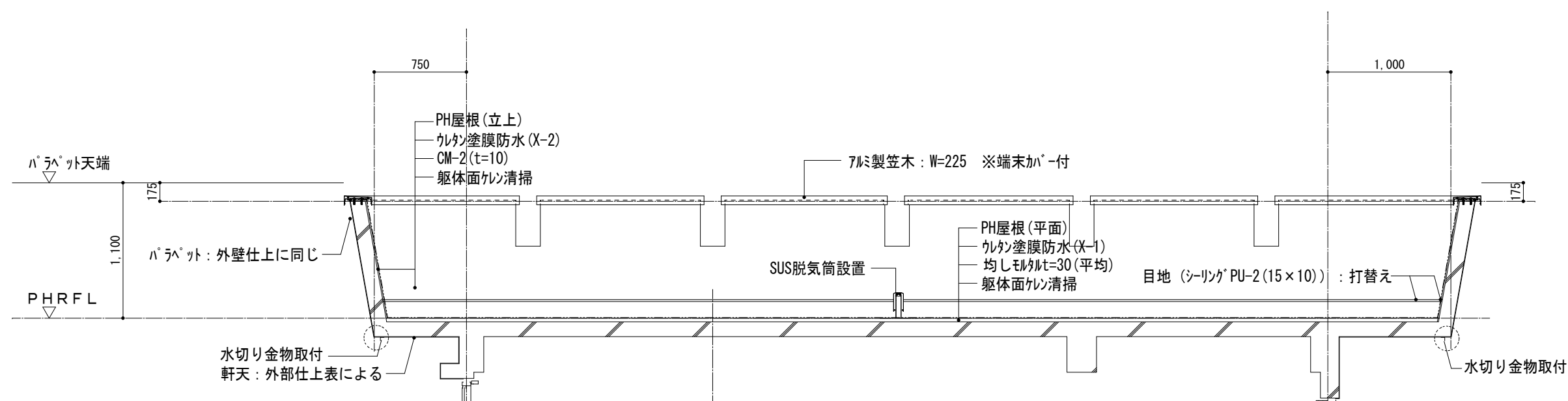


2 500 F-F断面図 S=1/50

備考	工事名	坂戸市立入西小学校校舎外壁等改修工事	森田建築設計室 埼玉県坂戸市関間4-15-14 関末ビル201号 TEL 049-282-2888 FAX 049-282-3002 事務所登録 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第8815号 管理建築士 一級建築士 森田 和巳 大臣登録第161365号	製図	担当	承認	工番	日付	25.12	図名	詳細図(1) レイン・ロード階段 既存図 <⑬棟>	縮尺	1:50	図番	A-46







備考	工事名	森田建築設計室 埼玉県坂戸市関間4-15-14 関末ビル201 TEL 049-282-2888 FAX 049-282-3002 管理建築士 森田 和巳 一級建築士 森田 和巳 大工登録第161365号	製 図	担 当	承 認	工 番	日 付	図 名	詳細図(5) ペントハウス改修 改修矩計図(ハット周り) ①棟	縮 尺	1 : 40	図 番	A-50